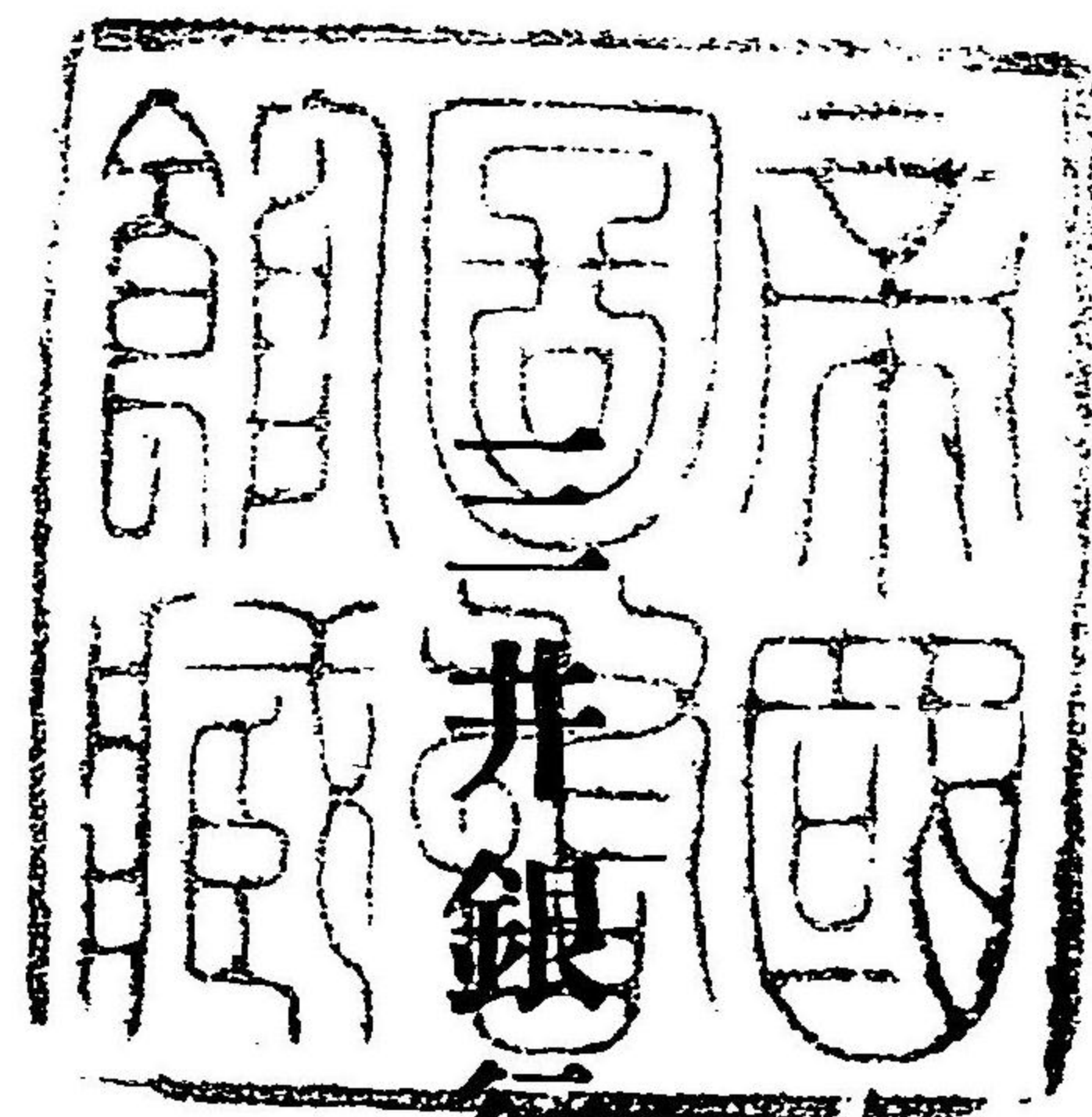
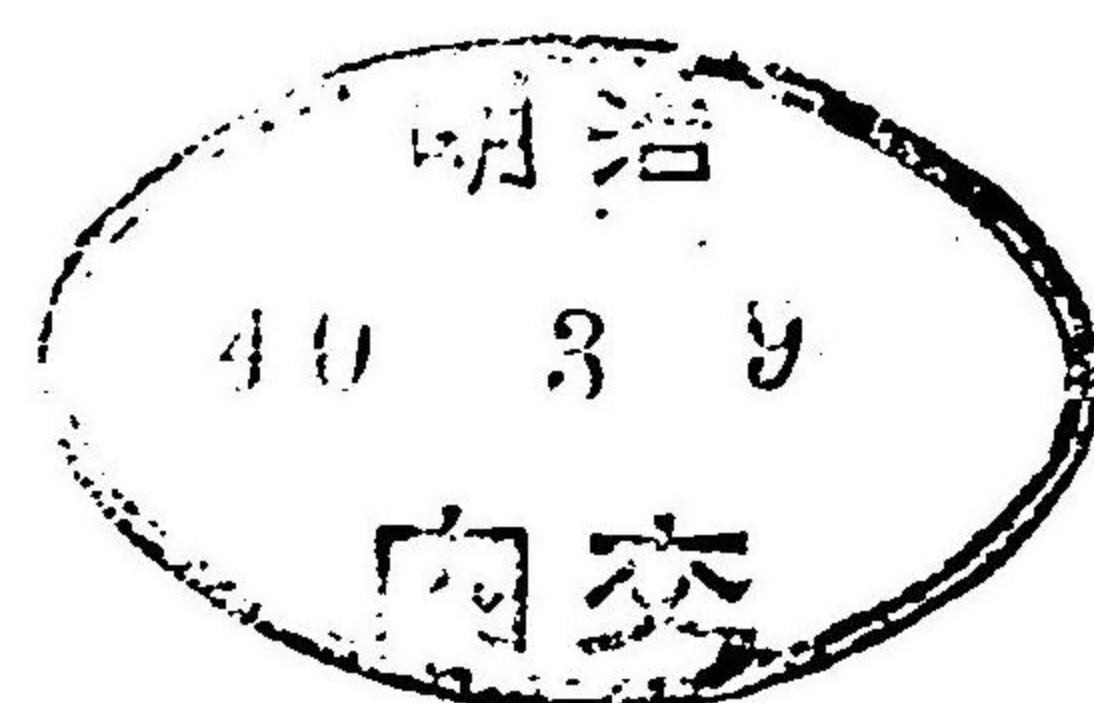


40-845



井銀行  
歐米出張員報告書





目次

第一編 米國之部

「イリノイス」信託貯蓄銀行

一 穀類倉庫證券擔保貸出

二 建築及鐵庫

三 役員配置及鐵籠 (Cage)

「ナショナル、パース」銀行

一 分課ノ方法

二 記帳ノ方法

三 預金通帳

四 アドグラフ (Addograph)

五 役員採用ノ方法

六 役員ノ進退黜陟

目次



目次

七	役員ノ優遇法	二六
八	重役並ニ支配人	二八
九	役員ノ使用法	三二
十	役員勤務ノ程度	三五
十一	取扱人ノ責任ヲ明ニスル方法	三七
十二	現金取扱ノ方法	三九
	(一) 現金取引ト雖其場限リニアラサル事	三九
	(二) 現金取引ノ比較的少キ事	四一
	(三) 現金勘定ノ過不足ハ多額ニ上ル恐少キ事	四三
	(四) 百弗内外ノ過不足勘定ハ強テ取調ヲ爲サ、ル事	四三
	(五) 僅少ノ誤謬ヲ防カンガ爲メニ一般ノ來客ニ不便ヲ與フル 如キ取扱ヲ爲サ、ル事	四四
十三	貨幣取扱臺ノ事	四八
十四	損札引換ノ事	五一

「シヨウマツト」国立銀行

一	建築及各係ノ配置	五二
二	帳簿組織ノ概要	五四
三	使用人ニ關スル事	五八
四	使用人身元保證ノ事	六二
五	器械並ニ裝置	六三
六	書類整理ノ方法	六五
	「ポスト」手形交換所	六八
一	地方手形交換部組織	七〇
二	市外小切手交換ノ範圍	七一
三	市外小切手交換ノ方法	七一
四	市外小切手ニ對スル入金並ニ其分配ノ方法	七二
五	交換手形ニ關スル罰則	七九
六	交換所責任ノ限度	八一

目次



米國金融機關組織ノ概要

- 七 此交換方法ノ利益
- 八 市外小切手交換事務ノ濫觴

- 一 合衆國大藏省
- 二 貯蓄銀行
- 三 建築及貸金會社
- 四 信託會社及州立銀行
- 五 各種保險會社
- 六 私人銀行及株式仲買
- 七 國立銀行

- (一) 營業ニ關スル主ナル制裁及特權
- (二) 「パーク」銀行ノ貸借對照表ト我國ニ於ケル普通銀行ノ貸借對照表トノ比較

負債ノ部

目次

四

第一 預金ノ巨額ナル事	一〇九
第二 同業者預金ノ巨額ナル事	一一八
資産ノ部	
第一 公債株券類ヲ有スルコト少キ事	一二九
第二 取立勘定及送金爲替ニ關スル事	一三二
イ 取立勘定ノ事	一三二
ロ 送金爲替ノ事	一三四
(a) 地方ヨリ都市ヘノ送金	一三五
(b) 都市ヨリ地方ヘノ送金	一三八
第三 諸貸出金並ニ取次貸ニ關スル事	一四二
イ 諸貸金ニ關スル事	一四二
(a) 貸金ノ大部分ハ當座勘定得意先ニ對スルモノナル事	一四三
(b) 當座勘定得意先以外ニ對スル貸金	一四六

目次

五



(c)	單名手形割引	一五五
(d)	手形擔保ノ割引手形	一五八
(e)	債權證書	一六一
(f)	貸金取扱ノ無雜作ナル事	一六二
(g)	貸金利率	一六五
ロ	取次貸金	一七五
第四	交換所持出手形現金手形及利札ノ多キ事	一八三
第五	預金準備金ノ事	一八五
第六	損益勘定ノ事	一八九
第七	銀行株賣買値段及利廻ノ割合	一九六
	「シカゴ」市ノ形勢	一九八
	「シカゴ」第一國立銀行	二〇三
一	貸借對照表	二〇五
(一)	地方債及社債ノ比較的多額ナル事	二〇七

## 第二編 英國之部

(二)	「ナショナル」保管庫株券ノ事	二〇九
(三)	預金對現在金割合ノ事	二〇九
(四)	積立金及未配當利益金ノ事	二一〇
二	職制分課ノ方法	二一一
三	事務取扱手續ノ概要	二一七
四	使用人ニ關スル行規	二二七
五	使用人待遇法	二三〇
	英國ニ於ケル預金準備	二四〇
	銀行營業所ノ増加	二六七
	英國銀行ノ損益勘定	二八六
第一	損益勘定ノ項目	二九三
第二	資本金ト運轉資金	二九四



目次

(イ)	資本金勘定ノ説明	二九四
(ロ)	公稱資本金ト拂込資本金	二九六
(ハ)	資本金ト運轉資金	三〇〇
(ニ)	資本金ト積立金	三〇一
(ホ)	資本金ト預金	三〇二
第三	預金貸金利率ノ鞫	三一二
(イ)	倫敦ノ金利ハ何故ニ斯ク低率ナリヤ	三二三
(ロ)	當座及短期貸金利率	三二七
(ハ)	銀行手形割引歩合	三二九
(ニ)	得意先貸金割引歩合、商業手形及貸付金	三三五
(ホ)	預金利息	三三二
第四	爲替手形引受料及外國爲替賣買差益	三三四
第五	營業費	三三八
第六	結論	三四一

四

蘇國銀行資金運轉ノ方法並ニ損益勘定

第七	「パース」銀行損益勘定假算表	三四二
第八	倫敦銀行株券ノ價格及利廻リノ割合	三四六
第一	「ナショナルバンク、オフ、スコットランド」ノ貸借對照表	三四八
第二	預金	三五〇
第三	資産科目	三五一
第四	準備金勘定	三五六
第五	貸出金	三五七
第六	地方別預金及貸金ノ對照	三六一
第七	預金貸金利率ノ差	三六七
第八	損益勘定	三六九
(イ)	損益勘定表	三七一
(ロ)	經費	三七二

五

蘇格蘭土ニ於ケル諸銀行

目次

三七四
三七三



六 英國内國爲替ノ仕組

第一 日本現今ノ取扱手續ト相違ノ點

三九七

第二 日英兩國ニ於ケル爲替仕組取扱上ノ差異ヨリ生ズル結果

四二二

七 蘇國銀行支店監督ノ方法

四一七

八 支店支配人ノ權限

四一八

九 監督上ノ方針

四二四

十 貸出總額極度制限ノ事

四二六

十一 貸金ノ性質二種アル事

四二九

十二 貸出店ノ小數ナル事

四三一

十三 交通機關ノ發達及本支店間ノ距離近キ事

四三三

十四 得意以外ニ對スル貸金無キ事

四三三

十五 經濟界ノ浮沈甚タシカラサル事

四三五

十六 監査役及公認計算士會

四三七

第一 會社ハ監査役ヲ選任セサルヘカラス

四三九

第二 監査役ノ資格

四四〇

第三 公認計算士ノ職務ノ性質及種類

四四一

第四 公認計算士ノ資格及試験ノ方法

四四五

附錄

明治三十八年十月支店  
長會議ノ席上ニ於ケル  
歐米銀行視察談

以上



# 三井銀行歐米出張員報告書

出張員 間島 弟彦



## 編 米國之部

### イリノイス「信託貯蓄銀行」

シカゴ市ニ於ケル「日間ノ滯在中ニ派遣員ハ日本帝國領事館ヨリノ紹介ヲ以テ  
「イリノイス信託貯蓄銀行」及「シカゴ第一國立銀行」ヲ見物セリ

當銀行ハ資本金四百萬弗積立金五百萬弗預金七千百萬弗ヲ有スル大銀行ナルガ  
其名稱ノ示スカ如ク普通商業銀行トハ其選ヲ異ニシ重ニ貯蓄預金信託事業擔保  
付貸付ヲ營ムモノナリ其預金七千百萬弗ノ内約七割ハ定期預金ニシテ當座預金  
ハ僅々二千萬弗ニ過キス得意先ヲ除キタル預金者ノ數ハ目下十一萬三千人ナリ  
ト云フ貸出金ハ悉ク擔保付ニシテ其總額三千七百萬弗ノ内二百三十二萬弗ハ不



動産ニ對スルモノナリ

二

### 一、穀類倉庫證券擔保貸出

當銀行貸金擔保ノ重ナルモノハ勿論株券、公債、債券等ナントモ倉庫證券ニ對スルモノ亦相應ノ巨額ニ上レリ副頭取ギツクス氏ノ語ル所ニヨレハ當銀行ニテ融通ヲ與フル倉庫證券ノ貨物ハ概子合衆國中央部農業地ヨリ輸送スル穀物ニシテ是等ハ凡テ州立ニ係ル登記役場ニ於テ汽車、汽船ヲ以テ着荷ノ當時官吏立合ノ上一種類品質數量等ヲ審査登錄シ然ル後始メテ庫入ヲナス事ヲ得ルノ順序トナリ居レリ倉庫發行ノ證券ハ宛モ政府ノ監督ヲ經ルノ有様ナルヲ以テ銀行者ハ安ンシテ是等證券ヲ抵當トシテ貸出ヲ爲スコトヲ得ルナリ而シテ今日ニ至ル迄登記役場ノ審査登錄ヲ經タル貨物ノ品質數量等ニ關シ後日間違ヲ生シ累ヲ金融機關ニ及ホシタル例未タ曾テ之レ無シ若シ銀行者カ不慣ナル素人目ヲ以テ巨多ノ貨物ヲ審査シ以テ倉庫業者ヲ監督セントスルモ其効果ハ到底完全ナル政府設立ノ機關ニ及フ可カラサルハ親易キノ理ナリ余ハ「シカゴ」ニ特殊ナル此商業機關ノ聯絡ヲ以テ他ニ誇ルニ足ルヘシト信ス而シテ當行ニテハ登記役場ノ審査ヲ經サル

貨物ノ證券ニ對シテハ決シテ貸出ヲ爲サ、ル方針ナリ云々

### 二、建築及鐵庫

當行營業所ハ全ク銀行使用ノ目的ヲ以テ五六年以前ニ建築シタルモノナリ地主兼家屋所有者ハ北西大學<sup>ノースウエスタン</sup>ニシテ銀行ハ九十九箇年間ノ契約ヲ以テ賃借シ居ルナリ新約克桑港<sup>シカゴ</sup>其他何地ニ行クモ當國ノ大都市ニハ十階二十階ノ高閣空ヲ摩シテ聳立シ銀行ハ多クハ其第一階ノ一部分ヲ以テ營業所ニ充テ各種ノ營業者ト一家屋ノ内ニ雜居セルコト世人ノ知ル處ナルカ當<sup>シカゴ</sup>市ニテハ輒近全ク自己ノ營業所ニ充ツルノ目的ヲ以テ家屋ヲ建築スルモノ當銀行外一二アリ就中當行ハ其最大ナルモノナリト云フ

當行前面ニハ一本三十噸ノ重量アル希臘風ノ花崗石柱十數本ヲ立テ連子其内ニ廣濶ナル行廊ヲ控ヘ二重戸ヲ排シテ進メハ直チニ取引臺ノ前ナル客溜ニ出ツルナリ地下層ニハ前後ニ出入口アル鐵庫ヲ中央ニシ之ヲ繞リテ花崗石ヲ敷詰メタル行廊アリ且ツ十數箇ニ區劃セル客待室、婦人接待所ノ設ケアリ是安全庫<sup>(Safety Deposits vaults)</sup>借受人カ秘密ニ貴重品ノ出入ヲ爲スコトヲ得ル仕組ナリ地層ハ營



業所ニシテ凸字形ニ事務室ヲ設ケ三方ニ客溜ヲ置ク天井ニハスカイライトアリ  
 二階ハ頭取室、副頭取室、會議室、法律顧問室(二人ノ法律家ヲ常囑シテ法令ニ關スル  
 取調審議ノ任ニ當ラシム)及信託ニ關スル事務所アリ當行ノ建築ニ於テ特ニ見ル  
 ヘキモノハ其鐵庫ナルヘシ鐵庫ノ總數十三箇ニシテ其扉ノ最大ナルモノハ重量  
 十五噸ニシテ其中ニ三箇ノ時計ヲ備ヘ時刻ニヨリテ開クコトヲ得ルノ仕組ナリ  
 前記地下層ノ鐵庫ノ中ニハ八千箇ノ Safety Deposits vaults ヲ有ス一箇ノ大サ普通ハ  
 深サ一「インチ」半幅三「インチ」奥行一「フート」半位ノ鐵箱ニシテ大ナルモノハ一「フー  
 ト」半ノ深サ及幅ト之ニ相應スル奥行ヲ有ス每箱厚サ半「インチ」位ノ鋼鐵板ヲ以テ  
 造レリ一箇年ノ使用料ハ箱ノ大小ニ應シテ普通三弗ヨリ二十五弗ニ至ル別ニ大  
 鐵庫アリテコ、ニハ「トランク」箱類ノ如キ容積アルモノヲ預ル所ニシテ旅行者カ  
 貴重品ヲ「トランク」ニ入レテ一時預ケ入ル、ノ類ナリ使用料ハ一箇年五弗以上ニ  
 シテ寄託品實價ノ百分ノ一ヲ標準トス以上十三箇ノ鐵庫ニハ悉ク盜賊豫防ノ電  
 氣裝置アリテ若シ異變アルトキハ(第一)頭取ノ住宅(第二)警察署ニ急報スルト同時  
 ニ(第三)屋上ノ巨鐘ヲ急打シテ公衆ノ注意ヲ呼フノ仕掛ナリ又常ニ七人ノ夜番ヲ

置キテ警戒シ三十分毎ニ電鈴ヲ押シテ警察署ニ無事ヲ報セシム定時ニ報告ナキ  
 トキハ警察署ハ十分間ヲ猶豫シ尙電鈴鳴ラサレハ直ニ警官ヲ銀行ニ送ルノ契約  
 トナリ居ルナリ以上概略記スル處ニヨリテ當銀行カ如何ニ鐵庫ヲ守ルニ用意周  
 到ナルヤヲ知ルニ足ルヘシ

### 三、役員配置及鐵籠 (Vault)

役員配置ノ模様ヲ見ルニ入口ニ面シ取引臺ニ沿フテ副頭取二人(副頭取四人アリ)  
 支配人一人書記一人机ヲ控ヘタリ取引臺ニ沿フテ右ニ行ケハ普通銀行部アリ左  
 ニ行ケハ貯蓄部アリ左右兩翼ノ取引臺ニハ十數箇ノ鐵網ヲ以テ造レル籠アリ每  
 籠ノ大サ九尺四方位ニシテ内ニ各一人ノ役員アリ取引臺ニ面シテ開ケル小孔ノ  
 内ヨリ客ニ應接シテ金錢出納ノ役ヲ司ル金錢出納役ハ各自受持ノ金箱アリテ終  
 業時ニ封印ヲ爲シテ鐵庫ノ内ニ收メ翌朝其儘之ヲ持出シテ籠ノ内ニ入り内ヨリ  
 錠ヲ下シテ執務スルナリ左レハ各自受持ノ現金ハ當人限リニテ封印ヲ爲シ記帳  
 ヲ爲シテ簿記方ニ差出スノミニテ毎日現金ノ檢査精算ヲ受クルニアラスト云フ  
 カクテハ若シ不良ノ役員アリテ現金ヲ盜取スルノ虞ナキヤト云フニ何時不意ニ



上役ノ検査アルヤモ計ラレサルヲ以テ斯クノ如キ惡事ヲ働クノ餘地ナシト云フ

### 「ナシヨナル、パーク」銀行

今回小役當地ニ來リ前回派遣員ノ轍ヲ蹈ミテ再ヒ「パーク」銀行ニ入り事務ノ實習ニ從事シタル所以ノモノハ如何ナル方面ヨリ銀行事務ヲ視察攻究スルニモセヨ一應實務ニ當リ之ヲ習熟シ之ニ附帶セル術語慣習等ヲ略解スルニアラサレハ到底隔靴搔痒ノ憾ヲ免カレサルヲ以テナリ而シテ「パーク」銀行ハ先年池田丹兩氏カ三箇月以上ヲ費シ實習セラレタル所ナルヲ以テ小役ハ可成他ノ銀行ニ入りテ見習ヲ爲サント欲シ夫々手段ヲ取りタレトモ如何ニセン第二流第三流ノ小銀行ナラハイサ知ラス「シチー、ハノヴァアー、コムマース」第一、第四ノ諸國立銀行ノ如キ第一流ノ銀行ニテハ容易ニ他人ノ入行ヲ許サス而シテ又入行ヲ請求スヘキ手掛ヲモ有セサリシナリ獨リ「パーク」銀行ハ當地第一流ノ大銀行ニシテ而カモ横濱正金銀行三井物産會社其他在留日本諸商會個人ノ取引ヲ開キ居ルアリ又從來日本銀行員志立鐵次郎氏、松方正雄氏等十餘ノ日本人カ就テ實務ヲ習練シタルコトアリテ

日本ニ對スル關係淺カラスト云フヘシ加フルニ老支配人ヒコツク氏ハ温乎タル君子人ニシテ部下ノ役員一般ニ其德ニ薰化セラレ居ルノ風アリ當地ノ事情ニ不慣ナル外人カ銀行事務ヲ見習フニハ無上ノ好場所タルナリ  
同行ハ前回派遣員ノ報告ニモ云ヘルカ如ク當市同盟銀行中第一流ニ屬スル國立銀行ニシテ資本金ニ於テハ「シチー」銀行ノ二千五百萬弗、第一及商業兩銀行ノ千萬弗、アメリカ、エキスチエンジ「銀行」ノ五百萬弗、ハノヴァアー「銀行」ノ三百萬弗、ウエスタ「銀行」ノ二百十萬弗ニ亞キ即チ五十九行中第七位ニ居レトモ貸金ニ於テハ第四位ニ預金及現在金ニ於テハ第三位ニ居ル而シテ「シチー」銀行ハ「スタンダート」石油會社ト深厚ナル關係アリ殆ント其機關銀行ヲ以テ目セラレ第一、商業ノ二銀行ハ「ウォール、ストリート」株式仲買ノ機關銀行トモ云フ可キモノニテ貸金ノ大部分ハ「ストリート」ニ對スルモノナリト云フ「パーク」銀行ニ至テハ貸金、預金トモ各種ノ方面ニ亘リ特ニ一種ノ得意先ニ偏スルコトナク普通商業銀行トシテ最モ中庸ヲ得タルモノナルヘシ前回派遣員報告當時ニ比スレハ「パーク」銀行ハ益々其業務ヲ擴張シテ現時ノ預金、貸金ヲ當時ニ對照スルニ左ノ如ク增長セリ



	千八百九十八年	千九百二年	增加額
預金	五三六九二 <small>千</small>	五九七六八 <small>千</small>	六〇七六 <small>千</small>
貸金	四一、二六〇	四八、八八〇	七、六二〇

以テ同行カ當國商工業ノ發達ニ伴ヒ徐々トシテ進運ニ向ヒツ、アルヲ見ルニ足ル可シ一ハ同行業務ノ性質多趣多様ニシテ而カモ當國大銀行ノ好模範ト爲スニ足ルモノアルヲ以テ一ハ支配人以下役員ノ好意ニヨリ取調ノ便宜ヲ得ルコト比較的多大ナルヘキヲ想像シタルヲ以テ三井物産會社當地支店長ノ紹介ニヨリ「バ」ク銀行ニ入り見習ニ從事シタルナリ然ルニ于茲小役ニ取リ甚タ不幸ナリシ一事ハ同行ノ建築狹隘ニシテ事務ノ膨脹ニ適合セサルヲ以テ年來増築ノ計劃アリタルニ今秋ニ至リ愈々實行ニ着手シ「アン」及「フルトン」二街ニ面セル左右ノ兩翼ヲ取り毀テ目下切リニ改築工事中ナルヲ以テ左ラヌタニ狹隘ナル事務室ハ愈々狹隘ヲ極メ或ハ二係以上ノ一室ニ割込ミ居ルアリ或ハ一係ノ一部分カ階上ニアリテ他ノ一部分カ階下ニアルアリ必要ナル役員ノ事務ヲ執ル可キ場所スラ思フ儘ナラサル有様ナリ此間ニ在リテ全ク銀行事務ノ手助トモナラサル外人カ此所彼

所ニウロツキ廻リテ執務ノ妨碍ヲ爲シ彼等ニ取リテハ三度ノ食事ヨリモ慣熟シ居ル無用ノ質問ヲ放チテウルサク附ケ廻ハスコト如何許ノ迷惑ナル可キカ實ニ察スルニ餘リアリ而シテ又一方小役ノ身ニ取リテハ午前九時ヨリ午後四時、五時、時トシテハ六時過迄終日立チ通シニテ事務ノ進行ヲ注目シテハ氣短カナル役員ノ爲メニ邪魔者取扱ヲサレソコニ立チテハ事務ニ妨害アリ窓口ニ立チテハ來客ヲ見ル能ハス杯夫レトナクアテコスラ、ヲ聞キナカラ厚カマシク質問ヲ放ツコト是亦容易ノ辛勞ニアラス而シテ其結果ハ充分ニ取調ヲ爲スコト能ハサルモノアリ竊カニ顧ミテ赧然タルヲ禁ス可カラス

當銀行役員分課ノ方法帳簿ノ組織、事務取扱順序及手續等ニ關シテハ前回派遣員諸氏ノ精細緻密ナル報告ノアルアリ爾來三年ノ間ニ業務ノ發達ニ伴ヒ多少ノ變更ヲ來タシタル所ナキニアラサルモ要スルニ些々タル取扱ノ末枝ニシテ特ニ記スヘキ重要ノモノアルヲ見ス是ヲ以テ小役ハ是等ノ點ハ前回報告書ニ委子置キ唯視聽ニ觸レ感シタル點ヲ雜記體ニ隨筆シテ報告ニ代ヘ以テ瀏覽ニ供セント欲ス記スル所前回派遣員報告ト重複シ若シクハ後日攻究ノ結果更ニ訂正ヲ要スル



モノナキヲ保セス願クハ諒セラレヨ

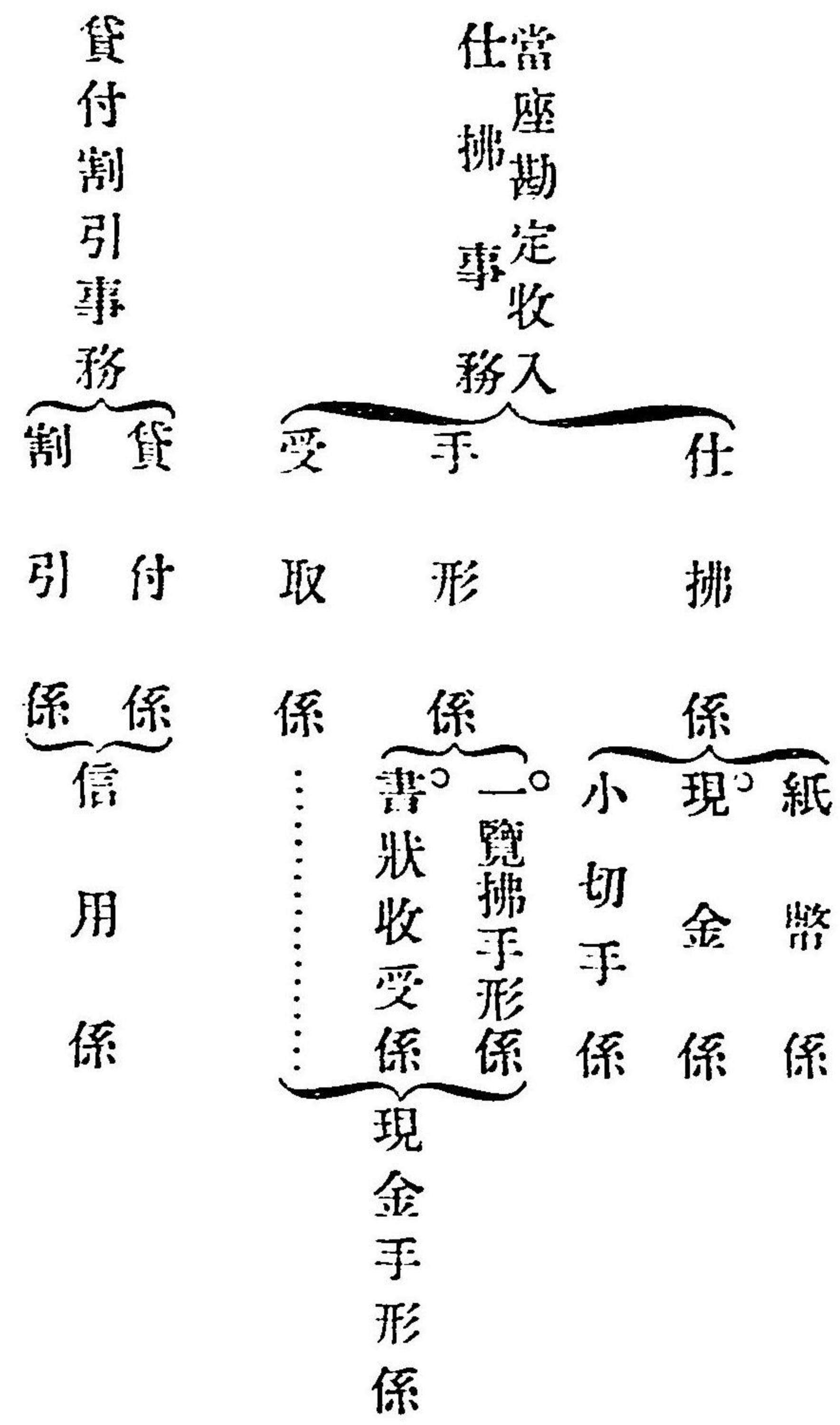
### 一、分課ノ方法

「パーク」銀行ニハ左ノ十五係ヲ置ク

受取係	手形係	仕拂係	利札係
市内及市外取立係	割引係	貸付係	小切手係
紙幣係	現金手形係	書信係	信用取調係
帳簿係	外國爲替係	保管庫係	

小役初メ前回派遣員報告書ニツキテ之ヲ讀ミ何故ニ米國銀行カ斯克ノ如ク多數ノ課係ヲ有スルカヲ恠ミタリキ而シテ今ヤ身自ラ之カ實際ヲ見ルニ及ヒ其必然ノ結果ニ外ナラサルヲ發見セリ何ヲカ必然ノ結果ト云フ曰ク業務ノ發達ニツレ分業ノ原則ニ遵ヒ漸次課係ヲ増加シタルモノニシテ要スルニ何レモ時ノ必要ニ迫ラレテ創設セラレタルニアラサルハナシ猶三井銀行本店營業部ニ地所係ヲ設ケタルカ如シ一日數萬枚ノ小切手ヲ一々記帳センコト來客ニ應接スヘキ仕拂係ノヨクスル所ニアラサルヲ以テ是カ取扱ヲ專務トスル小切手係ヲ置キ紙幣ノ計

算整理ヲ專務トスル紙幣係ヲ設ケ預金トシテ收入セル小切手手形類ヲ整理スヘキ爲メニ現金手形係ヲ設ケタル等之ヲ現今我國ニ移シテ其必要ヲ見ル能ハサル課係ナレトモ之ヲ當地ノ事情ニ照セハ蓋シ必要缺ク可カラサルモノタルヲ免カレス而シテ斯克ノ如キ事情アルヲ以テ「パーク」銀行課係ノ關係ヲ知ラント欲セハ之ヲ幹部ト枝葉トニ分チ其相聯絡スル道筋ヲ知ルコト最モ必要ナリトス





取立事務  
利札取立係  
市内取立係  
市外取立係

帳簿事務  
元帳係  
外國爲替事務  
外國爲替係  
利札仕拂事務  
利札係  
信書發送事務  
信書係  
保管庫事務  
保管庫係

○印ハ純然タル一係ニアラスシテ係内ノ一部ト見ルヘキモノナリ  
帳簿事務以下ハ各一係ニテ獨立ニ其分掌ノ事務ヲ採ルモノナレトモ當座勘定、貸付、割引及取立ノ事務ハ直接來客ニ接スヘキ仕拂、受取、手形、貸付、割引及取立ノ諸係ノ外ニ是等各係ノ事務ヲ補助スヘキ分課アリテ各一部ノ仕事ヲ擔任スルコト前項ニ列擧セルカ如シ而シテ利札取立ノ如キハ姑ク措キ銀行事務ノ主幹トモ稱ス可キ預金、爲替、貸金ニ關シ彼我事情ヲ異ニスル所以ヲ論シ銀行分課ノ上ニ及ホス

結果ヲ述ヘン

當國ノ銀行ニテハ日本ニ於ケルカ如ク爲替取引ト預金取引トヲ區別スルコトナク共ニ當座勘定トシテ整理スルコト、ナリ居レリ當座取引先ハ之ヲ大別シテ市内市外トナスコトヲ得ヘシ市内取引先ハ即普通ノ預金主ニシテ市外取引先ノ大部分ハ「コルレス」ボンデンスナリ當國々立銀行及州立銀行カ國立及州立銀行條例ニヨリ預金準備金ヲ自行ニ貯ヘスシテ準備積立市ノ銀行ニ預ケ入ル、コトハ前回派遣員ノ報告ニ詳述セリ是等ノ銀行ハ此手段ニヨリ幾分ノ金利ヲ得且ツ紐育市ニ對シテ隨時爲替ヲ取組ムコトヲ得ルヲ以テ可成巨額ノ預金殘高ヲ積立市ノ銀行ニ預ケ置クナリ而シテ小切手ニハ日本ニ於ケルカ如ク仕拂呈示期間ヲ定メサルヲ以テ銀行ニ宛テタル一覽拂爲替手形ト何ノ異ルコトナク自由ニ流通スルヲ得ルナリ是ヲ以テ紐育市銀行カ仕拂フ自行宛小切手ノ大部分ハ爲替手形代用ノ小切手ニシテ地方「コルレス」先ヨリ振出シタルモノナリ「パーク」ニ於ケル市内市外振出小切手ノ數ヲ計量スルニ三ト七トノ割合ニ相當スルナル可シ時トシテハ一行ヨリ三四百枚以上ノ小切手ヲ振出シ來ルコトアリ而シテ元帳ハ當座勘定元



帳アルノミニテ爲替勘定元帳ヲ有スルコトナシクノ如ク所謂預金ト爲替トノ事務ヲ區別セシテ一様ニ取扱フヲ以テ仕拂係、受取係、手形係ノ事務ハ日本ノ諸銀行ニ於ケル預金係、爲替係及出納係ト相對照スルコトヲ得ヘシ

先キニ前回派遣員三氏ハ歸朝後銀行分課ノ改定案ヲ提出シ受取、仕拂二係ヲ置クヘシト論セラレタルヲ記憶ス小役ノ見ル所ヲ以テスルニ米國ニ於ケル各銀行カ此二係ヲ置ク所以ノモノ其特殊ノ事情ニ適合セシメンカ爲メニシテ直チニ之ヲ移シテ現今ノ我國銀行ニ應用セントスルハ今尙其時期ニアラサルヤヲ疑ハサルヲ得ス

當國ニ於ケル信用發達ノ程度著大ニシテ之ヲ我國ニ比スルニ其差宵壤モ管ナラサルハ何人モ疑ハサル所而シテ信用發達ノ結果ハ凡テノ商取引ニ於ケル通貨ノ受授ヲ省略シ信用ノ代表物タル小切手、手形等ニヨリテ決濟セラル、コト是亦云フヲ須キサルナリ左レハ或ル經濟學者ハ當地ニ於ケル凡テノ商取引ノ百分ノ九十乃至九十五ハ信用證券ニヨリテ決濟セラレ残り五乃至十カ現金ノ受授ニヨルナルヘシト云ヘリ是素ヨリ精密ナル計算ニ出テタルモノニアラスシテ憶測ノ想、

像說ナルコト勿論ナレトモ蓋シ稍正鵠ヲ得タル說ナルヘシ、パークニ於ケル預金殘高六萬弗ニシテ一日ノ收支四千萬弗ニ上ルコト往々ニシテ之レアリ而シテ紙幣係ニ於テ一日間ニ取扱フ紙幣ノ最高額ハ五十萬弗乃至七十萬弗ニシテ百萬弗ニ上ルコト殆ト絶無ナリ即チ二分五厘ヲ上ルコトナキ割合ナリ今同行受取係ニ於テ一日間ニ收入スル預金總額并ニ現金ヲ對照スレハ左ノ如シ

月 日	總 收 入 高	現 金 收 入 高	比 例
五月 一日	一八、八一、七四二	六九、三七九	分五毛 三六
同 十五 日	七、一七、七〇二	三九、五四二	五五
同 十七 日	一三、一五、〇五七	七九、六四二	六〇
六月 二十八 日	七、二三、九二六	四四、六六一	六一
七月 三 日	七、四二、七三六	六六、二八二	八九
同 三十一 日	七、四七、〇九三	四九、七一七	六六
八月 二十五 日	六、六〇、八一	七〇、九七二	一〇七
九月 九 日	八、二六、八六二	三〇、八二一	三七



備考 右ハ本年四月以降一日ノ收入高六百萬弗以上ニ上リタルトキノ統計ナリ

之ニ由テ見ルニ總預金ニ對スル現金ノ收入高三厘乃至五厘ニシテ一分ニ上ルコト極ノテ稀ナリ而シテ仕拂係ニ於ケル仕拂小切手ノ大部分ハ勿論交換所ヲ經ルモノニシテ交換所持返リ手形ノ總金額二千萬弗ニ上ル事敢テ珍シカラサレトモ一日間ニ仕拂係ノ窓口ニ於テ仕拂フモノハ最も多キ時ニテ十二三萬弗小切手ノ數六七百枚ニ過キス而シテ地方得意先ノ請求ニヨリ通運便ニテ紙幣ヲ現送スルモノ五六萬弗以上ニ及フヲ以テ現金仕拂高ハ普通十五六萬弗乃至二十萬弗位ナルヘシ總仕拂額ニ對スル現金仕拂高斯クノ如ク少數ニ過キサルヲ以テ現金ヲ取扱フ可キ仕拂受取兩係ノ事務ハ其關係甚タ密接ナラサルナリ何トナレハ受取係カ收入スル預金ノ大部分ハ小切手手形類ニシテ翌日ノ手形交換所ニ付ス可キ性質ノモノナルヲ以テ仕拂係ニ送付スルモ直チニ其日ノ仕拂ニ用ユルコトヲ得サルナリ然ルニ我邦ニテハ銀行出納ノ大部分ハ現金係ヲ通過スルモノニシテ預金爲替ニ受入ル、現金ハ直チニ之ヲ仕拂ニ流用スルコト必要ニシテ又極メテ有利

ナリ而シテ現ニ米國銀行ニテモ受取係ガマトマリタル大額ノ通貨ヲ預ケ主ヨリ受取リタルトキハ其都度之ヲ仕拂係ニ送付シテ其仕拂ニ充テシムルヲ常トス然レトモ是米國ニテハ一日ニ二三回ノ出來事ニ過キス日本ニテハ預ケ主ノ預ケ入ル、モノ、大部分現金ナルヲ以テ若シ收入仕拂ト課ヲ分チタランニハ其位置ヲ互ニ接近セシメ常ニ現金ヲ手渡スルコトヲ得セシメサル可カラス其結果ハ即チ現今ノ制度ナル出納係ニ仕拂方收納方ヲ區別シ置クト何ノ擇フ所ナキニ至ルヘシ是レ彼我事情ヲ異ニスル所以ニシテ當國ノ制度ヲ直チニ日本ニ移シ易カラサル理由ナリ

### 二、記帳ノ方法

米國ニ來リテ先ツ外人ノ心頭ニ浮フ第一ノ感念ハ何事ニヨラス大規模ニシテ無雜作ナルコトナリ日本ノ如ク規則正シキコト精巧細密ナド云フコトハ到底此國ニ見ル能ハサル所ナリ大陸ヲ橫斷スル汽車中ノ景色山川原野ノ模様既ニ然リ鐵道橋梁家屋ノ建築亦然リ而シテ銀行ニ入りテ事務取扱ノ方法ヲ見ルニ其無雜作ニシテ迅速ナルコト實ニ當國特有ノ性質ヲ表顯スルモノト云フ可シ小役ハ未タ



「バーク」銀行帳簿方ヲ實習セサルヲ以テ所謂得意先元帳、總勘定元帳等主要帳簿ノ記入法ヲ實見セサレトモ今日迄巡廻シタル受取、手形、仕拂、貸付其他ノ係ニ於テ保管スル諸帳簿、補助簿其他傳票書類等ノ取扱振ヲ見ルニ只管迅速ヲ旨トシテ粗雜無雜作ナルコト實ニ豫想ニ勝レリ百千萬ノ如キ端數ナキ大數ヲ記帳スルニ其位ニ數字ヲ記スノミニテ其次ニ零ヲ記サ、ルコト前回派遣員ノ報告ニモ記載セリ摘要欄ニ同斷ヲ示スヘキ印ヲ付スルコトモ殆ト皆無ナリ誤記誤算ヲ發見スルトキハ直チニ之ヲ描改スルカ如キハ尤モ普通ニシテ中ニハ屢々描改シテ他人ニハ見分ケ難キモノナキニアラス而シテ正式ノ記帳法ニ嚴禁セラル、刀削ノ如キハ寧ろ餘程丁寧ナル場合ニ用キラル、正誤法ニシテ役員ハ何レモ長三寸許ノ角ノ柄ノツキタル小刀ヲ衣兜ニ所持シ居リ稍々鄭重ヲ要スル帳簿等ニ誤記ヲ發見スルトキハ之ヲ以テ文字ヲ削リ其上ニ記入スルナリ其他一欄ノ内ニ二三行ノ數字ヲ割書スルカ如キ隨意ニ赤色インキヲ用ユルカ如キ何レノ帳簿ニモ冒頭ニ記載事項ヲ示セル文字ナキカ如キ嚴格ナル記帳法ニ慣レタル眼ニハ奇異ノ感ヲ起ササルヲ得ス又甚シキハ帳簿ノ記入ニ加算器(アリスモメター)ヲ用ユルコトナリ例

之一得意先カ振出シタル小切手ニテ同日ニ仕拂ヒタルモノハ一々之ヲ帳簿ニ記帳スル代リニ何百枚ニテモ加算器ニ依リテ細長キ表ヲ作り之ヲ帳簿ニ貼付スルナリ本方法ニヨレハ暗算ニテ合計ヲ出スノ累ナク又金額ヲ記入スルノ煩ナシ即チ手數ヲ省略スルニ於テ其功著大ナリト雖モ而カモ帳簿ハ貼紙ヲ以テ滿タサレ中ニハ紙ノ半剝カレタルモノアル杯實ニ蕪雜ヲ極メタリト云フ可シ之ヲ詰レハ答ヘテ曰ク帳簿ノ整頓シテ記入法ノ美事ナルニハ若カサルヘキモ之レカ爲メニ肝腎ノ業務ヲ後ラスル事我々ノ忍フ能ハサル所帳簿ハ取引ノ記録ナレハ能ク明確ニ出納ヲ示スヲ以テ足レリトス何ンソ必スシモ嚴格ナル記帳法ニ從フノ要アラシヤト答フ惟フニ業務ノ繁劇ナル到底已ムヲ得サルニ出ツルモノナルヘシト雖モ而カモ之ヲ改ムヘキ時間ヲ有スル場合ニモ依然粗雜ノ記帳法ニ満足スルカ如シ是實ニ當國人ノ特有性ニシテ所謂「ヤンキイズム」ノ一顯象ト云フ可シ

### 三、預金通帳、

預金通帳ハ銀行ガ預金主ニ對シテ發スル唯一ノ領收證ニシテ得意先ハ之ニヨリテ始メテ預金ノ出入殘高ノ消長ヲ知ルコトヲ得ルナリ故ニ其記入方法ハ從來元



帳ノ正寫ト等シク貸借共ニ明細ニ記入スルノ慣習ナルコト日本當國共ニ異ルコトナカリシガ晩近營業ノ進歩事務ノ繁多ハ役員増加ノ度ニ倍加スルモノアリ到底昔日ノ如ク明細ニ記入スルノ進ナキヲ以テ預ケ入レノ節ハ通帳適當ノ欄内ニ預ケ入レ金額受取法姓名ノ頭字及年月日ヲ記入シテ直チニ來客ニ返還スルコト昔日ノ如クナレトモ小切手仕拂ヲ口々ニ記載スルコトハ全然之ヲ廢シ其代リニ來客ヨリ殘高記入ノ請求アルトキハ帳簿方ニ於テ其日迄ノ仕拂金額ノ合計額ヲ記入シ預ケ入レ金額ヨリ差引キ殘高ヲ記シテ返付スルナリ而シテ此仕拂金合計額ノ摘要ニハ仕拂濟小切手ノ通りト記シ置キ他日仕拂濟小切手ハ加算器ニテ明細表ヲ作り之ヲ添エテ返却スルナリ故ニ今日ニテハ預金通帳ハ其通帳タル一半ノ性質ヲ失ヒ單ニ入金票ト用法ヲ同フシ時々預ケ主ノ希望ニヨリ殘高ヲ記入スルモノニ過キササルナリ斯クノ如ク事務ヲ省略シ行クノ結果ハ他日全ク通帳ヲ廢スルニ至ルモ亦計ル可ラサルナリ

#### 四、「アドグラフ」(Addlograph)

手數省略ノ必要及物好ヨリ種々ノ機械ヲ發明スルハ米國人ノ大得意ナリ前回派

遣員取調當時ヨリ僅ニ三年ヲ經タル今日又一新機械ヲ銀行ニテ使用スルニ至レリ之ヲ「アドグラフ」ト云フ「アドグラフ」ハ「タイプライター」(寫字器)ト加算器トノ聯絡ヲツケ「タイプライター」ニテ刷字スルト同時ニ加算器ノ作用ヲ起シ數字ヲ印刷シ且ツ加算スル機械ナリ普通加算器ノ上ニ「アドグラフ」ヲ置キ其上ニ「レミントン」式ノ「タイプライター」ヲ重子取柄ノ作用ニテ此三機械ノ聯絡ヲ完全ニシ「タイプライター」ノ面ニ顯ハレタル數字ノ釦ヲ押ストキハ「タイプライター」ニ插メル紙上ニ數字ヲ顯ハスト同時ニ加算器ハ例ノ作用ニヨリ細長キ紙片ニ同様ノ數字ヲ印刷シ且ツ最後ニ之カ合計ヲ印刷スルコトヲ得ルナリ此機械ヲ用ユルトキハ手形類ノ送付狀及控書ヲ同時ニ印刷スルコトヲ得

#### 五、役員採用ノ方法

「パーク」銀行役員採用ノ方法ハ左ノ如クニシテ往々日本ノ銀行ノ役員採用法ト相違スル所アリト斷言スルコトヲ得ヘシ

第一、學問ノ素養ヲ必要トセサルコト

第二、頭腦ノ人ヨリモ手足ノ人ヲ必要トスルコト



第三、少年ニアラサレハ採用セサルコト

二二

彼我風俗習慣、商業界ノ状態、事務ノ繁閑等著シキ徑庭ノ存スルモノアルコトハ言  
ヲ俟タサル所ナルガ銀行役員採用ノ方法ニツキ其相異ナル所以ハ職トシテ是等  
ノ事情ニヨルモノト云フ可シ米國各銀行ニテハ普通十六七歳位ノ少年ヲ採用シ  
市内取立其他ノ立働キ役ヲ爲サシメ又ハ小切手仕譯等ヲ手傳ハシメ徐ロニ各係  
ノ事務ヲ習熟セシムルナリ斯クノ如キ慣習ナルヲ以テ銀行役員中ニ大學ノ課程  
ヲ踏ミ學位ヲ有スルモノナトハ絶無ニ非サレハ稀有ナリト云フヘシ現ニ「パーク」  
銀行ノ如キ大銀行ニシテ百五六十ノ使用人ヲ有シナカラ一人ノ大學卒業生ヲ有  
セサルナリ現今支配人又ハ各係長トシテ行内樞要ノ地位ヲ占ムルモノハ悉ク所  
謂小僧上リニテ何レモ二十年三十年ノ星霜ヲ銀行ニテ暮シタル人々ノミナリ前  
回派遣員ノ報告ニハ役員ニシテ老齡ノモノ稀ナル旨ヲ記セルカ小役ノ見ル所ニ  
テハ何レノ係ニモ白髮ノ老人二三人ヲ見サルコトナク特ニ帳簿方ナトニハ耳順  
ヲ超エタリト見ユルモノ數人アリ是等ハ皆其半世ヲ銀行ニ奉公シタル人ナリ殊  
ニ小役ノ見テ以テ感心ニ堪エサルハ紙幣係ノ如キ終日紙幣ノ勘定ヲ爲スノミニ

テ何等ノ變化モナク少シモ頭腦ヲ用ユルノ機會モナク千偏一律無味乾燥ナル器  
械的業務ニ服シ十年以上ノ長年月ヲ一日ノ如ク暮セルモノアルコトナリ是ノ如  
キハ我日本人ナトニハ容易ニ耐エ難キ事ナル可シ

要スルニ米國銀行營業事務ノ分量多大ナルヲ以テ勢ヒ何事モ分業ノ原則ニ從ヒ  
役員ヲシテ器械的勞働ニ服セシムルノ必要我邦ニ比シテ幾層ノ上ニアル事勿論  
ナリ故ニ常識ヲ有シ一通リ算筆、記帳ノ業務ニ慣レタルモノニシテ誠實專念、自己  
受持ノ仕事ニ服スルモノアラハ夫レコソ最モ理想ノ役員ニシテ必スシモ學歴ト  
深遠ナル學識ヲ蓄フルモノヲ要セサルナリ試ミニ何故ニ今少シク學問アル青年  
ヲ雇備セサルヤト問ヘハ銀行ノ役員タルニ政治、經濟、百科ノ學ヲ知リテ何ノ用ア  
リヤ志堅固ニシテ迅速ニ事務ヲ執ルモノアラハ夫レニテ能事足レリ彼學校出  
ノ青年ニテ生物識ノ輩ハ徒ラニ器械的勞働ニ服スルヲ賤シムカ故ニ銀行ノ役員  
トシテハ却テ不適當ナリト云フ上級役員トモ稱ス可キ係長、副支配人ノ輩ニ就キ  
銀行ノ運用ニ關シ若シクハ米國貨幣制度、銀行制度等諸問題ニ付種々ノ質問ヲ放  
ツニ其無智ナルコト寧ロ驚ク可キモノアリ勿論日本ニテモ銀行ノ役員ニシテ是



等經濟上ノ問題ヲ熟知スルモノ稀ナルヘケレトモ當國役員中ニハ殊ニ稀ナリト云フ可シ案スルニ銀行ノ如キ既ニ運行ノ軌道ニ在リ業務ノ性質稍單調ニシテ著シキ波瀾ナキモノニアリテハ頭取取締役等銀行ノ運命ヲ司ルモノ并ニ之カ命ニ依リテ業務ノ執行ニ當ル支配人ニシテ頭腦明瞭ヨク經濟界ノ大體ニ通スルモノアラハ所謂手足トナリテ筆刀ノ末技ヲ掌ルモノ必スシモ學識深遠ノ人ヲ要セサルナリ米國ニ於ケル銀行役員ノ學識ニ乏シキハ寧ロ驚ク可シト雖亦現今我國ニ於ケル第一流ノ銀行會社カ其役員ヲ選任スルニ徒ラニ書籍上ノ智識ニノミ重キヲ置クカ如キハ必スシモ策ノ得タルモノニアラサルヘシ何トナレハ組織複雜セル機關ヲ運用センニハ勢ヒ頭腦ノ人ト手足ノ人トヲ併用セサル可カラス而シテ前者ハ少數ニシテ後者ハ常ニ多數ヲ要スレハナリ米國銀行役員ノ情態ニ鑑ミ感スル所アリ記シテ清覽ニ供ス

### 六、役員ノ進退黜陟、

普通役員ノ任免黜陟ハ一ニ支配人ノ意中ニ存シ特ニ重要ナル場合ノ外ハ頭取其  
他重役ノ裁決ヲ請フコトナク支配人ノ專斷ヲ以テ所決スルカ如シ役員増給ノ方

法ヲ聞クニ一モ定マリタル時期ナク唯支配人ノ考ニヨリ役員俸給簿ニ増給額ヲ記載セラル、ヲ以テ其月末俸給受取ノ日ニ至リ初メテ増給セラレタルコトヲ知ルコトアリ去レトモ先ツ概シテハ正月ニ増給セララル、コト多シト云フ日本官吏ノ俸給ノ如ク嚴重ナル職給ノ制度ニハアラサレトモ稍々之レト相似タル所ナキニアラス何レノ係長ハ年俸何千弗ナルヲ以テ其次席ハ年俸何千弗ナリト云フカ如キ權衡アリ又係長ニ缺位ヲ生スルトキハ俸給ニ於ケル次席者ヲ以テ之ニ充ツルヲ常トス元帳係長、仕拂係長及ヒ監査役 (Auditor) ト云ヒ重役ニアラスシテ普通ノ使用人ナリ行内ノ組織、各課間ノ聯絡ノ如キ何レノ係ニモ專屬セサル事務ヲ掌ル、パーク銀行ニ一人ノ監査役アリノ如キハ役員中ノ高給者ニテ、パーク銀行ノ元帳係長、仕拂係長等ハ四千弗ヨリ四千五百弗ノ年俸ヲ受クト云フ役員懲罰ノ方法ニツキテモ固ヨリ行内條規ノ據ルヘキモノナク支配人ノ見込ニヨリ或ハ叱責、減俸、退職等ヲ命スルコトアリト云フ然レトモ惡意若クハ甚タシキ怠慢ニ出テタル過失ニアラサレハ容易ニ懲罰ヲ受クルコトナシ仕拂係次席ノ語レルヲ聞クニ同氏カ二十餘年間仕拂係ニ在勤中大額ノ現金ヲ失ヘルコト兩度アリ一ハ係員内ニ



猶太人アリ株式取引所ニテ投機ニ指ヲ染メタルヨリ巨額ノ損失ヲ生シ遂ニ惡意ヲ起シテ一萬弗ヲ盜用シ一萬弗ノ紙幣ノ束ニ二萬弗ト記シテ一時ヲ糊塗シタルコトアリ事發覺シタレトモ實證ヲ舉クルコト能ハスシテ解僱セリ當時ノ係長ハ何等ノ懲戒ヲ受ケサリキ其後三千弗ヲ紛失シタルコトアリソハ窓口仕拂ノ時誤過テ渡シタルモノナルヘシト想像セラルレトモ遂ニ其實跡ヲ確カムルコト能ハサリキ此時モ右ノ三千弗ハ之ヲ銀行損益勘定ニ編入シ係長モ別ニ懲罰ヲ受ケサリキト云フ要スルニ現金紛失等ノ場合ニ役員ヲシテ之カ辨償ノ責ヲ負ハシムルカ如キコト決シテ之レナシ其外紙幣係ニテ損札ヲ發見シ又ハ五十弗百弗ノ誤算ヲ見出スコトアルモ其損失ノ出所ヲ追窮シテ役員ヲ罰スルコトアルヲ聞カス是等ハ多額ノ現金ヲ取扱フ内ニハ餘儀ナキコト、シテ寛容シ損失ハ銀行ノ負擔ト爲スコト一般ノ慣習ナルカ如シ

### 七、役員ノ優遇法、

當國銀行役員ノ最優遇法ハ自己ノ重大ナル過失若シクハ惡意ニヨルニアラサルヨリハ如何ナル場合ニ於テモ其職ヲ奪ハル、コトナキコトナリ素ヨリ銀行ト役

員トノ間ニ何等ノ契約アルニアラサレトモ多年ノ習慣ハ一種ノ法律ト爲リ自己ノ地位ハ何時迄モ安固ナリトノ感念ヲ曛々ノ裡ニ懷キ安ンシテ事務ニ服スルコトヲ得ルナリ而シテ數十年間「パーク」銀行ニ勤務シタル老人ニ聞クニ實際ニ於テ銀行ノ都合ニヨリ過失ナキ役員ヲ退職セシメタルヲ知ラスト云フ此蓄殺主義ハ一方ニ於テ役員ニ安心ヲ與フルノ効果アルト共ニ一方ニ於テ老朽ヲ淘汰スルコト能ハサルノ病所アリ故ニ「パーク」銀行ノ如キハ先ニモ云ヘルカ如ク既ニ老齡ニ達シタル比較的高級ノ役員ニシテ今尙手形取付ノ如キ借方小切手記帳ノ如キ器械的勤務ニ服スルモノアリ是等ハ若シ少年ノ給料少ナキ役員ト交替セシムルコトヲ得ハ事務ノ抄取り經費ノ節約ニツナカラ之ヲ得ルナルヘシト雖一方ニ於テハ役員一般ニ及ホスヘキ心理的ノ關係アルヲ以テ見ス々々銀行ノ損ト知リツ、老朽ヲ淘汰セサルナリ次ニ優遇法トモ云フヘキハ役員ニシテ如何ニ長キ疾病ニ罹リタル場合ニモ苟モ到底不治ナリトノ醫案ナキ限りハ何箇月ニテモ給料ヲ支給シテ休養セシムルコトナリ現ニ「パーク」銀行手形係長テイロー氏ノ如キハ本年九月頃ヨリ重患ニ罹リ今以テ快癒セス來年三月過ナラテハ出勤六カシカルヘシ



トノコトナルカ缺勤後モ俸給全部ヲ支給シテ休養セシメ居ルナリ而シテ歳末ノ「クリスマス、モ子」年一回ノ賞與金ニテ年俸ノ十分ノ一ヲ支給スヲモ全部之ヲ給スル筈ナリト聞ク當市各銀行中恩給法ヲ制定セルモノ一二行アル由ナルカ未タ就テ取調ヲ爲スノ暇ナシ「パーク」銀行ニハ成文ノ恩給法ナケレトモ事實ニ於テハ之ト同様ノ優遇法ヲ存ス即チ數十年間神妙ニ職務ニ鞅掌シ其間大ナル過失ナカリシ役員ニシテ六十、七十ノ老齡ニ達シ自ラ退職ヲ希望スルモノニハ俸給ノ全部若シクハ一部ヲ給シテ罷役トス現ニ受取係長アレク氏ノ老父ハ「パーク」銀行ニ在勤スルコト四十餘年、齡七十ヲ超ユルコト二三、數年前ヨリ現給ノ儘職ヲ罷メ毎日銀行ニ來リテ各係ニ出入シ悠遊セリ又老齡ニ達セサルモ肺病其他急ニ全癒シ難キ大患ニ罹リタル役員ニ給料ノ幾部分ヲ支給シテ暫時退職セシムルコトアリ兎ニ角別ニ條文ノ恩給又ハ優遇法ナルモノナク支配人ノ考ニヨリ永年銀行ニ勤務シ其間過失ナカリシモノニハ可成優遇ヲ與ヘテ其過去ノ勤勞ヲ賞スルニ吝ナラサルカ如シ

#### 八、重役並ニ支配人、

小役本報告ニ於テ役員ナル文字ヲ以テ銀行ニ従事スル總員ヲ概括セリ而シテ銀行員ヲ分チテ二種ト爲シ一ヲ「オヒサー」ト云ヒ一ヲ「エムプロイ」ト云フ「エムプロイ」ハ雇員ノ謂ニシテ即「クラーク」ナリ「オヒサー」コソ役員トモ譯スヘキモノニシテ取締役頭取、副頭取、支配人及副支配人ヲ以テ組成ス

頭取ハ銀行ヲ總督スルモノニシテ國立銀行ノ場合ニハ五人以上ノ取締役中ヨリ互選セラル國立銀行條例ニヨレハ頭取ハ

取締役會、支配人又ハ其他ヨリ銀行ノ頭取トシテ其手ニ委子ラレタル總テノ金錢其他ノ財産保管ノ責ニ任スルモノトス

銀行ノ名ニ於テスル總テノ約定書、小切手、手形類及大藏省通貨局ヨリ送付セラレタル紙幣ノ領收證ニ署名スルモノトス

又國立銀行條例ニヨリ發行スル銀行紙幣ニハ頭取一々署名スヘキ旨ノ規定アレトモ是ハ實際ニ於テ行ハサルコトナルヲ以テ現今ニテハ全ク空文ニ屬シ頭取署名版ヲ以テ署名ニ代フルコト、ナリ居レリ副頭取ハ頭取ノ補佐役ニシテ其不在ノ時代理スルノ任ニアリ



頭取、副頭取ハ多クノ場合ニ於テ下級役員ヨリ累進シタル老練ノ實務家ニアラサルカ如シ即チ此點ニ於テハ其趣ヲ我國ト同シクシ富豪ニシテ銀行ノ設立ニ與テカアルモノ又ハ政治家トシテ名聲高キ人カ政界ヲ遯レテ身ヲ實業界ニ投スル時招聘セラレテ銀行ノ重役トナルカ如キハ間々アル事ナリ前ノ大藏卿ライマン、ゲージ氏ガ當地某トラスト會社々長トナリタルカ如キ、前ノ大藏次官ヴァンダーリツプ氏カ、シチー銀行副頭取トナリタルカ如キ銀行家トシテハ經驗少キデラフヒールド氏ガブアー氏ノ後ヲ襲ヒテ「パーク」銀行頭取トナリタルカ如キ其實例ナリ「パーク」銀行ニハ三人ノ副頭取アリ一人ハイリノイ、セントラル鐵道會社々長ニテ資産數千萬弗ヲ有スト稱セラル、フヒシュ氏ニシテ他ノ二人ハ比較的年少ナルウヒギン、ソーンノ二氏ナリ此二氏ハ共ニ大藏省通貨局附屬ノ國立銀行検査官ニシテ多年銀行ノ事務ニ經驗アル人ナリト云フ

銀行支配人ノ職掌ハ頭取其他ノ取締役及取締役會ノ旨ヲ奉シテ銀行百般ノ業務ヲ監督シ且ツ銀行ヲ代表シテ諸手形並ニ書類ニ署名又ハ裏書ヲナシ寄託セラレタル金銀證券其他ノ財産ノ保管ニ任スルニアリ國立銀行紙幣ニハ必ス頭取並ニ支配人ノ署名ヲ要スルコト、ナリ居レリ又行内ニテハ取締役會ノ書記トシテ同會ノ記録ヲ作り割引委員トシテ貸出事務ノ統轄ニ任ス日本ノ商法ニ規定セラレタル支配人ト同シク役員ノ任免ハ一ニ支配人ノ意中ニ存スルモノ、如シ其他滯貸ノ整理ノ如キハ支配人ノ職掌中最モ重要ナルモノナルヘシ

支配人並ニ副支配人ノ多數ハ銀行ニテ多年ノ經驗ヲ積ミタル所謂小僧上リノ人物ナルカ如シ現ニ「パーク」銀行ニ於ケルヒコツク老支配人其他ノ二副支配人ハ何レモ多年銀行ニテタ、キ上ケタル人物ナリ殊ニヒコツク氏ノ如キハ前後四十餘年間當行ニアリテ最下位ノ役員ヨリ追々ニ累進シ今ヨリ十餘年前割引係長ヨリ一躍シテ現地位ニ達セルナリ而シテ「パーク」銀行ノ正副支配人ノ如ク下級役員ヨリ昇進シタルモノト副支配人若シクハ支配人トシテ入行スルモノト二種アリ後者ハ如何ナル職業ヨリ轉シ來ルカト云フニ合衆國政府國立銀行検査官又ハ通貨局ノ官吏等ヨリ來ルモノ是ナリ紐育市内銀行支配人及副支配人ノ内此種ノ經歷ニヨリ上級役員トシテ銀行事業ニ飛入リスルモノ其數少カラス銀行検査官ハ大藏省通貨局長ノ監督ノ下ニアリ全國ヲ數十ノ區域ニ分チ二三人ノ補助員ヲ率ヒ



テ自己ノ受持區域内ニアル國立銀行ヲ順次検査シ其報告ヲ本省局長ニ提出スルナリ是ヲ以テ其受持區域内ニアル銀行ノ内情ハ細大漏ラサス之ヲ熟知シ其分課ノ配置帳簿ノ組織得意先ノ種類貸金ノ性質事務ノ執リ方ナト實地ニツキテ精査攻究スルノ便宜ヲ有ス故ニ新銀行ノ創設ニ際シ又ハ銀行支配人副支配人等ニ空位ヲ生シタルトキハ検査官ヲ招聘シテ樞機ニ當ラシムルコト銀行ニ取り利益ナル場合アリ是レ支配人等上級ノ役員ニ検査官ヲ勤メタル履歴アル人物多キ所以ナリ

### 九、役員ノ使用法

ニツキテ小役ノ感シタル所ヲ摘記スレハ

- 一、係長並ニ上級ノ役員ハ永年一係ニ在職セシメ必要生スルニアラサレハ轉職セシメサルコト
  - 二、下級役員ハ常ニ行内ノ各係ニ通シテ使用スルコト
- 「パーク」銀行受取係長ハ二十餘年割引係長ハ十六年仕拂係長ハ二十餘年間同一ノ係ニ奉職シテ他ニ轉シタル事ナシト云フ而シテ各係次席者其他一二ノ重立チタルモノ、如キモ五年十年以上同係ニ在勤シテ一日ノ如クニ働キ居ルモノアリ取扱事務ノ分量コソ年々歳々増加スレトモ其性質ニ至リテハ年々歳々異ル所ナク千偏一律ナルヲ以テ各自其事務ニ慣熟スルコト器械ノ如ク其取扱ノ迅速ナルコト外人ノ見テ驚嘆ニ堪ヘサル所ナリ而シテ名ハ係長ナレトモ執務ノ性質ニ至ツテハ他係員ト毫モ異ルトコロナク終日營々トシテ忙シケニ立チ働キ居レリ斯クノ如ク一係ニ留メ置キテ他係ニ轉任セシメサル所以ノモノハ畢竟事務ニ慣レタルモノヲ使用スルハ銀行ノ利益ニシテ事務ノ進捗ヲ圖ルニ於テ最良ノ方法ナルヲ以テナリ唯一見不審ニ堪エサルハカ、ル役員カ一年三百六十日同様ノ事務ノミヲ取扱ヒ居リテ之ニ満足シ少シモ變化ヲ希望セサルコトナリ銀行ニ取りテハ慣レタル役員ヲ使用スルノ利益アルヘシト雖役員ニ取りテハ全ク一局部ノ事務ニ熟スルノミニテ各機關ノ聯絡ヲ知ルコト能ハス何時迄モ器械的業務ニ服スルノ外ナシ

係長次席其他ノ重立チタル役員ニ引換ヘ下級ノ役員ニ至リテハ毎朝十時迄ハ何係ニテ働キ午後何時迄ハ何係ニ行ト云フカ如ク常ニ各係事務ノ繁閑ニヨリテ分



掌共通スルヲ慣習トス今「パーク」銀行ニ付テ曰ハンニ午前八時ニハ書信受付係ニ於テ外來ノ書信數千通ヲ受取リ其中ヨリ紐育市内他銀行渡ノ手形小切手ヲ引拔キ之ヲ仕切戸棚ニヨリテ區別シ夫々仕譯表ヲ添エテ手形交換所ニ持出サ、ル可カラサルヲ以テ書信受付及小切手係ノ賑ヤカナルコト驚ク許ナリ受取係其他ニ屬スル下級役員ハ小切手係ニ集リ來リ我勝ニ書狀ヲ開キ若シクハ交換所持出手形仕譯戸棚ノ中ニ投入シテ仕譯ヲ爲ス其狀恰モ火事場ノ如シ而シテ交換所持出手形ヲ交換所ニ送付シ了ルヤ否間モナク持歸手形ヲ受取リ來ルニヨリ各係ヨリ下級役員又々小切手係ノ室ニ集リ來リ上級役員カ附帶ノ明細書ト引合ヲナシタル小切手ヲ取リ長サ三間幅四尺位ノ大机ノ上ニ取引先ノ頭字又ハ地名等ニヨリ元帳口座ノ順序ニナラヘテ仕譯ヲ爲ス而シテ此仕事ヲ終レハ手形係受取係其他ノ係員ハ各自所屬ノ係ニツキテ事務ヲ取扱フナリ而シテ是等役員ノ配置ハ一ニ筆頭役員ナル元帳係員ノ差圖ニヨルモノニテ役員ノ内缺勤者等アル時ハ該係長ハ元帳係長ニ就テ代リ員ヲ請求スルナリ斯クノ如キ仕組ノ効能ハ(第一)役員ヲシテ行内何レノ事務ニモ通曉セシムルコトヲ得(第二)從テ缺員アル場合ニ之ヲ填補

スルノ便アリ(第三)繁閑ノ度ヲ平均ニシ事務ヲ進捗スルコトヲ得若シ夫レ日本ノ諸會社及銀行等ニ於ケルカ如ク事務ノ割合ニ多數ノ役員ヲ使役シ居ル場合ニハ斯クノ如ク各係ニ共通シテ役員ヲ働カシムルコト左迄必要ニアラサルヘシト雖當國ノ如ク人數ノ割合ニ事務ノ繁多ナル所ニアツテハ唯ニ比較的の利益問題ニ止マラスシテ寧ロ必然避ク可カラサル一方法ト云フヘシ

### 十、役員勤務程度

米國ニ於テモ地方ノ小銀行ハイサ知ラス紐育、費府、シカゴ等ニ於ケル大銀行ノ役員一人カ取扱フ事務ノ平均分量ハ恐クハ日本ニ於ケル普通役員ノ二三人前ニ匹敵スト云フモ謬言ニアラサルヘシ頭取、副頭取ノ如キモ午前十時ヨリ午後四時頃迄引續キ各種ノ來客ニ接シ其多忙ナルコト眼ノ廻ル程ナリ支配人以下ニ至リテハ一層烈シク貸金割引ノ監督ヲ爲シ來客ニ接シ役員ヲ統轄シ席ニ在レハ專屬ノ「タイプライター」ヲシテ種々ノ書狀ヲ作ラシメ席ヲ離ルレハ各係ヲ巡廻シテ萬事ニ注意スル等其狀瞬間モ閑暇ナキカ如シ而シテ普通役員ニ至ツテハ其勤務ノ度更ニ幾層ノ上ニ在リ貸付係ノ如キハ事務ノ性質割合ニ緩ナルヲ以テ係長ノ出勤



午前九時過キナレトモ其他ノ役員ハ大概八時過キヨリ出勤シ午後五時乃至七時ニ退出ス其間九時間以上ノ執務ヲ爲シ僅ニ晝飯時ニ三十分内外ノ暇ヲ得ルノミ特ニ近頃ハ交換所持出手形ノ數夥シキ數ニ上リ到底午前七時ヨリ取掛リテハ交換所ノ規定時間即チ午前十時迄ニ完了スルコト能ハス辛フシテ間ニ合フコトアリテモ餘リニ取り急ク爲メ送り先ヲ誤ル等不都合尠カラサルヲ以テ「シチー」銀行ノ例ニ倣ヒ役員五六人夜間十二時ヨリ翌朝七時迄毎夜交替ニ執務スルコト、ナリタリ而シテ執務時間中ハ殆ント寸隙ナク喫烟ハ勿論新聞ヲ讀ミ雜誌ヲ爲ス邊モナキ程ナリ行内ニテ新聞ヲ見ルコトヲ許サレタルハ貸付係ノミニテ之レ唯擔保品價格ノ高低ヲ見ルノミナリ何レノ役員モ唯一刻モ速ニ受持ノ仕事ヲ終リ歸宅シテ家族團欒ノ食卓ニ座セントノ念ニ驅カレ居ルモノ、如シ外國旅人殊ニ東洋人カ紐育ノ市街ニ於テ第一ニ異様ニ感スルハ男女老幼ノ差別ナク何レモ肩ヲ振り手ヲ動カシ駆足ニテ疾歩シ行クコトナリ之ト同シク日本ノ悠長ナル事務取扱振ニ慣レタル眼ヲ以テシテハ米國銀行員執務振ノ迅速ニシテ激烈ナルコト實ニ一驚ニ値ス毎朝交換所持出手形ヲ仕切戸棚ニ仕譯クルトキ又ハ持戻リ手形

ヲ元帳口座順ニ仕譯クルトキナトハ殆ント何レモ血眼ニテ立働ク様目覺シキ許ナリ來客ノ口數小切手枚數等ニ關スル統計ナキヲ以テ精密ニ彼我役員ノ執務分量ヲ比較スルコト能ハサレトモ第一、出勤時間ノ長キコト第二、出勤時間中間隙ナキコト第三、執務振ノ迅速激烈ナルコトニヨリテ徵スルニ當國役員一人前ノ執務分量カ我國ノ夫レニ二三倍スト云フハ敢テ過當ノ言ニアラサルヘシ二千二百萬弗ノ擔保付當座貸金ヲ以テ取扱フ貸付係員ハ係長ノ外ニ補助員一人アルノミ而カモ此補助員ハ午前中他係ニテ働キ十一時迄ニ貸付係ニ來ルナリ三千五百萬弗ノ割引定期擔保付ノ貸金等ヲ取扱フ割引係員ハ係長ノ外一人ノ係員アルノミ以テ其一斑ヲ窺フニ足ルヘシ

### 十一、取扱人ノ責任ヲ明ニスル方法

我邦ニテハ何事ニモ再看讀合セナト云フ方法ニヨリ金錢出納ハ勿論書狀ノ淨書記帳其他百般ノ事ニ多人數ノ眼ヲ通スノ慣習アリ而シテ其結果ハ動モスレハ責任者ノ何人ナルヤヲ沒了スルコトナキニアラス例之ハ出納係ニテ係長カ一度紙幣ノ員數ヲ取調ヘ之ヲ直接來客ニ接スル補助員ニ手渡スレハ補助員ハ更ニ又之



ヲ再看シテ來客ニ渡スナリ而シテ終業後若シ現金勘定ニ不足ヲ生シ而シテ其不足額ハ仕拂方ノ過拂ニ出テタルモノナルコトヲ確メ得タル場合ニ於テモ其責任ハ最初取調ヲ爲シタル係長ニアルカ將タ又來客ニ手渡シタル補助員ニアルカ明白ナラサルコトアリ而シテ當國ニテモ記帳其他餘リニ急ヲ要セサル事務ニハ讀合ヲ爲シ突合ヲ爲ス等ノ手續ヲ取ルコトナキニアラサレトモ仕拂係ニテ通貨ノ仕拂ヲ爲スカ如キ紙幣係ニテ其計算ヲ爲スカ如キ其他日本ナラハ再應モ三應モ眼ヲ換ヘテ精査スルナルヘシト思ハル、コトヲ當地銀行ニテハ事モナケニサツサツト遣リ放シテ頼着セサルコト慣レサル眼ニハ異様ノ感アリ去ル代リニハ各係ハ勿論各役員ノ責任ヲ明ラカニスル方法自ラ備ハリテ何人ノ過失ナリシカ明カナラスト云フカ如キコト絶エテナシ其方法ニハ種々アレトモ一寸風變リニテヨキ思付ナリト思ヒシハ紙幣係ニテ紙幣ノ束ヲ造リ帶紙ノ上ニ勘定方三人カ各色ノ異リタル鉛筆ニテ金高ヲ記載シ置クカ如キ仕拂係ニテ仕拂濟ノ小切手ヲ差シニ通スニ係長ノ仕拂ヒタルモノハ一本ノ針次第ノハ二本ノ針ヲ有スルヲ以テ後日誤ヲ發見シタル時ハ其何人ノ手ニヨリテ仕拂ハレタルモノナルカヲ明ラカ

ニスルコトヲ得ルナリ其他帳簿ノ引合ヲ爲ス時ニ各人其印ヲ付スル場所或ハ印ノ形ヲ異ニスルカ如キ微細ノ事ナレトモ其責任ノ歸スル處ヲ明ラカニスル方法能ク整ハレリト云フヘシ

## 十二、現金取扱ノ方法、

現金取扱ノ方法ニ關シテ日本ト當國トノ差違ヲ擧クレハ左ノ如シ

(一) 現金ノ取引ト雖其場限りニアラサルコト

日本ノ銀行ハ「現金其場限り」ノ方針ヲ確守シ之ヲ嚴格ニ解釋シ眼前何レノ顧客ニ何程ノ過拂ヲ爲シタリト當リノ付キ居ル場合ニテモ決シテ其顧客ニツキテ問答ヲ爲シ又ハ過拂セル金額ノ返却ヲ受クルコト能ハサルモノトスルモノアリ銀行カ一旦其勘定臺ノ上ニテ仕拂又ハ收入シタル金額ニ對シテハ縦合後日如何ナル相違ヲ發見スルトモ決シテ來客ノ請求ニ應シテ誤ヲ改メサルヘシトノ方針ヲ採ル以上ハ銀行モ亦顧客ニ對シテ正誤ヲ請求スルコト能ハサルハ理ノ當然ト云フヘキナリ當地ニテモ現金商ヲ重トスル所ニテハ「現金其場限り」主義ナルコト勿論ニテ郵便局爲替方其他現金取引商ノ窓口ニ釣錢ハ勘定臺ヲ立退ノ前ニ精査ス可



シト掲札セルモノ多シ然レトモ商業銀行ノ性質ハ不見不識ノ吳客越人ヲ相手ト  
 スルモノニアラス其窓口ニ來リテ取引ヲ爲スモノハ銀行ノ常得意ニアラサレハ  
 其署名アル小切手、手形類ヲ持參スルモノナリ故ニ若シ誤テ多ク受取り若シクハ  
 少ク仕拂ヒタルトキハ其何人ノ勘定ニ屬スヘキカヲ知ル能ハサル場合ハ格別尙  
 モ何會社何商店又ハ何某ノ勘定ナルヘシト心當ノアル場合ニハ之ヲ取調ヘタル  
 上相違ナケレハ之ヲ返還シ又ハ追拂ヒスルコト當然ノ事ナリト云フヘシ從テ之  
 ト反對ニ過拂ヲ爲シ又ハ不足收入ヲ爲シ其何レノ顧客ナルカヲ知り得タル場合  
 ニハ或ハ電話書狀或ハ特使ヲ以テ公然問合スコト極メテ普通ノ事ナリ如何ニ信  
 用發達セル當國ナリトテ素ヨリ多數ノ中ニハ不良ノ徒ノ混リ居ラストハ限ラサ  
 レトモ兎ニ角信用アル顧客ナラハ大概銀行ノ要求ニ應シ自己ノ勘定ヲ取調ヘ過  
 剩アルトキハ夫々手續ヲ明ラカニシテ拂込ムコト勿論ナリ現金其場限り主義ハ  
 現今日本ノ狀態ニ於テ容易ニ廢絶シ難キコト勿論ナレトモ其主義ノ適用ハ寧ロ  
 或場合ニ於テ幾分ノ斟酌ヲ要スヘキニアラサルカ而シテ按スルニ所謂現金其場  
 限りトハ昔日未タ信用ノ發達セサリシ時代ノ遺習ニシテ之ヲ以テ萬代不易ノ金

科玉條ナリトスルモノアラハソハ與ニ信用機關タル銀行ノ運用ヲ論スルニ足ラ  
 サルナリ

(二) 現金取引ノ比較的少キコト

銀行ニ於ケル一日數千萬弗出納ノ中現金ノ受授ヲ爲スハ僅々數十萬弗ニ過キサ  
 ルコト先ニ銀行分課ノ方法ナル項ニ詳述セリ試ニ最近ノ統計ニヨリ過去二十年  
 間ニ於ケル當國各種銀行預金、手形交換所手形交換高及ヒ通貨ノ膨脹並ニ其割合  
 ヲ對比スルニ思半ニ過クルモノアリ

各種銀行預金	千八百八十二年		千八百九十二年		千九百二年	
	百弗	割合	百弗	割合	百弗	割合
紐育手形交換高	四六、五五二		三六、二七九	減	二二	七四、七五三
全國手形交換高	六一〇、五四		六〇、八八三	減	〇三	一一六、〇二一
通貨	一一、七四		一、六〇一		三六	二二、四九
人口一人ニ付	二二、三七		二四、六〇		〇二	二八、四三
信用發達ノ目標タル銀行預金並ニ手形交換高ハ千八百八十二年ヨリ本年ニ至ル						三



二十箇年間ニ非常ノ發達ヲ爲セリ其内千八百九十二年ノ手形交換高カ千八百八十二年ニ比シ幾分ノ退歩ヲ示セルハ特殊ノ事情ニヨルモノニシテ千八百九十二年紐育株式取引所ハ一日間ニ賣買セル株券ノ交換ヲ爲スタメニ交換所ヲ開設シタルヲ以テ從來手形交換所ニ於テ決濟セラレタル此種ノ取引カ同年ヨリ以後手形交換所ヲ通過セサルコト、ナリタルナリ是其減少ノ理由ナリ以上ノ減少ヲ除キテ他ハ皆著大ノ増加ヲ爲シタルナリ而シテ千八百九十三年クリーヴランドノ治下當國ニ大恐慌アリ國內ノ産業悲運ニ陥リタルヨリ以降今日ニ至ル迄發達ノ跡ヲ尋ヌルニ通貨ノ増加ハ四割ニ過キサレトモ預金ハ十割一分、紐育手形交換高ハ十割六分全國手形交換高ハ九割ノ増加ヲ爲セリ而シテ更ニ人口一人ニ付通貨ノ割合ヲ見ルニ其増加殊ニ微々トシテ千八百九十二年ハ八十二年ニ比シ二分千九百二年ハ千八百九十二年ニ比シ三分ヲ増加セルノミナリ

見ル可シ通貨ノ増加ハ信用並ニ産業ノ増加ニ伴ハサルコトヲ現今株式仲買其他「ウォール、ストリート」一派ノ人々ハ通貨増發ノ旗幟ヲ立テ、議會並ニ政府ニ對シ運動中ナリ而シテ現今ノ行政府モ亦之ニ贊同セルカ如シソハ兎ニ角之ヲ我邦ニ

比スルニ一般商取引ニ現金ノ使用セラル、コト僅少ナルハ爭フ可カラサル事實ナリ

(三) 現金勘定ノ過不足ハ多額ニ上ル恐少キコト

現金勘定ニ於テ誤テ過拂ヲ爲シ又ハ受取不足ヲナスコトアルモ多クノ場合ニハ多額ノ過不足ヲ生スルコトナシ當國ノ通貨中大藏省ニ於テ金準備ニ對シテ發行スル所謂金札(Gold certificate)ナルモノニハ一萬弗、五千弗、千弗等アリ是等大額ノ紙幣ハ特ニ注意ヲ爲シ端數ノモノハ一々針ニテ止メ別ノ箱ニ仕舞ヒ置クナリ是萬一誤テ少額紙幣ノ代リニ支拂フ事アルヲ防カンカ爲ナリ普通現金取引ハ少額ノモノナリ故ニ五弗十弗ノ紙幣ニテ支拂ヲ爲サンニハ縱令誤リテ過拂ヲ爲ストモ其額多額ニ上ルコト無キナリ

(四) 百弗内外ノ過不足勘定ハ強テ取調ヲナサルコト

仕拂受取、手形等諸係ニ於テ終業後現金殘高ニ過不足ヲ發見スルトキハ再調査ヲ爲シ過誤ヲ見出スコトニ勵ムレトモ到底其日ノ内ニ發見シ得サルトキハ其額數百弗以上ニ上ラサル場合ニ限り之ヲ過不足勘定ニ入レ暫時控へ置キ後ニ損益勘



定ニ入ル、事一般ノ習慣ナリ日本人ノ眼ヨリ見レハ如何ニモ無雜作ノ感アレトモ實際ニ於テ厘毛ノ差異迄之ヲ精査シ計算シ行カンコト到底行ハルヘキニアラズ「パーク」銀行仕拂係ノ過不足勘定ハ常ニ不足殘高ニ百弗内外ヲ有セリ是多クハ小切手係ノ取扱ニ係ル小切手ヨリ生スルモノナレトモ内ニハ仕拂係現金勘定ヨリ生スルモノアリ五弗十弗ノ差ハ毎日ノ事ナリ若カモ役員ハ勘定合ヘリトシテサツサツト歸リ行クナリ

(五) 僅少ノ誤謬ヲ防カンカ爲メニ一般ノ來客ニ不便ヲ與フルカ如キ  
取扱ヲナサス

是蓋シ米國一流ノ遣方ナル可シ何故ニ今少シク物事ヲ丁寧ニ取扱ハサルヤト質問スレハ間違ハ千ニ一度カ二千ニ一度生スルノミ之ヲ防カンカ爲メニ他ノ九百九十九若シクハ千九百九十九ノ取扱ヲ嚴重ニシ幾多ノ來客ニ不便ヲ與ヘ手間取ラスルコト銀行ニ取リテ策ノ得タルモノナリヤ時間ハ來客ニ對シテ貴重ナルカ如ク銀行ニ對シテモ亦貴重ナリ事務拂ラサルトキハ來客ニ無用ノ時ヲ費サシムルト同時ニ銀行ニ取リテモ同様ノ損アリ現金勘定ハ勿論其他ニ過不足アルハ好

マシキコトニアラス厘毛ノ微ト雖之ヲ精査シ其合算ヲ舉ケサレハ止マストノ主義ハ理論トシテハ結構ナレトモ實際ニ於テ之ヲ勵行スルノ利ハ一方ニ貴重ノ時間ヲ徒費シ幾多ノ來客ニ不便ヲ與フルノ損ニ如カサルナリ云々

以上列記セルカ如ク銀行ノ方針ニ於テ取引ノ狀態ニ於テ一般社會信用發達ノ程度ニ於テ彼我事情ヲ異ニスルモノアリ去レハ當國商業銀行ニ於ケル現金ノ取扱振ハ勢ヒ之ヲ我邦ト異ニシ只管迅速敏捷ヲ旨トシ之レカ爲メニハ稀ニ起ル可キ過誤ヲモ敢テ犠牲ニ供セントスルモノ、如シ請フ少シク現金取扱ノ實況ニ就キテ述フル所アルヘシ現金ヲ取扱フモノハ受取係手形係仕拂係紙幣係ヲ主トシ取立係書信係ノ如キモ時トシテ之ヲ取扱フコトアリ受取係ノ取扱フ現金ハ市内得意先ヨリ預ケ入ル、モノニシテ或ハ端數ノ儘或ハ帶封ヲ爲シ帶紙ニ金額ヲ記入シタルモノアリ端數ノモノハ來客ノ面前ニテ一應計算スレトモ帶封ノモノハ其儘取引臺下ノ孔ニ入レ置キ纏リタルモノハ即時仕拂係ニ送付シ端數又ハ少額ノモノハ終業後仕拂係ニ送付ス受取係長又ハ次席カ來客ヨリ端數ノ現金ヲ受取ルトキハ一應計算スルノミニテ所謂再看ナルモノナシ



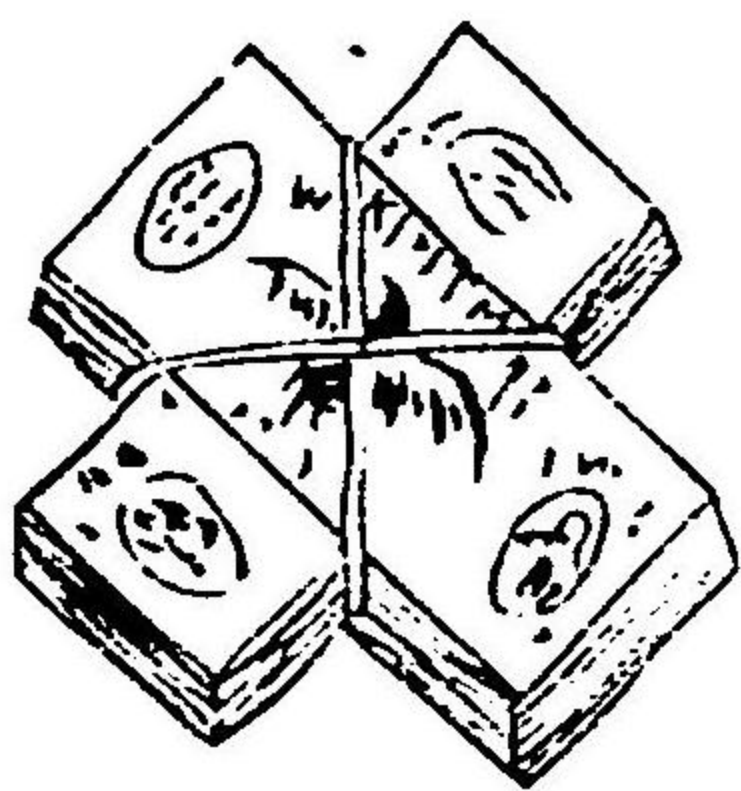
次ニ手形係ハ其分掌ノ事務地方得意先ノ預ケ入レ、並ニ期日手形取立ニアルヲ以テ時トシテハ地方取引先ノ代理人ヨリ其勘定ニ現金ヲ振込ムコトアリ又ハ満期手形仕拂ノ爲メ窓口ニ現金ヲ持參スルモノアリ其他入金通知票送金爲替代用ノモノナリ後ニ項ヲ改メテ述フル所アルヘシ及預金手形發行ノ時ニ入金スルコトアリ是等ノ場合ニモ一應係長又ハ次席カ之ヲ計算スルノミニテ再看ヲ爲サス纏リタルモノハ受取係ト等シク封ノ儘受取り之ヲ仕拂係又ハ紙幣係ニ送付ス

米國西部ニ於テハ金貨ノ流通多クシテ紙幣ヲ用ユルコト少ナシト雖東部ニ於テハ之ニ反シテ紙幣多ク金貨少ナシ故ニ通貨ノ大部分殊ニ商業銀行ニ於テ取扱フ通貨ノ大部分ハ紙幣ナルコト勿論ナリ是「バンク」銀行ノ如キ大銀行ニ於テ特ニ紙幣係ナル一分課ヲ置ク所以ナリ而シテ紙幣係ハ當然仕拂係ノ一部分トモ云フヘキ係ニテ一日ノ終リニハ總テ現金殘高ヲ仕拂係ニ送付シコ、ニ全ク其仕事ヲ了スルヲ以テ銀行ニ對シテ貸借勘定ヲ有セサルナリ紙幣係ニ於テ現金ヲ收入スル道筋ハ仕拂係受取係及手形係ヲ主トスレトモ時トシテ通運又ハ郵便ニテ送付シ來レルモノヲ直チニ收受スルコトアリ

當係カ何レノ道筋ヨリニテモ紙幣ヲ收受スルトキハ先ツ一通リ是ヲ取調ヘ數ヲ當リ眞價ヲ確メ損札ヲ除キ去リ紙幣ハ金額ノ種類ニヨリ各種ヲ束トシ更ニ各束ニツキテ五枚、十枚、二十枚ト云フカ如ク重子合セタルモノヲ一組ツ、十文字ニ組合セ之ヲ系ニテク、

紙幣束(ク

ロシング)



リ置クナリ其形ヲ圖ニヨリテ示セハ上ノ如シ而シテ是等ノ束ハ五弗ノモノアリ十弗ノモノアリ五十

弗ノモノアリ百弗ノモノアリ何レノ數ニテモ備ハラサルハナシ紙幣係ハ是等ノ束ヲ仕拂係ニ送付シテ其使用ニ充テシムルナリ「クロッシング」Crossingハ交叉ノ意ナリ)

仕拂係ハ紙幣係ヨリ受取リタル紙幣ノ束ヲ臺上ニ堆積整理シ置キ來客ノ窓口ニ至リテ仕拂ヲ求ムルモノアレハ其小切手ヲ審査シ How would you have it?ト云ヒテ其所望スル紙幣ノ種類ヲ尋子無雜作ニ臺上ノ紙幣ヲ一束ツ、引摺ミ更ニ計算スルコトナクシテ窓口ノ玻璃板ニ擲ケ出シ瞬間ニ仕拂ヲ了スルナリ其迅速ニシテ手際ヨキコト恰モ囊中ニ物ヲ探クルカ如ク傍觀シテ小氣味ヨキ許ナリ若シ日



本ニ於ケルカ如ク仕拂ノ度毎ニ百圓、五百圓、千圓等ノ束ヨリ必要ノ紙幣ヲ拔取リ再三計算シテ之ヲ他ノ役員ニ渡シ再看ノ後仕拂ハシムルカ如キ間タルキ手順ヲ爲シ居リテハ到底數百ノ來客ヲ取捌キ行クコト能ハサルナリ之ヲ要スルニ一圓、二圓、五圓等各種ノ紙幣ヲ豫メ五枚、十枚若シクハ二十枚ト云フカ如ク適當ナル數ニ分チ之ヲ束トシ縦横ニ積重子置キテ仕拂ノ際手早ク之ヲ拔キ取り計算ヲ爲サスシテ仕拂フコト、爲スハ取扱ノ手續ト時間トヲ省略スルニ於テ大ニ効驗アルヘク是ハ移シテ日本ノ銀行ニ實行シ得ヘキ便法ナルヘシト信ス

終リニ臨ミ一言附記シ置キ度ハ外國人ノ指先ノ不器用ナルコトナリ從テ紙幣ノ計算ノ如キハ頗ル緩慢ニテ之ヲ夫ノ電光モ雷ナラサル本邦ノ計算方法ニ比スレハ到底日ヲ同フシテ語ル可カラス而カモ實際ノ取引ニ於テ彼ノ我ニ勝ル所以ノモノハ上來説述セル數種ノ理由ニヨルモノニシテ殊ニ紙幣係カ豫メ小束ニ紙幣ヲ分チ置キ仕拂係ヲシテ來客ノ面前ニ計算ヲ繰返スノ煩ヲ避ケシムルノ便法與テ力アリト云フ可シ

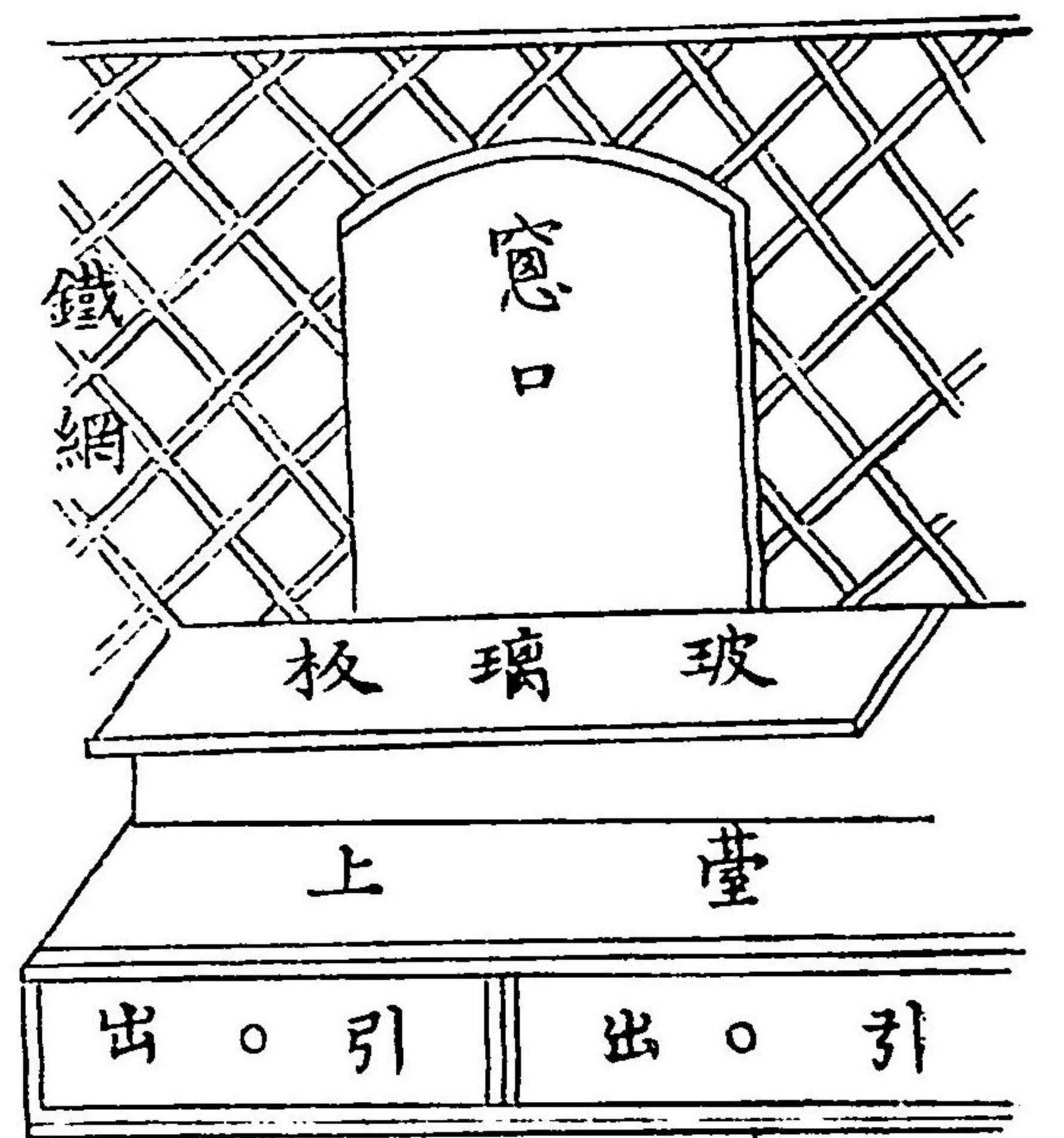
### 十三、貨幣取扱臺ノ事

小役出發ノ際本店營業部長上柳清助氏ヨリ貨幣取扱臺ニツキ見聞ノ趣ヲ特ニ報告スヘキ旨ノ依頼アリタリ未タ「パーク」以外ノ銀行ヲ見タルコトナキヲ以テ今後視察ノ結果更ニ追申スルコトアルヘシト雖茲ニハ「パーク」銀行ニ於ケル模様ヲ述ヘテ參考ニ資セン紙幣係ノ位置ハ營業事務所ヲ見下セル階上ノ一室ニシテ其紙幣計算ノ爲メニ用ユル臺ハ幅四尺五寸長サ二間半位ノ大形ノ机ニシテ係長外三人相對シテ腰高ノ腰掛ニ凭リ又ハ立チナカラ事務ヲ取ル仕組ナリ而シテ此勘定用ノ臺ハ二三ノ引出ヲ有スルノミニテ面上ニハ何等ノ裝置モナキ極メテ單純ナルモノナリ只其特質トモ云フヘキハ頗ル大ナルノ一事ナリ是紙幣ノ床上ニ散逸スルヲ防カンカ爲メナル可シ其他一々ノ机ヲ使用スレトモ何レモ普通ノモノニシテ取立テ、云フヘキ價值ナシ

仕拂係ニテハ窓口ニ厚形ノ玻璃板アリ此處ニテ來客ト手形及貨幣ノ受渡ヲ爲スナリ其玻璃板ノ下ニ臺アリコ、ニ各種ノ貨幣ヲナラヘ置クナリ

來客ハ鐵網ノ外部ヨリ玻璃板ヲ透シテ臺上ニ並ラヘタル紙幣金銀貨ヲ見ルコトヲ得レトモ手ヲ差シ延ハシテ之ニ達スルコト能ハス而シテ此臺ノ幅ハ約二尺ニ





仕拂係、受取  
係其他來客  
ニ接スル窓  
口ノ構造ハ  
此圖ノ如シ

テ仕拂係長カ窓口ニ面シテ座  
ヲ取り玻璃板ノ上ニ自由ニ手  
ヲ延ハスコトヲ得ルノ程度ト  
爲シ置クナリ而シテ圖中右ノ  
下方ニアル引出ハ深サ一尺位  
ニシテ内部ヲ十二箇ノ柵ニ仕  
切リ各種端數ノ紙幣ヲ仕舞ヒ  
置クナリ大概ノ銀行ニテハ仕  
拂係長席ノ右手ニ此引出アル

ヲ常トスレトモ費府某銀行ニテハ仕拂係長席ノ左手ニ備付ケタリ其理由ハ左手  
ニテ紙幣ヲ握ミ右手ニテ勘定ヲ爲シ其儘殘リノ紙幣ヲ握リ換ヘスシテ元ノ引出  
ニ仕舞フコトヲ得ル故ナリト云フ  
要スルニ窓口ノ玻璃板ハ一ハ勘定臺トナリ一ハ臺上ナル貨幣ヲ保護シ外部ヨリ  
達スルコト能ハサラシムルノ利アリ

#### 十四、損札引換ノ事

損札引換ハ當國ニ於ケル大銀行カ顧客ト公衆トニ對スル德義上ノ責任ニ屬スル  
モノニシテ之ヲ爲サ、ルモ營業上何等ノ不都合ナク之ヲ爲スモノノ收益アルニ  
アラサルナリ然ルニ之カ爲メニ幾多ノ手數ヲ厭ハス時間ト費用ト金利トヲ犠牲  
ニ供シテ猶且ツ辭セサル所以ノモノハ何ツヤ銀行者間ニ於ケル競争ノ結果ト社  
會公衆ニ對スル銀行ノ「アツコムモデーション」ニ過キサルナリ前回派遣員ハ其報  
告書中「パーク」銀行ノ部ニ「モ子」デ「パートメント」ヲ譯シテ紙幣勘定係ト云ヘリ是  
恐クハ當ヲ得タル譯語ニアラサル可シ何トナレハ紙幣ヲ精査計算シ各種ノ束ト  
爲シテ之ヲ仕拂係ニ送ルコト當係事務ノ重ナルモノニハ相違ナケレトモ未タ之  
ヲ以テ盡セリト云フ可カラス即チ損札引換ノ如キハ實ニ當係所管事務中ノ重要  
ナルモノナレハナリ

コ、ニ損札ト云フハ (Mutilated paper money) ヲ譯シタルモノナルカ當地ノ損札ナル  
モノハ我邦ノ所謂損札ト稍其意味ヲ異ニセル所アリ日本ニテハ紙幣ノ破損シテ  
其全形ヲ備ヘサルモノ換言スレハ通貨トシテ流通ス可カラサルモノ、ミノ謂ナ



ルガ當地ニテハ必スシモ然ラス例之券面手垢ニテ甚タシク汚レタルモノ、太ク手摺レテ皺ヲ顯スモノ、臭氣ヲ放ツモノ等尙モ見苦シキモノハ縱令法律上通貨トシテ流通スルニ何等ノ差間ナキモノニテモ之ヲ他ノ紙幣ヨリ區別シテ損札ト稱シテ國立銀行紙幣ハ華盛頓大藏省ニ送り他ノ紙幣即チ各種政府紙幣ハ紐育市大藏省支局ニ送りテ新紙幣ト交換ヲ爲スナリ蓋シ普通ノ商店其他紙幣ヲ取扱フ所ニテハ自ラ進テ新紙幣ト交換ノ手續ヲ爲サス之ヲ銀行ノ預金ニ振込ミ銀行ハ又之ヲ「パーク」ノ如キ大銀行ニ送り己レノ預金勘定ニ加フルナリ故ニ大銀行ニテ是等ノ手數ヲ爲サ、レハ損札ハ何時モ其跡ヲ絶タサルノミナラス日毎ニ流通ノ額ヲ増加シ行クノ理ノ當然ナルヲ以テ大銀行ハ其職責上力メテ交換ヲ爲シ損札ヲ引擧クルナリ而シテ損札ヲ華盛頓通貨局又ハ紐育大藏省支局ニ送付シテ其換紙幣ヲ受取ルハ數日ノ後ニアルヲ以テ此間交換請求銀行ハ金利ヲ損スルヲ免カレサルナリ「パーク」銀行ノ如キハ大概毎日數萬弗ノ損傷紙幣ヲ送り出シツ、アルカ如シ

### 「シヨウマツト」國立銀行

明治三十六年一月五日「ポストン市」シヨウマツト「國立銀行」ヲ訪ヒ副頭取フエリー氏及監督役マーストン氏ニ面會マーストン氏ノ案内ニテ隈ナク行内ヲ巡視ス同行ハ資本金三百五十萬弗積立金三百萬弗ノ銀行ニシテ管ニ當市ニ於テ最大ナルノミナラス合衆國各國立銀行中紐育ニ於ケル五六ノ銀行及「シカゴ市」ノ第一國立銀行ニ亞クノ大銀行ニシテ預金ノ總額ヲ以テスレハ國中第七八位ヲ占ム昨年末ノ現在ニヨレハ預金總額四千七百六十八萬弗ニ上ル取締役ハ二十四名ニシテ是等ノ人々ハ種々ノ事業ニ關係ヲ有シ器械製造家アリ法律家アリ製靴業者アリ鐵道會社重役アリ他銀行重役ヲ兼スルモノアリ船渠會社重役アリ手形仲買人アリ雜多ノ職業ヲ代表スルモノト云フヘシ

取締役ノ互選ヲ以テ頭取一名副頭取三名ヲ選任シ之ニ支配人一名副支配人三名ヲ加ヘテ業務執行ノ機關ヲ組成スルコト一般銀行ト異ルコトナシ而シテ取締役中常務ニ與ルモノヲ除キ他ハ悉ク無給ニシテ時ニ重大ナル事件ノ生スルアレハ頭取ノ召集ニ應シテ其相談ニ與ルコトアレトモ常務ニ就キテハ一切業務執行者ニ一任シテ關與スル所ナシ而シテ取締役會アル毎ニ各出席者ノ机上ニ金貨十弗



ヲ置キテ其出席ノ勞ニ酬ユルノ慣習ナリ  
 當銀行ハ千九百年ノ創立ニ係リ年所ヲ經ルコト多カラサルニモ拘ラス其能ク今  
 日ノ隆盛ヲ來タセル重ナル理由ハ頭取始メ年少氣銳ノ人物ニシテ社會ノ進運ニ  
 伴フテ百般ノ施設ヲ改善シ致々トシテ倦マサルニ由ルコト勿論ナレトモ又其一  
 因ハ創立當時ノ歴史ニヨルモノト云フヘシ即チ當行ハ「ポストン」市ニ於ケル十數  
 箇ノ銀行ヲ合併シテ起リタル大銀行ニシテ中ニハ「ポストン」第三國立銀行ノ如キ  
 有力ナル銀行ヲモ包含セリ是亦前記ノ如ク取締役中ニ雜多ノ職業ヲ代表セラレ  
 居ル理由ナルヘシ

### 一、建築及各係ノ配置

當銀行ハ「ポストン」郵便局辻ト稱スル商業地ノ中心ニ位シ建築ハ粗造ナル舊式ノ  
 赤煉瓦建ニシテ二層以上ハ他ノ「オフヒス」ニ用キラレ地層及地下層ヲ以テ銀行營  
 業場ニ充ツ外觀ハ頗ル粗末ニシテ云フニ足ラサレトモ内部ハ最近ノ設計ニヨリ  
 各係ノ配置重役室其他ノ間取等廣カラヌ建物内ニ順序ヨク且ツ極メテ便利ニ設  
 ケラレタリ

西面ノ二重戸ヲ排シテ行内ニ入レハ西端ニ至ル迄ヲ一直線ニ客溜リトシ之ニ沿  
 フテ右手ニ頭取室、副頭取及支配人室アリ副頭取三人正副支配人四人机ヲ並ヘテ  
 事務ヲ執ル之ヲ役員室ト云フ役員室ト客溜リトノ間ハ單ニ腰圍アルノミニテ一  
 方ニ出入口ヲ設ケ自由ニ來客ヲシテ出入セシム左レハ銀行役員ニ面會ヲ求メン  
 トスルモノハ行内ニ入りテ直チニ役員ノ机ニ進ミ要談ヲナスヲ得ルノ仕組ニテ  
 日本ノ如ク銀行ノ重役ニ面會ヲ求ムルモノハ先ツ受付ニ名刺ヲ投シ受付カ秘書  
 役ニ之ヲ通シ秘書役カ之ヲ重役ニ上申シテ始メテ會談ノ諾否ヲ慥カメ猶應接室  
 ニ入りテ一時間内外ヲ費シタル上ナラテハ面會スルコトヲ得サルカ如キ間タル  
 キコトハ蓋シ「ヤンキー」ノ忍ヒ能ハサル所ナル可シ  
 役員室ノ隣ハ貸付割引係ニシテ役員室ト同係トノ間ニハ鐵網ヲ通シテ小孔アリ  
 是ニヨリテ貸付係員ハ役員ノ命ヲ受ケ事務ヲ執ルコトヲ得ルナリ米國貸付割引  
 係ノ事務ハ記帳、手形、證書類保管等ノ器械的仕事ノミニテ其係長ト雖モ來客ノ請  
 求ニ對シ諾否ノ答ヲ爲スコト能ハサルハ勿論日本ニ於ケル或場合ノ如ク其間ニ  
 多少ノ手心ヲ用ユル機會ヲ有スルコトナク一切萬事役員ノ命令ヲ承ケ之ヲ執行



スルニ止マルヲ以テ其位置ハ役員室ニ隣リスルコト便利ニシテ且ツ必要ナリ紐育「パーク」銀行ノ割引係カ役員室ヲ距ルコト遠キヲ以テ老體ナル支配人ヒコツク氏カ時々歩ヲ運ヒテ此室ニ來リ又ハ頭取以下カ電鈴ヲ鳴シテ係長ヲ呼フコト頻繁ナルヲ以テ事務ノ進行ヲ害スルコト尠カラサルニ比スレハ當行ノ配置ハ頗ル便利ナリト云フヘシ

貸付割引係ニ隣リシテ受取係アリ次ヲ仕拂係トス此兩係ハ各係長外二人ノ助手ヲ有シ各員一人ツ、自己受持ノ鐵網ノ中ニ入り内ヨリ錠ヲ下シテ執務スルナリ而シテ客溜ニ面シテハ各一箇ツ、ノ小窓ヲ有シ取引先元帳口座ノ順ニヨリ受持ノ窓ヲ區別ス例之ハ第一ノ窓ハAヨリI迄第二ノ窓ハMヨリS迄第三ノ窓ハTヨリZ迄ト云フカ如シ仕拂係ノ次ニ小切手係アリ手形係、通帳記入係利札係取立係等順次客溜ニ面シテ小窓ヲ有シ之ヲ以テ取引臺トス

先キニ「シカゴ」市ノ「イリノイ、トラスト、エンド、セーヴヒングス、バンク」役員配置ニ關スル報告中ニモ一言セルカ如ク近來當國ノ銀行ニテハ現金及之ニ代ハルヘキ手形類ヲ取扱フ係員ハ各別箇ノ鐵網ノ中ニ入り内部ヨリ錠ヲ下シテ執務シ決シテ

他人ヲシテ内部ニ立入ラシメサルノ仕組ヲ採用スルモノ、如シ「パーク」銀行ニテハ受取係仕拂係手形係等各大ナル一室ヲ占メ其内ニテ數人ノ係員共ニ執務スルノ仕組ナレトモ是等ハ稍舊式ニ屬スルモノニテ最近ノ設計ニナリタル銀行ニテハ多ク前記「イリノイ、トラスト」又ハ「シヨウマツト」銀行ノ體ニ倣ヒタル者ノ如シ按スルニ前回報告中ニモ云ヘルカ如ク行内各係員別々ノ責任ヲ明カニスルノ主義ニ出テタル者ナル可シ各現金取扱人ヲシテ別箇ノ網内ニ於テ執務セシムルノ結果ハ勢ヒ日本ノ如ク人ヲ代ヘテ仕拂受取ノ現金ヲ再看三看スルコト能ハサルニ至ル其得失果シテ如何アルヘキ歟惟フニ現今ノ日本ニ於ケルカ如ク總取扱高ニ對シ比較的多額ノ現金ヲ取扱フ所ニテハ此米國風ハ移シテ利益ヲ見ル能ハサルヤモ知ル可カラス

受取係ノ後ニハ同係ニ於テ入金シテ受入タル現金手形(即チ受取リタル日ヨリ預金トスルモノ)ニテ現金ト取扱フ同フスル手形、小切手類ヲ仕譯ケ當行宛小切手、交換所持出手形及地方手形ニ類別スル係アリ

仕拂係ノ後ニモ同係ニテ現金引換ニ受取リタル小切手類ヲ夫々處理スル係アリ



以上二係ハ仕拂受取兩係ノ後ニアリテ客溜ニ面スルコトナシ其事務ノ性質之ヲ要セサレハナリ

元帳係書信係紙幣係信用取調係書類整理係仕拂濟小切手整理係等ハ地下層二層ニ配置セラレタリ

## 二、帳簿組織ノ概要

米國ニ於ケル取引先元帳移記ノ方法ヲ區別シテ二ト爲ス傳票記入法及補助簿記入法是ナリ前回派遣員報告中ニ云ヘル紐育「パーク」銀行及「マーカンタイル」銀行共ニ後者ニ屬スルモノニテ蓋シ紐育ニ於ケル銀行ノ大部分ハ此部類ニ屬スルモノナル可シ其方法ハ前回派遣員ノ報告ニ審ナルヲ以テ茲ニ之ヲ贅言セサレトモ其大要ハ各係ニ於テ收納シ又ハ仕拂ヒタル當日ノ勘定ヲ口々ニ補助簿ニ記シ之ヲ貸方記入帳借方記入帳ト稱シ元帳方ハ之ニ由リテ取引先元帳ニ記入スル方法ナリ傳票記入法ハ日本ニ於ケル現行ノ方法ニシテ當日仕拂小切手手形入金傳票等ニヨリ直チニ取引先元帳ニ記入スルナリ「シヨウマツト」銀行ハ即チ此方法ヲ採用スルモノニシテ監督役「マーストン」氏ノ説ク所ニヨレハ此方法ハ補助簿記入帳ニ

比シテ幾多ノ便利アリ一旦補助簿ニ記入シ更ニ之ニヨリテ元帳ニ記入スルトキハ前者ノ誤謬ヲ後者ガ其儘移記スルノ虞アリ而シテ其誤謬ハ得意先ヨリノ詰問注意ヲ受クルニアラサレハ銀行内ノミニテハ容易ニ發見シ難キモノナキニアラス然レトモ直接ニ小切手又ハ入金票等ヨリ記帳スル時ハ同一ノ誤謬ヲ重スルコトナシ而シテ元帳ノ總殘高及一日ノ收納及仕拂勘定ノ總額ハ元帳ニヨリテ知ルコトヲ得ルガ故ニ小切手係及受取手形整理係ニ於テ口々ノ金高ヲ記入スル補助簿ノ合計額ト對比シ其總額ヲ突キ合スコトヲ得ルナリ補助簿記入法ノ利益ヲ説クモノハ曰ク小切手傳票入金票ノ類ヲ一係ヨリ他係ヘ轉々受授スルトキハ其間散逸若シクハ紛失ノ虞ナキニアラス然レトモ帳簿ニヨリテ記入スレハ更ニ此憂ナシト然レトモ若シ小切手傳票ノ類ヲ運フニ紛失又ハ散逸ノ虞アリト云ハ、行内ニ於テハ一切是等ノ持運ヲ廢セサル可カラス斯クノ如キハ云フ可クシテ行ハレサル愚論ニシテ我「シヨウマツト」銀行ノ如キ多年此方法ニヨリ事務ヲ執リ來レルガ未タ一回モ小切手等紛失ノ爲メニ勘定ノ合ハサリシ事ナシ紐育銀行者多年補助簿記入法ニ慣レタルヲ以テ強テ我田引水ノ説ヲ主張シ以テ改善ノ實ヲ擧ケ



第一編 米國之部

CASH SETTLEMENT. TELLER		CASH. ON HAND. JAN. 5-1903	
Debit.	Credit		
Balance		Gold	
Time Loan			
Dem. "		G. Ctfs.	
Tr. U.S. Slav		C.H. "	
do Nat'l		Silver,	
Div. No.		etc.	
Expense			
" No.2			
Rent Account			
Discount			
Interest		Legals	
" D.L.			
Exchange		Nat. Bills	
" N.Y.			
Commission			
Cr's [Bk.] Cks.		Mxd. Bills	
Error			
After Hours			
P.T., No. 1			
" " 2			
" " 3			
" " 4			
R.T. " 1		Cks., etc.	
" " 2			
" " 3			
C. C.			
N. T.		C. H.	
C. T.			
Balance			
Total		Total	
		Aft. Hrs.	

六一

サルノミ云々  
「シヨウマツト」銀行ハ所謂日記帳ヲ有セサルコト「パーク」及「マーカントイル」銀行ニ  
齊シ而シテ總勘定元帳ハ何ニヨリテ記帳スルヤト云フニ各係ニ於テ終業後本報  
告ニ添付セル書式ニヨリ一日間ニ取扱ヒタル受持事務ノ貸方借方勘定並ニ持越  
現金種類分ヲ記載シ之ニ係長ノ署名ヲ記シテ之ヲ總勘定元帳方ニ送付シ元帳方  
ハ之ニヨリテ夫々元帳ニ移記スルナリ別紙各係勘定表ハ毎日順ヲ追フテ保存シ  
以テ他日ノ參考ニ供スト云フ  
當行ニ於テ使用スル取引先元帳ハ所謂「ポスト」式ニシテ前回派遣員報告ニ詳述  
セルヲ以テ之ヲ略ス

六〇



## 三、使用人ニ關スルコト

當行使用人ノ總數ハ百二十餘名ニシテ其内二十人ハ婦人ナリ婦人ノ仕事ハ左ノ如シ

- (一) 仕拂濟小切手整理事務
  - (二) 紙幣計算整理事務
  - (三) 書類整理事務
  - (四) 行内電話取次事務
  - (五) 信用取調係附屬書類整理事務
  - (六) 「タイプライター」係
- 「パーク」銀行ニテハ「タイプライター」係トシテ妙齡ノ婦人十人内外ヲ使用セリ然レトモ所謂店務ニハ一切關與セシメス當行ニテハ紙幣計算整理、仕拂濟小切手整理ノ如キハ殆ント各一係ヲ組成スル程ニテ係内年長ニシテ行務ニ熟練セルモノ係長トシテ係員ヲ統轄スルコト他係ニ異ラス殊ニ紙幣係ハ樓上ノ一寓ヲ占メ鐵網内ニテ四五人ノ婦女枚々トシテ紙幣ノ計算ニ從事シ居ルヲ見タリ監督役「マース

トン氏ニ對シ婦女雇人ノ利害ヲ尋子シニ氏ハ微聲ニテ語リテ曰ク實ハ當行創立ノ當初合併銀行中彼處ニモ三人此處ニモ四人ト婦女使用人ヲ有シ居リシ爲メ餘儀ナク引受ケタルモノニテ其利益ヲ云ヘハ男子ニ比シ薄給ニテ雇ヒ得ルニアレトモ其執務ノ結果ヨリ論スレハ男子ニ劣ルコト數等ナリ故ニ差引キ失フ所ハ得ル所ヨリモ多カル可シ而シテ今日迄之ト云フ可キ間違モアラサレトモ兎角男子ノ使用人カ婦女子ニ對シテハ和サシキ態度ヲ取り云フ可キ小言モ云ハスシテ其機嫌ヲ取ルノ傾アルヲ免カレス其結果ハ事務ノ進歩ヲ妨クルコト鮮少ナラス當行ニテハ此上増加セサルハ勿論追々減少シテ男子ニ代ユヘキ方針ナリ云々

「ボストン」市ハ「チアールズ」河ヲ隔テ、米國第一ノ大學「ハーヴァード」ト相對シ且ツ由來文化ノ淵藪ナルヲ以テ實業界ニ大學卒業生ヲ有スルコト紐育ノ比ニアラス現ニ當行頭取スターンズ氏副頭取フエリー氏ハ共ニ「ハーヴァード」大學卒業生ナリ其他行員中ニモ四五人ノ同大學々位ヲ有スルモノアリト云ヘリ

## 四、使用人身元保證ノ事

當國ニハ銀行會社等使用人身元保證會社アリ以テ雇人ト被雇人ノ中間ニ立チ故



意若シクハ重大ナル過失ニ起因セル損失ヲ保證スル機關備ハレル由ハ豫テ聞ク  
 所ナリシカ今日迄其實際ノ有様ヲ取調フルノ途ナカリシカ序ヲ以テ當行使用人  
 身元保證ノコトヲ尋子シニ副支配人ドレーバー氏懇切ニ説明ヲ與ヘラレタリ  
 當行ニテハ左記五會社ト契約シ支配人以下各使用人ノ身元ヲ保證セシメ居レリ

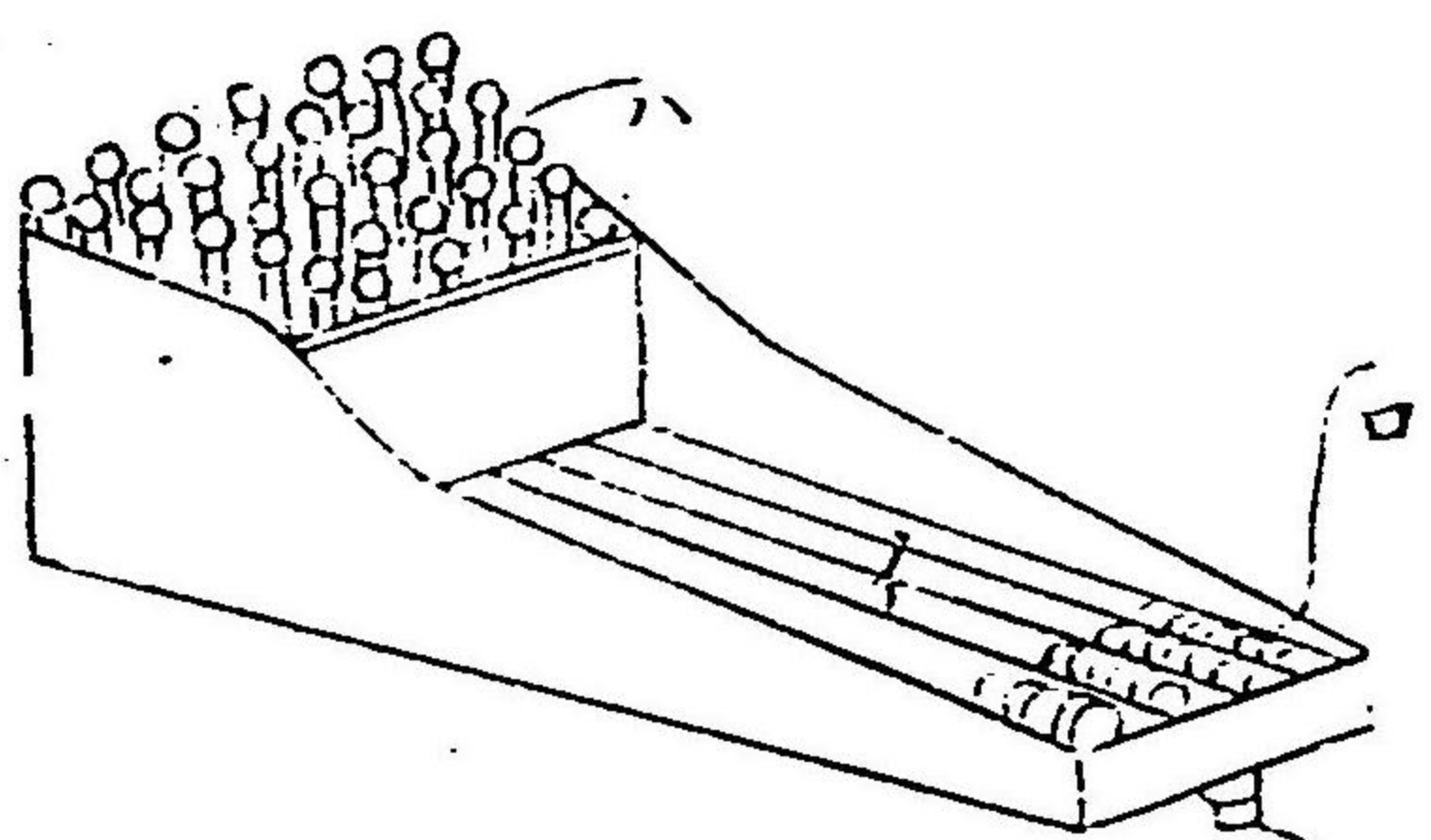
會社名	保險金額	保險料割合	保險掛金
アリメカン身元保證會社	三六〇、〇〇〇	千分ノ二十二	八、〇〇〇
北アメリカ同	一〇五、〇〇〇	千分ノ三十三	三、五〇〇
シテ ー同	二五、〇〇〇	千分ノ三十	七五〇
アル ト同	四〇、〇〇〇	千分ノ二十五	一、〇〇〇
ファイナル 信 用同	三〇、〇〇〇	千分ノ二十五	七五〇
合 計	五六〇、〇〇〇		一四、〇〇〇

而シテ身元保證掛金ハ一切銀行ノ負擔ニシテ使用人ニ仕拂ハシムルコトナシ支  
 配人副支配人ハ四五萬弗仕拂係長二萬五千弗受取係長二萬弗以下身分ニ應シテ  
 保險金額ヲ異ニスト云フ而シテ假リニ行員ノ總數ヲ百二十人トスレハ平均一人

ニ付四千六百六十六弗餘ニ當ル而シテ一箇年ノ掛金一萬四千弗ヲ平均スレハ一  
 人前百十六弗餘トナル此額ハ銀行カ行員ノ爲メニ仕拂ヒツ、アルナリ

### 五、器械並ニ裝置

當銀行ニテハ小役カ紐育ニテ見サリシ種々便利ナル機械ヲ使用シ居レリ是等機  
 械ノ使用法ヲ詳シク説明センコト到底爲シ能ハサル所ナレトモ試ミニ之ヲ列記  
 シ其概略ヲ説カン



釣錢計算器(Automatic Cashier)ハ長サ一尺五寸幅七八寸厚サ五六寸  
 ノ鐵製機械ニテ其形上圖ノ如シ中央ノ凹ミナル所「イ」ニハ八箇ノ  
 小溝アリ各溝中ニ五十仙、二十五仙、十仙銀貨、白銅貨及銅貨ヲ貯ヘ  
 タリ圖中「ロ」ノ如シ「ハ」ハ一ヨリ九十九ニ至ル數字ヲ顯ハシタル鈕  
 ニテ其狀「タイブライター」ノ如シ而シテ今釣錢ヲ得ント欲スレハ  
 「ハ」ノ鈕ヲ押スナリ然ルトキ「ニ」ノ小孔ヨリ銀貨、白銅貨、銅貨適宜  
 ニ相交リテ下ニ落ツル仕掛ナリ單純ナル仕掛ナレトモ來客雜沓  
 セルトキ一々補助貨ヲ勘定スルコトナク即時ニ望ミノ儘ナル金



額ヲ得ラル、コト極メテ便利ナリト云フヘシ

補助貨計算器 (Automatic Coin Counter) ハ各種補助貨ヲ勘定スル機械ニシテ銀貨、白銅等各種ノ補助貨ヲ別々ニ分チ之ヲ機械ノ中ニ投シナカラ一方ノ取柄ヲ廻轉スルトキハ機械ノ作用ニヨリカチカチト音シテ下部ノ小孔ヨリ下ニ落ツルト同時ニ其上部ニ装置シアル計數器ニ數字ヲ示スナリ而シテ小孔ニ紙袋ヲアテカヒ置クトキハ貨幣ハ自ラ此袋中ニ落ツルヲ以テ直チニ之ヲ封スルコトヲ得ルナリ

封筒上書機械 (Addressograph) ハ常ニ取引アリテ書狀ノ發送頻繁ナル取引先ノ姓名住所ヲカ子テ鑄鐵製ノ印判ニ造リ置キ之ヲ幾箇モ繋キ合セテ輪トナシ之ヲ機械ニハメ込ミ封筒ヲ其間ニ插ミテ取柄ヲ廻轉スレハ即時ニ宛先ヲ印刷スルコトヲ得ルナリ而シテ順次印刷シ了リタル封筒ヲ重子置キ又一方ニ發送スヘキ書狀其他ヲ順ニ積ミ重子手早ク之ヲ封筒ニ入レテ發送ノ手順ヲ爲ス極メテ迅速ナリト云フ可シ

封緘機械 (Automatic Sealer) ハ最モ簡單ナル機械ニテ其一端ヨリ未封ノ封筒ヲ差入ル、トキハ機械ノ内部ニテ封紙ノ糊ニ適宜ノ濕氣ヲ與ヘ護謄製「ローラー」ニテ

堅ク封緘ヲ爲シ他ノ端ヨリ投ケ出スナリ此機械ハ電氣ノ動力ニヨルモノニテ電燈線ニ取付クルノ裝置ヲ施セリ

回轉謄寫機械 (Roller Copier) トハ書類ノ謄寫ニ用ユルモノニシテ其仕掛日本ニテ現今用キ居ルモノト同様ナレトモ其改良セラレタル點ハ謄寫ス可キ薄紙ハ機械ノ内ニ收メラレ取柄ヲ廻轉スルニ從ヒ水中ニ浸サレ而シテ護謄製「ローラー」ニヨリ適當ノ度合ニシボラレ既ニ謄寫シタル部分ハ機械ノ下ナル臺中ノ紙卷器ニ卷カル、ナリ而シテ用キ了リタルトキ紙卷器ニ卷カレタル紙ヲ切ルニハ別ニ裝置アリ其狀恰モ糸ヲ切ルカ如ク機械ニ取付ケラレタル刃物ニテ適宜ニ切り取ルコトヲ得ルナリ

此機械ニテハ帳簿ニ寫シ取ルコト能ハサルノ不便アレトモ其迅速ナルコト舊式ノ謄寫器ニ勝ルコト數等ニシテ且ツ紙上濕氣ノ具合適當ナルヲ以テ極メテ鮮明ニ寫スコトヲ得ルナリ

前回ノ報告ニモ云ヘルカ如ク米國人カ時間勞力省略ノ爲メ大小種々雜多ノ機械ヲ發明スルコト實ニ驚クヘキ有様ニシテ中ニハ最初實用ニ適セサルモノ夥多ア



レトモ工風ニ工風ヲコラシ終ニ之ヲ利用シ得ヘキニ至ラサレハ已マス其工風力ニ至ツテハ果シテ那邊ニ至リテ止マル可キヤヲ知ラス驚クヘキノ人民ト云フ可シ

### 六、書類整理ノ方法

一日數千ノ書狀ヲ受取り又數千ノ書狀ヲ發送スル當國銀行ニアリテハ其書類ノ整理ハ別ニ一分課ヲ要スルノ程度ニ達セリト云フ可シ而シテ如何ニシテ書類ヲ整理シ置キ以テ他日必要ニ應シテ直ニ之ヲ發見スルコトヲ得ヘキカハ大機關ヲ備ヘタル米國今日ノ銀行會社等カ過去ニ於テ屢々工風ヲ盡シタル實際ノ問題タルナリ而シテ「シヨウマツト」銀行ニテ現ニ行ヒツ、アル整理方ハ最モ完全ニ近キモノニテ聞ク所ニヨレハ紐育「ワナメーカ」メシ「等有名ナル大商店 (Department Store) ト稱シ日常必要ノ品物大小備ハラサルハナキ大仕掛ノ商店ニシテ日本ノ勸工場ノ如ク而カモ資本主ハ一己人又ハ一法人ナルモノ」ニテモ其方法ヲ用キ居ルト云フ

長サ三寸幅二寸位ノ厚紙製ノ札<sup>カキ</sup>ニ取引先ノ姓名銀行ノ場合ニハ所在地名ヲモ

記シ之ニ番號ヲ記シ姓名若シクハ地名ヲABC順ニナラヘテ小引出ノ内ニ收メ其引出ニハ夫々ABCノ見出ヲ付シ置クナリ此小引出ヲ有スル戸棚ヲ「ライブラリー」ビュロー「ト稱シ始メ「ハーヴアード」大學書籍館ニテ發明セラレタルナリト云フ小引出ノ内ニハ二條ノ針金アリテ紙札ヲ通スカ故ニ上部ヨリ之ヲ引抜クコト能ハサルナリ而シテ若シ必要アリテ引抜カントスルトキハ二條ノ針金ヲ引抜キ然ル後取去ルコトヲ得ルナリ

來狀アレハ順ヲ追フテ之ニ番號ヲ付シ又札ニモ同一ノ番號ヲ記シ置クナリ來狀ハ厚紙ヲ二ツニ折リ其上部右方ノ一端ニ番號ヲ記セルモノニ挾ミ別ニ一ヨリ十九迄百ヨリ百九十九迄ト云フカ如キ見出ヲ付シタル大形ノ引出數十箇ヲ設ケ此内ニ仕舞ヒ置クナリ而シテ來狀ニ對シ發送セシ返書ノ際寫ハ前記ノ廻轉際寫器ヨリ切取り之ヲ來狀ト共ニ厚紙ニ挾ミ置クナリ後日書類ヲ見ント欲スルトキハ先ツ關係人ノ姓名ニヨリテ紙札ヲ見其番號ニヨリテ書類戸棚ノ引出ヲ見レハ囊中ノモノヲ探ルカ如ク直チニ見出スコトヲ得ルナリ



## 「ポストン」手形交換所

七〇

「ポストン」手形交換所ノ組織並ニ其特色等ニ關シテハ前回派遣員ノ報告ニ詳述セルヲ以テ更ニ贅言ヲ重ヌルノ要ナシ獨リ市外手形交換ノ事務ニ至ツテハ千八百九十九年ノ創始ニ係リ前回派遣員取調以後ニ起リタル事柄ナルヲ以テ其組織交換ノ方法其他ニツキ左ニ取調ノ概要ヲ記述スヘシ

新約克市カ米國金融ノ中樞トシテ常ニ巨額ノ市外手形ヲ集散吞吐スルニモ拘ラス今日ニ至ル迄是カ交換ヲ行ヒ又ハ共同ノ機關ヲ備ヘテ其取立ヲ計リタルコトナシ然ルニ「ポストン」手形交換所ハ夙ニ此問題ニ注意シ遂ニ千八百九十九年六月ヲ以テ市外手形交換部ヲ設立シタリ爾來各地同業者ノ冷嘲、地方銀行ノ反對等種種ノ困難ニ遭遇シタレトモ能ク當初ノ目的ヲ遂行シ以テ今日ノ成功ヲ見ルニ至リタリ想フニ這般ノ問題ハ今後益々世人ノ注意ヲ惹キ新約克、費府、シカゴ等大都市ニ於テモ「ポストン」ノ轍ヲ蹈ムテ市外手形交換ノ事務ヲ開始スルニ至ルヘキハ明白ナリ而シテ今日迄「ポストン」以外ノ交換所カ此事ヲ開始セサルハ寧ロ不思議

ノ現象ニシテ蓋シ「ポストン」ニ魁セラレタルカ故ニ今更之ニ做フコトヲ快トセサルニアラサルカ

### 一、地方手形交換部組織

「ポストン」手形交換所内ニ市外部(Foreign or Out of town Department)ヲ設ケ市外手形ノ交換ニ屬スル一切ノ事務ヲ取扱フ市外部ハ全ク市内部ト經濟ヲ異ニシ事務室賃貸料、支配人以下給料、印刷費、郵税、點燈費等ニ至ル迄總テ獨立ノ計算ヲ用ユ

交換所規約第二條末項ニ曰ク市外手形取立ニ加入スル組合銀行ハ取立費用トシテ一箇年金百弗ヲ交換所ニ前納スルモノトス而シテ決算ニ及ヒ實際ノ費額收入金ニ超過スルトキハ其超過額ハ前年度ニ於テ當交換所ノ取立ニ付シタル各行持出市外手形ノ總額ニヨリ按分比例ヲ以テ各組合銀行ヨリ徴收スルモノトス

印刷費ハ各組合銀行平等ノ割合ヲ以テ負擔スルモノトス

取立手形ノ送付ヲ受ケタル市外銀行カ仕拂ヲ爲スニ當リ爲替打歩ヲ課スルコトアル場合ニハ其手形ヲ持出シタル組合銀行ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

### 二、市外小切手交換ノ範圍



當交換所カ取立ヲ爲スヘキ市外手形ハ左記新英蘭土六州内ニ存在スル銀行及ヒ「トラスト、コムパニー」ニ限ル其數目下六百二十三行ニシテ地域ノ面積六萬二千五百方哩ナリ

メイン	マサチューセッツ	ロードアイランド
ヴァモント	コンチクチカット	ニューハンプシャー

而シテ市外手形ヲ持出スヘキ「ポストン」銀行ハ當交換所組合銀行タル三十二箇ノ國立銀行及ヒ是等ノ組合銀行ヲ通シテ手形交換ヲ爲ス市内ノ州立銀行及「トラスト、コムパニー」ナリ  
交換ノ區域ヲ前記ノ如ク定メタルハ交換所ヨリ今日午後五時手形ヲ廻付シ翌々朝午前十時迄ニ代リ金又ハ返却手形ヲ交換所ニ受取り得ヘキ距離ニアル各銀行ヲ包含シタルニ由ル

### 三、市外小切手交換ノ方法

「ポストン」市各銀行カ其得意先ヨリ前記ノ區域内ニ散在スル銀行渡ノ小切手ヲ預金トシテ又ハ取立ノ爲メ收納スルトキハ平日ハ午後三時迄土曜日ハ午後一時迄

ニ夫々仕譯ヲ爲シ之ヲ交換所ニ持參スルコト尙午前ニ於ケル市内手形ノ交換ニ於ケルカ如シ各銀行ニ於ケル市外手形ノ仕譯ニ關スル手續ハ左ノ如シ

- 一、先ツ州名ニヨリ地方小切手ヲ六部ニ分チ
- 二、各州ニツキテ之ヲ宛先銀行ノ所在地名ニヨリテ區別ス
- 三、若シ一地方ニ二箇以上ノ銀行アルトキハ宛先銀行名ニヨリテ區別ス
- 四、各區別シタル小切手ニハ一々明細表ヲ添付ス明細表ハ州名ニヨリテ各色ヲ異ニス(雛形I)
- 五、最後ニ總高添表(雛形A)ヲ造リ之ニ持出銀行名、小切手總額、日付、各州別金額及ヒ持出銀行交換方ノ署名ヲ夫々記入シ之ヲ小切手ニ添エテ交換所ニ持參スルナリ

各行ノ交換方ハ先ツ總高添表ヲ交換所支配人ノ机上ニ殘シ置キノレヨリ小切手ノ配付ニ取カ、ルナリ

交換所ニテハ午前市内手形交換ニ用ユル左右二行ノ交換臺ノ内右側ヲ「メイン、マサチューセッツ」二州左側ヲ他ノ四州ニ充テ尙宛名銀行所在地名ニヨリA、B、C、D



Form A.

Boston Clearing House.  
FOREIGN DEPARTMENT.

Maine..... From Third National Bank, No. 44,  
N.H.....  
Vt..... New England Checks left for collection on  
Mass..... Amount, \$  
R.I.....  
Conn.....

Form B.

Boston Clearing House.  
FOREIGN DEPARTMENT.

Received from Eliot National Bank, No. 26,  
New England Checks said to amount to . . . . \$  
Payable if good on . . . . .  
or when a remittance shall have been received.

Manager.

平日午後三時ニ事務ヲ開始シ同五時ニハ一切ヲ了シ支配人始メ使用人ハ退店ス  
ルコトヲ得ルナリ

- QR—Zト云フカ如クニ仕切り交換所使用人二十名各手分シテ交換臺ノ前ニ立  
チ小切手ヲ各行ノ交換方ヨリ受取ルコト猶市内交換ニ於ケル各行ノ交換方ノ如  
シ而シテ各持出銀行ノ使用人ハ順次市外小切手ヲ適當ノ場所ニ殘シナカラ交換  
臺ヲ一週シテ支配人席ニ返リ來ル此間ニ支配人ハ書記ヲシテ(雛形B)受取書ヲ認  
メシメ之ニ自署シテ机上ニナラヘ置クカ故ニ銀行交換方ハ自行宛ノモノヲ選ミ  
取リテ立去ルナリ
- 交換所使用人ハ受取リタル市外小切手ヲ取集メ
- 一、明細表ト小切手トヲ一々突合セ
  - 二、明細表下部(雛形D)ヲ切取り之ヲ宛先銀行名ABC順ニ箱中ニ整理シ他日  
間違ノ生シタルトキ引照ノ用ニ供ス
  - 三、持出シ小切手ヲ一所ニ集メ宛先銀行名ニ區別シ加算器ニヨリテ一行毎ニ  
之カ明細表ヲ作り
  - 四、小切手並ニ明細表及ヒ送付狀(雛形E)ヲ封筒ニ入レ之ヲ並郵便ニテ宛先銀  
行ニ送ルナリ



Form D.

FOREIGN SLIP.

National Exchange Bank,  
Providence, R.I.

FROM

DATE

FOREIGN CHECK TICKET.

National Exchange Bank,  
Providence, R.I.

FROM

DATE

DO NOT DETACH.

Form C.

Boston Clearing House Proof,

No.	BANKS.	BALANCES.		EXCHANGES.	BALANCES.		No.
		Due to Clearing House.	Dr. Banks, Cr.		Due to the Banks.	Cr.	
1	Massachusetts National.						1
2	National Union.						2
3	Old Boston National.						3
4	State National.						4
5	New England National.						5
12	Atlantic National.						12
13	Merchants National.						13
15	National Hamilton.						15
17	Second National.						17
18	Atlas National.						18
20	National Shawmut.						20
21	National Exchange.						21
22	Nat'l B'k of Commerce.						22
24	Faneuil Hall National.						24
25	National Webster.						25
26	Eliot National.						26
28	National Suffolk.						28
31	Freemans National.						31
32	Boylston National.						32
37	Nat'l B'k of Redemption.						37
39	First National.						39
41	Nat'l Bank of Republic.						41
43	Mt. Vernon National.						43
46	National Security.						46
49	Central National.						49
50	Colonial National.						50
51	Fourth National.						51
52	Metropolitan National.						52
53	Winthrop National.						53
55	Mechanics National.						55
56	Commercial National.						56
100	Boston Clearing House.						100
AGGREGATES							



Form E.

C. A. RUGGLES, Manager.

BOSTON CLEARING HOUSE.

Boston, .....

To the Cashier of the

..... National Bank of .....

Dear Sir :

Enclosed I beg to hand you checks on your Bank as listed below, for the amount of which please remit me by return mail a draft on your Boston correspondent, payable to the order of the Manager of the Boston Clearing House.

At the same time, if for any reason a check remains unpaid, please advise me of the amount of such check and the name of the Boston Bank whose endorsement appears thereon.

Yours truly, C. A. RUGGLES, Manager.

National Bank

Date, Amount, \$

四、市外小切手ニ對スル入金並ニ其分配ノ方法

本日午後五時ニ郵送シタル市外小切手カ宛先ノ地方銀行ニ到達スルハ當夜若シクハ翌日銀行營業時間中ニアルヲ以テ是等ノ銀行ハ豫メノ約束ニ從ヒ直チニ「ボストン」ニ於ケル取引銀行若シクハ新約克交換所組合銀行ニ宛タル小切手ヲ以テ「ボストン」交換所へ送金シ來ルナリ資金不足、小切手形式ノ不備、署名裏書ノ欠缺若シクハ不正當ノ原因ニヨリ不渡ノ小切手ハ送金ト共ニ郵送シ來ルコト勿論ナリ先是「ボストン」組合銀行ハ自行持出市外小切手ニ對シ交換所ヨリ受取リタル受取書ヲ以テ現金ト見做シ保管シ置キ其第三日目ノ朝此受取書ヲ市内小切手ノ内ニ纏メテ交換所ニ提出スルナリ且ツ交換表ニハ「ボストン」手形交換所ノ借方ニ其金額ヲ記入スルコト猶他ノ市内銀行ノ借方ニ其行宛手形ノ金額ヲ記入スルカ如シ交換所ハ市外銀行ヨリ送付シ來レル「ボストン」組合銀行又ハ紐育組合銀行宛ノ小切手ヲ以テ持出手形トシ交換表各行借方欄ニ記入シ交換ニ付スルナリ要スルニ「ボストン」手形交換所市外部ハ第三日目ノ市内手形交換ノ際他ノ組合銀行ト等シク一ノ交換者トシテ交換ニ加リ市外銀行ヨリ送付セル小切手ヲ持出シ又組合銀



行ハ交換所ノ發行セル受取書ヲ持出スナリ故ニ市内交換表ニハ(雛形)交換所ヲモ他ノ組合銀行ト等シク列記セリ

市外銀行カ交換所ヘ對シ送金スル場合ニ「ポスト」組合銀行宛ノ小切手ヲ以テスルモ或ハ紐育組合銀行渡ノ小切手ヲ以テスルモ全ク自由ナル事ハ前ニ述タルカ如シ而シテ交換所カ「ポスト」組合銀行宛ノ小切手ヲ受取タルトキハ市内手形交換ノ場合ニ夫々宛名銀行ノ借方ニ立テ豫テ交付セル受取書ト交換ヲ了スルコトヲ得レトモ紐育渡小切手ニテ送金ヲ受ケタル場合ニハ其宛先ハ組合銀行以外ナルヲ以テ「ポスト」渡小切手ト同様ニ取扱フコト能ハス然ラハ如何ニシテ之ヲ處理スルカト云フニ交換所ニテハ支配人ノ手許ニ於テ毎日組合銀行カ持出ス市外小切手ノ金高ヲ控エ置キ之ヲ標準トシテ紐育渡小切手ヲ各行ニ振當ツルナリ其振當ノ方法ハ重ニ支配人ノ見込ニヨルモノニシテ精確ナル數字ニ基クモノニアラス而シテ平常ノ場合ニハ「ポスト」紐育ノ間ニハ爲替打歩ナク若シ之アリトスレハ紐育渡小切手ノ方幾分ノ増歩ヲ生スルコト多キヲ以テ紐育渡小切手ヲ振當テラル、ハ「ポスト」組合銀行ノ欣フ所ナリ

郵便ノ延着其他ノ理由ニヨリ市外銀行ヨリノ送金三日目ノ朝迄ニ交換所ニ到達セサルトキハ交換所ハ其未到達ノ金額丈交換表ノ面ニ於テ借方トナリ勘定符合セサルノ結果ヲ生ス故ニ交換所ハ平素「シヨウマツト」銀行ト特約ヲ締結シ市外小切手交換ノ爲メニ不足ヲ生スル場合ニハ年利五歩ノ割合ヲ以テ「シヨウマツト」銀行ヨリ借入ル、コトヲ得ルナリ而シテ送金不足額ハ之ヲ「シヨウマツト」銀行ノ借方ニ振替エテ一時夫々交換ヲ整理スルナリ昨千九百二年中ニ交換所ガ「シヨウマツト」銀行ニ仕拂ヒタル利息ノ金高ハ三千弗餘ナルヲ以テ一箇年間平均一日ノ借入高ハ六萬弗ナリ而シテ平均一日ノ交換高二百萬弗内外ニ對シ送金不足ヲ生セシハ僅カニ三步ニ過キサルナリ

五、交換手續ニ關スル罰則

- 一 規定時間迄(平日ハ午後三時、土曜日ハ午後一時)ニ交換所ニ出席セサルモノ 二弗罰金
- 一 規定時間迄(平日ハ午後三時半、土曜日ハ午後一時半)ニ持出小切手添表ヲ交換所支配人ニ呈示セサルモノ 四弗罰金
- 一 持出小切手添表ノ金額ニ誤謬アルモノ 四弗罰金



一弗罰金

一、小切手明細表ニ誤謬アルモノ  
規定時間ヲ超ユルコト十分ニ及フトキハ交換所支配人ハ小切手ノ受付ヲ拒ム  
コトヲ得

### 六、交換所責任ノ限度

「ポスト」手形交換所ハ千九百一一年一月十日ノ決議ニ基キ其規約第二條ヲ修正シ  
市外小切手ニ關スル交換所責任ノ限度ヲ規定セリ交換所カ取立ノ爲メ組合銀行  
ヨリ預リタル市外小切手ニ關シ持出シ銀行ニ對スル責任ハ單ニ宛先ナル市外銀  
行ヨリ其仕拂ノ爲メ送付シ來レル小切手又ハ現金ヲ過意ナク忠實ニ組合銀行ニ  
分配スルニ止マルモノトス故ニ交換所支配人其他使用人ノ故意又ハ重大ナル過  
失ニヨルニアラスシテ小切手ノ取立ニ關シ何等ノ故障ヲ生シタル場合例之ハ郵  
送ノ途中ニテ紛失シ若シクハ宛先銀行カ代リ金送付前ニ破産シテ仕拂ヒ得サル  
トキ又ハ振出人ノ預金不足其他ノ理由ニテ返却セラレタルトキノ如キ場合ニ於  
ケル損失ハ總テ持出シ銀行ノ負擔ニシテ交換所ハ之カ賠償ノ責ヲ負ハサルモノ  
トス

### 七、此交換方法ノ利益

従前ノ如ク「ポスト」市三十二行ノ組合銀行カ各自市外小切手ヲ取立ツルニ比シ  
此方法ノ利益トスルハ重ニ左ノ二點ニアリ

一、取立費用ヲ節減シ得ルコト

二、直接ニ宛先銀行ニ送付スルカ故ニ時間ヲ省クコト

一、千八百九十九年紐育手形交換所ノ計算ニヨレハ「ニュージェルシー」州（紐育州  
ニ隣ス）渡リノ手形小切手類ヲ取立ツルニハ發送ノ當日ヨリ計算シテ六日ヲ要ス  
年四歩ノ利ト見積リ千弗ニ對シ六十六仙ノ日歩ヲ費サ、ル可カラス而シテ此以  
外ニ實際取立ノ費用一弗ヲ要スルカ故ニ合計一弗六十六仙トナル現ニ紐育銀行  
ニテハ「フレデルフヒア」アルバニー、ポストン其他東部ノ大都市渡ノ小切手ハ無打歩  
ニテ預金ニ收入スレトモ是等ヲ除キ東部各州郵便一日程ノ距離ニアル所中央諸  
州等渡ノ小切手ハ交換所規約ヲ以テ千弗ニ付一弗ノ取立料ヲ課スルナリ「ポスト  
」交換所ニ於テ市外小切手取立ヲ開始セシヨリ以來ノ經驗ニ徴スルニ千九百年  
六月七日ニ終ル一箇年間ノ取立總額ハ四億千六百萬弗ニシテ之カ經費ハ四萬五



千弗ナリ即チ千弗ニ對シ十一仙ノ割ニ當ル而シテ此ハ創立ノ初年ナリシヲ以テ加算器數臺其他ノ什器購買代ヲ含蓄セリ次年即チ千九百一年六月ニ終ル一箇年間ノ取立總額ハ五億四千六百萬弗ニシテ經費三萬七千弗即チ千弗ニ付六仙百分ノ八十一ニ當ル又昨千九百二年一月ヨリ十二月迄ノ取立額五億八千八百萬弗ニシテ經費ハ三萬八千弗即チ千弗ニ付六仙半ニ下レリ而シテ千弗ニ對スル二日間ノ日歩二仙ヲ加フレハ合計七仙半ヲ以テ總テノ費用ヲ辨スルコトヲ得ルナリ故ニ其必然ノ結果トシテ從來紐育銀行ニ流レ込ミタリシ新英蘭土諸州中ノ小都會宛小切手ハ滔々トシテ「ポストン」ノ各銀行ニ振込マル、ニ至レリ

二、組合銀行カ別々ニ市外手形ヲ取立テントスレハ勢ヒ直接ニ仕拂銀行ニ送付スルコト能ハサル場合極メテ多シ何トナレハ「ポストン」市内ニアル三十二ノ銀行カ悉ク新英蘭土六州ニ散在スル六百二十三行ト取引ヲ有シ居ルコト能ハサレハナリ故ニ取引銀行ナキ地方渡ノ小切手ハ其最寄ナル取引銀行ニ送ラサル可カラス而シテ其送付ヲ受ケタル銀行必スシモ宛先銀行ト取引ヲ有セサルヲ以テ時トシテハ再ヒ遙々ト紐育邊ノ取引銀行ニ振込ミ取立ヲ依頼シ又ハ「ポストン」ニ逆送

シ自己ノ預金トシテ預ケ入ル、ノ奇觀ナキニアラス斯クノ如クニシテ無用ノ日子ヲ空費スルハ稀有ノ出來事ニアラス然ルニ交換所ニ於テ總テノ市外小切手ヲ取集メ之ヲ一括シテ直接ニ宛先銀行ニ送付スルトキハ雷ニ先方ニ到達スル時期ヲ早ムルノミナラス若シ不渡ノ場合等ニ當リ極メテ短時日ノ間ニ之ヲ發見スルコトヲ得ルナリ其利スル所決シテ鮮少ニアラサルナリ

#### 八、市外小切手交換事務ノ濫觴

「ポストン」手形交換所カ前記ノ方法ニヨリ市外小切手ヲ交換スルニ至リシ原因ヲ尋スルニ當市ノ醫師ニテハロツクト云ヘル人手形取立ノ方法完全ナラサルヲ慨キ審ニ地方手形交換ノ順序方法ヲ攻究シ遂ニ之ヲ「ポストン」手形交換所ニ提出シテ組合銀行ノ賛同ヲ請ヒタルニ始マレリ抑ハロツク氏ハ職ヲ杏林ニ執ルノ人ニシテ銀行ノ實務ヲ執リタル經驗ナク從テ其説ク所動モスレハ空理ニ流レテ實行シ難キモノアリ而シテ交換所支配人ラツダル氏ハ十數年間某銀行ニアリテ手腕ヲ鍛鍊シタル老功ノ事務家ナルヲ以テ種々ハロツク氏ノ考案ニ修正ヲ加ヘ以テ現今ノ仕組ヲ實行スルニ至リシナリ



市外小切手交換部ハ千八百九十九年六月七日始メテ嘸々ノ聲ヲ擧ケタルモノナルガ當時ハ種々ノ故障アリ豫期ノ如ク實利ヲ組合銀行並ニ被取立銀行ニ與フルコト能ハサリシナリ故ニ新英蘭土六州所在ノ銀行六百四十餘行(爾來合併ニヨリ數ヲ減シタリ)中此事業ニ賛成ヲ表シテ加入ヲ申込ミシハ二百二十餘行ニ過キサリシナリ而シテ其不成功ノ理由ハ何ナリヤト云フニ被取立者タル市外銀行ノ多數カ自行宛小切手ニ對シテ無打歩ヲ以テ紐育又ハ「ポストン」組合銀行渡小切手ヲ送付スルコトヲ拒ミタルコトナリ其理由トスル所ハ抑小切手ハ銀行ノ營業所ニ於テ仕拂ハル可キモノナルヲ以テ自行宛小切手ニ對シテハ現金ヲ以テ仕拂フヘキ義務アレトモ紐育又ハ「ポストン」渡小切手ヲ以テ仕拂ハサルヘカラサルノ義務ナシ紐育又ハ「ポストン」渡小切手ハ地方ニ於テ常ニ多少ノ増歩<sup>プレミアム</sup>ヲ有ス地方銀行ハ此増歩ヲ損シテモ尙且ツ自行宛ノ小切手仕拂ニ他所拂小切手ヲ振出サ、ル可カラサルノ道理ナシト云フニアリ而シテ地方銀行カスル反對ノ體度ヲ取ルニ當リ其主張ヲ實行シ「ポストン」手形交換所ノ企劃ヲ破壞スルニ最モ屈強ナル武器ヲ有シタルナリ

若シ地方銀行カ小切手ノ仕拂ニ紙幣ヲ用キント云ハ、交換所ハ其運輸ノ費用ヲ負擔シテ紙幣ヲ受取ル事ヲ得ルナリ然レトモ地方銀行ハ曰ク一弗銀貨ハ無制限ノ法貨ナリ債權者ハ一弗銀貨ノ仕拂ニ對シ苦情ヲ云フノ權利ナシ故ニ交換所ヨリ送付セル自行宛小切手ニ對シテハ一弗銀貨ヲ以テ仕拂フヘシト若シ銀貨ノ運輸費用ヲ交換所カ負擔スルコト、ナラハソハ全ク當初ノ目的ヲ失フニ外ナラス何トナレハ其費額ハ容易ノ事ニアラサレハナリ今ヲ去ルコト二十年前銀貨自由鑄造說ノ盛ナル頃西部銀鑛ニ關係アル一派ノ政客ハ銀ノ需要ヲ増加セントノ野心ヨリ當時ノ國會ヲシテ若シ銀行カ政府發行銀券ヲ大藏省又ハ大藏省支局ニ預ケ入レ之ニ對シ一弗銀貨ノ交付ヲ需ムルトキハ政府ハ其費用ヲ以テ之ヲ送付スル事ヲ得ル旨ノ法律ヲ發布セシメタリ爾來此法律ノ廢止ヲ主張スルモノ多々アリタリシカ今日ニ至ル迄尙ホ之カ廢止ヲ見ス故ニ地方銀行ハ殊更ニ紐育大藏省支局ニ銀券ヲ送り法貨タル銀貨ヲ取寄せ之ヲ以テ仕拂ニ應セン事ヲ主張セリ其間感情ノ衝突其他ノ原因モ種々アリシコトナル可シ一方ニ於テ斯クノ如キ反對アリシニモ拘ラス一方ニ於テ地方手形ヲ「ポストン」銀行ニ預ケ入レ之カ取立ヲ



依頼スルモノヨリ云へハ「ポストン」交換所ノ考案ハ慥カニ幾多ノ利益ヲ與フルモノナリ何トナレハ此仕組ニヨレハ「ポストン」銀行ハ最モ迅速ニ最モ少キ費用ヲ以テ取立ヲ爲スコトヲ得從テ預ケ主ニ對シテ紐育同盟銀行ノ如ク取立手数料ヲ課スルコトナケレハナリ

斯クテ利害ヲ異ニセル幾多ノ地方銀行カ各自ノ事情ニヨリ二派ニ別レ一ハ交換所ノ考案ニ賛成シ一ハ之ニ反シテ其主張ヲ固持セリ其結果ハ前ニモ述ヘタルカ如ク六百數十行中僅ニ其三分ノ一ナル二百二十餘行ノミ加入スルコト、ナリタルナリ爾來年所ヲ經ルコト二有半此間漸次此仕組ノ便利ヲ覺ルモノ多キヲ加ヘ今日ニテハ總數六百二十三行ノ八割八分即五百五十二行ハ交換所ノ規約ニ基キ無打歩ノ送金ヲ爲シツ、アルナリ而シテ殘リ七十一行ハ今尙爲替打歩ヲ差引キテ送金スルカ然ラサレハ現金仕拂ヲ主張スルモノナリ此反對銀行七十一行ヲ州ニヨリテ區別スレハ左ノ如シ

「メイン」州

七行

「デアモン」州

三十五行

「ニューハンプシヤイヤ」州

十一行

「コンチクチカ」州

十八行

而シテ交換所カ是等七十一行反對銀行ニ對スル態度如何ト云フニ千八百九十九年十二月二十七日通過セル組合銀行ノ決議ニ從ヒ「ポストン」組合銀行ハ是等銀行宛ノ小切手手形ニ對シテハ必ス金額ノ千分ノ一ヨリ少カラサル取立料ヲ預ケ入レノ當日又ハ翌月十日以前ニ於テ預ケ主ニ課セサル可カラス而シテ若シ此規則ニ背キタルモノアルトキハ第一回ニハ千弗ノ罰金第二回ニハ組合ヲ除名スヘキ旨ヲ規定セリ是等七十一行宛小切手ハ他ノ銀行宛小切手ノ如ク無手数料ニテ「ポストン」銀行ニ預ケ入ル、コト能ハサルノ結果ハ自然其流通ノ區域ヲ狭少ニシ間接ニ振出人ニ不便ヲ與フルカ故ニ結局七十一行ノ不利益ニ歸セサル可カラス支配人ラツグル氏ハ曰ク是等反對銀行モ早晚壘ヲ出テ戈ヲ倒ニシテ我軍門ニ降ルナルヘシト

### 米國金融機關組織ノ概要



當國ニ於ケル金融機關ノ組織ヲ知ラント欲セハ少クトモ一二年ノ日月ヲ費シ各種ノ方面ニ亘リテ取調ヲ爲サ、ル可ラス僅々三四箇月間ノ觀察ヲ以テ其梗概ヲタモ知悉センコト常人ノ善ク爲シ得ヘキニアラサルナリ奚ソ况ンヤ剪劣菲才ナル小役ニ於テオヤ今僅カニ學ヒ得タル所ニヨリ複雑ニシテ且ツ大任掛ナル當國ノ商工業ニ對シ不斷資金疏通ノ任ニ膺ル金融機關ノ種類ヲ列舉スレハ左ノ如シ

- 一、合衆國大藏省
- 二、貯蓄銀行
- 三、建築及貸金會社
- 四、信託會社及州立銀行
- 五、各種保險會社
- 六、私人銀行及株式仲買
- 七、國立銀行

此種ノ機關ニツキテ詳細説明ヲ試ムルハ限アル時ト紙面トノ許サ、ル所ナルヲ以テ茲ニハ唯其梗概ヲ略述スルニ止ム可シ

### 一、合衆國大藏省

中央銀行ノ制度ヲ採用セル諸國ニテハ政府ノ歲出入ハ中央銀行ニヨリテ管理セラレ其巨額ナル歲出入ノ一波一動ハ直ニ密接ナル關係ヲ一國金融市場ノ上ニ及ホスコト影ノ形ニ伴フカ如シ故ニ政府ノ歲入カ歲出ニ超過スルトキハ其餘裕ハ中央銀行ノ預金ト爲リテ兌換券發行ノ準備トナリ歲出多クシテ歲入之ニ伴ハサル時ハ政府ノ預金減少シテ夫レ丈兌換券ヲ收縮スル等其金融ノ上ニ反映スル有様ハ極メテ密接ニシテ且ツ敏捷ナルヲ常トス是英、獨、佛、露ノ諸國ニ於ケル常態ナリ然ルニ當國ニ在リテハ中央銀行ノ設ナク政府ノ歲出入ハ全ク大藏省ノ管理ニ屬シ餘裕金アルトキト雖モ恣ニ之ヲ市場ニ流通シテ其金融ヲ緩和スルノ道ナシ尤モ大藏省ハ關稅以外ノ歲入ニ限り政府公債ヲ擔保トシテ國立銀行ニ預金スルコトヲ得レトモ輓近政府ハ公債賣却ノ政略ヲ取り國庫ノ餘裕アル毎ニ公債ヲ償却シ目下其總額僅カニ九億弗ニ過キス其大部分ハ貯蓄銀行、富豪家、信託會社等ニ所有セラレ若シクハ國立銀行紙幣發行準備ノ爲メニ使用セラレ居ルヲ以テ市場ニ賣物少ク從テ市價ノ額面ニ超過スルコト多キハ百弗ニツキ三十六七弗ニ上レ



リ去レハ金融必迫セリトテ俄カニ市場ニ巨額ノ政府公債ヲ買入ル、コト能ハス  
 昨年秋當座貸利率カ一割八分以上ニ暴騰シ市中金融必迫ノ叫高カリシ時政府ノ  
 金庫ニハ無慮數億弗ノ餘裕金ヲ有シナカラシテ放出シテ市場ニ供給スルコト能  
 ハス僅カニ政府公債ノ代リニ地方公債ヲ擔保トシ國立銀行ニ預ケ金ヲ爲シ又政  
 府自ラ二千七百萬弗ノ公債ヲ買ヒ上ケテ金融ヲ緩和センコトヲ計レリ是當國ノ  
 金融組織ニ對シ識者ノ批難ヲ免カレサル所以ナリ今ヤ紐育商業會議所ハ此病所  
 ヲ矯メンカ爲メニ必要ナル場合ニハ政府ハ公債ノ擔保ヲ取ラスシテ國立銀行ニ  
 國庫ノ餘裕金ヲ預ケ入ル、コトヲ得ル様法律ヲ修正セント企テツ、アルナリ毎  
 年秋期ニ至レハ農作物ノ積出ニ際シ資金ノ需要膨脹スルヲ以テ金融ハ必ス繁忙  
 ナラサルヲ得ス而シテ此時ニ當リ國庫金ヲ融通シテ市場ノ必迫ヲ救済スルハ實  
 ニ機宜ヲ得タルノ措置ニシテ且ツ極メテ有利ナルヲ以テ此種ノ財政々策ハ早晚  
 實行セラル、ノ期アルヘシ

大藏卿シヨウ氏ハ昨年十二月議會ニ於テ當國財政ノ現況ト未來ニ於ケル必要ノ  
 施設トニ就キ一場ノ演說ヲ爲シタリ其内ニ云ヘルコトアリ

千八百九十三年ニハ

政府發行紙幣(U. S. Notes)	三四六〇〇〇〇〇〇
大藏省紙幣(Treasury Notes)	一四七〇〇〇〇〇〇
國立銀行紙幣	一八〇〇〇〇〇〇〇
一弗銀貨	二四〇〇〇〇〇〇〇
合計	一、〇九三、〇〇〇、〇〇〇

合計十億九千三百萬弗ノ紙幣及銀貨アリ此額ハ即チ本位貨幣タル金貨ヲ以テ兌  
 換セラルヘキ性質ノ通貨ニアラス政府、大藏省及國立銀行紙幣ハ法貨ヲ以テ兌換  
 セラルヘク銀貨ハ夫レ自身法貨タルナリ而シテ其當時一弗銀貨ノ眞價ハ五十四  
 仙ニ過キサリシヲ以テ之ヲ要スルニ十億九千三百萬弗ノ通貨ニ對シ約五億弗ハ  
 表面價格ニ對シ不足セルモノナリ而シテ此差違ハ自ラ人民ヲシテ通貨兌換ニ就  
 キ不安ノ念ヲ懷カシメタルヲ以テ金貨ヲ包藏スルモノ多ク其結果ハ遂ニ恐ルハ  
 キ千八百九十三年ノ恐慌ヲ醸シタルナリ爾來政府ハコ、ニ見ル所アリ千九百年  
 三月ヲ以テ政府及大藏省紙幣ハ金貨ヲ以テ兌換セラル、コトニ法律ヲ修正シタ



リ然レトモ現今ニ於テ尙

國立銀行紙幣

三八〇、〇〇〇、〇〇〇

一弗銀貨

五五〇、〇〇〇、〇〇〇

合計

九三〇、〇〇〇、〇〇〇

ノ通貨アリ國立銀行紙幣發行ノ準備トシテハ金貨仕拂ノ政府公債アレトモ而カ  
 モ同紙幣ノ兌換ニ對シ無制限法貨タル一弗銀貨ヲ拒ムコト能ハサルハ尙千八百  
 九十三年ト異ルコトナシ而シテ當時實價五十四仙ナリシ銀貨ハ爾來銀價ノ暴落  
 ニツレ昨今ニテハ三十九仙ニ低落セリ左レハ十年前ノ不足額五億弗ニ對シ更ニ  
 六千七百萬弗ヲ増加シ五億六千七百萬弗ノ不足トナレリ是レ一國財政ノ上ニ於  
 テ看過スヘカラサル顯象ナリ宜シク今ニシテ國立銀行發行紙幣及銀貨ヲモ他ノ  
 通貨ト等シク金貨ヲ以テ兌換セシムルノ法ヲ立テ一國幣政ノ統一ヲ計ラサルヘ  
 カラサルナリ

昨年十一月二十日ニ終ル一箇年間ニ於テ設立セラレタル國立銀行ノ資本金總額  
 ハ三千萬弗ニシテ既設國立銀行ノ増資額四千三百萬弗ナリ故ニ合計七千三百萬

弗丈ハ國立銀行紙幣發行ノ餘地アルヘキ筈ナルニ國立銀行ハ其資本額迄紙幣ヲ  
 發行スルノ特權ヲ有ス實際ハ僅カニ二千萬弗ノ増發アリタルノミナリ而シテ此  
 増額ハ政府カ金融界ノ救濟策トシテ特別ノ便宜ヲ銀行ニ與ヘタル結果ニ外ナラ  
 サルナリ以テ紙幣發行カ國立銀行ニ對シテ有利ナラサルヲ知ルニ足ルヘシ斯ク  
 シテ追々同紙幣ノ減退ヲ來ス時ハ金融繁忙ノ季節ニ當リ通貨ノ自然的膨脹ヲ止  
 メ一國ノ經濟的發達ヲ阻碍センコト明ナリ故ニ政府ハ國立銀行ヲシテ政府公債  
 ノ準備以外ニ紙幣發行ノ特權ヲ與ヘ以テ通貨ヲシテ金融ノ繁閑ニ從ヒ自由ニ伸  
 縮スルコトヲ得セシメサルヘカラス云々要スルニ國立銀行紙幣増發政府預金無  
 擔保預ケ入銀貨及國立銀行紙幣金貨兌換ノ三ツハ目下當國ニ於ケル財政上ノ大  
 問題ナリト云フヘシ

### 二、貯蓄銀行

當國ニ於ケル貯蓄銀行ノ濫觴ハ千八百十六年ボストン及紐育ニ於テ貧民貯蓄機  
 關ノ必要ヲ唱道スルモノアルニ起レリ翌千八百十七年ニ至リ紐育ニ於テ第一ノ  
 貯蓄銀行創立セラレ次テ千八百十九年ニ至リ費府ニ於テ有名ナル費府貯蓄銀行



設立セラレタリ

千九百二十年十月ニ於ケル當國貯蓄銀行ノ數ハ千三十六行ニシテ其預金者ノ數ハ六百六十六萬六千六百七十二人其預金總額ハ二十七億五千十七萬七千二百九十九弗ナリ即チ一人平均四百十二弗五十三仙ニ當ル而シテ之ヲ人口ニ割當ツレハ一人平均三十四弗八十九仙トナル合衆國通貨ノ平均一人割當額ハ二十八弗五十三仙ナルヲ以テ平均一人貯蓄額ハ之ニ超過スルコト六弗三十六仙ナリ

全國貯蓄銀行貸借ノ状態ヲ數字ニヨリテ示セハ左ノ如シ

一 預 金	二、七五〇、一七七、二九〇
一 資本金及積立金	三九、九〇一、二九〇
合 計	二、七九〇、〇七八、五七〇
資 産	
一 不動産抵當貸付金	九九四、六三九、三三〇
一 公債其他擔保貸金	二八一、六七九、七七二

一 政府及地方公債	五三九、七〇八、六五四
一 鐵道會社、銀行其他株式	七二一、七七五、五一五
一 銀行 預 金	一二一、三九六、九七一
一 現 金	三〇、八七七、三三八
合 計	二、七九〇、〇七八、五七〇

資本積立總額僅カニ四千萬弗ヲ以テ二十七億五千萬弗ノ預金ヲ擁シ有價證券ニ放資スルモノ十五億五千萬不動産ニ放資スルモノ十億實ニ盛ナリト云フヘシ試ニ日米兩國ニ於ケル貯蓄預金ヲ對比センニ

國 名	年 次	預金人數	預金總額	一人平均預金額	人口一人ニ付預金額
日 本	一、九〇〇	五、八二五 <small>千人</small>	三六、九四八 <small>千弗</small>	六、三三四 <small>弗</small>	八三 <small>弗</small>
合 衆 國	一、九〇二	六、六六六	二、七五〇、一七七	四一二、五三	三、四、八九

預金者ノ數ニ於テハ兩國ノ差僅カナレトモ其金額ニ至リテハ彼レハ二十七億弗ニシテ我ハ僅カニ三千七百萬弗ニ過キス預金者ノ一人ノ平均額ハ彼ノ四百十二弗ニ對シ我ハ六弗、人口割當額ハ彼ノ三十四弗ニ對シテ我ハ八十三仙何ソ其差ノ



甚シキヤ彼我人民貧富ノ程度推シテ其一斑ヲ知ルニ足ル  
 當國貯蓄預金ノ機關ヲ分チテ二種トナス一ハ株式組織ニシテ預金者以外ニ株主  
 ヲ有スルモノ一ハ全ク無資本ニシテ單ニ預金者ノ共同機關タルモノ是ナリ總數  
 千三十六行ノ内第一種ニ屬スルモノ三百七十九行ニシテ第二種ニ屬スルモノ六  
 百五十七行アリ而シテ第二種貯蓄銀行ノ大部分ハ悉ク東部ノ各州ニ散在シ西部  
 中央部及南部ニアルモノ僅カニ二十二行ニ過キス而シテ總預金額二十七億五千  
 萬弗ノ内二十三億八千萬弗即チ八割六分ハ此第二種貯蓄銀行ニヨリテ保管セラ  
 ル、ナリ

### 三、建築及貸金會社

是亦一種ノ金融機關ニシテ其業務ノ範圍ハ全ク會員ノ間ニ限ラレ共濟保險會社  
 ト稍其趣ヲ同フセリ而シテ名稱ニ建築ノ字ヲ冠セルハ此種會社創設當初ノ目的  
 ハ會員相集リ家屋ヲ建築セントスルニアリタルナリ費府其他ニ於テ此種會社ノ  
 爲メ住宅ノ建築セラレタルモノ多シト云フ  
 其組織ニ就テノ特質ヲ擧クレハ

(一) 會社ヨリ借金スルモノハ常ニ其株主ニ限ラレタリ語ヲ換ヘテ云ヘハ會  
 社ハ株主以外ノ人ニ對シテ金融スルコトヲ爲サ、ルナリ

(二) 會社ノ資本金ハ株金ノミニアラスシテ會員ノ拂込ム資金ト之レヨリ生  
 スル利益トヨリ成ルモノナリ故ニ其資本金ハ不絶増加シ行クナリ

實例ニヨリテ其組織ヲ説明センニ會員ノ資格ヲ得タル人ハ毎日一弗ツ、會社ニ  
 拂込而シテ會社ニテハ之ヲ運用シテ生スル利益ヲ漸次積ミ立置キ其會員ノ拂込  
 金ト利益金トヲ合シテ二百弗ニ至レハ其會員ハ爾後拂込ノ義務ナクシテ利益ノ  
 配當ニ與ルコトヲ得ルナリ而シテ第一回會員ノ拂込カ二百弗ニ達スルヲ待テ第  
 二回ノ會員ヲ募集ス而シテ其株式ノ價格ニ二種アリ一ツハ帳簿價格ニシテ他ハ  
 退會價格ナリ帳簿價格トハ其會員カ實際拂込タル株金ト之ヨリ生シタル利益ヲ  
 合シタルモノ退會價格トハ會員カ自己ノ便宜ニヨリ退會スル時會社カ任拂フ價  
 格ニシテ之レニハ利益ヲ加ヘサルナリ其株ノ賣買其他ニ關シ種々複雑ナル規則  
 アレトモ今ハ煩ヲ避ケテ爰ニ詳說セス國中ニアル此會社ノ總數五千三百二ニシ  
 テ會員ノ數百五十四萬人ナリ其資産ノ總額五億六千五百三十八萬弗ニ上ル又以



テ優ニ一大金融機關タルニ足ル

#### 四、信託會社及州立銀行

信託會社ノ組織其營業ノ範圍等ニツキテハ既ニ前回派遣員ノ詳細ナル報告アリ更ニ蛇足ヲ加フルノ要ナシ而シテ州立銀行モ亦信託會社ト同シク州政廳ノ監督ノ下ニ業務ヲ營ムモノナリ此二者ノ營業ノ性質ハ純然タル商業的ニモアラス又非商業的ニ限ラレタルニモアラス云ハ、兩者ノ中間ニアリ又時トシテハ兩者ヲ兼ヌルコトアリ而シテ軌近信託會社ノ發達著シク商業機關ヲ以テ任スル國立銀行ノ營業範圍ヲ蠶食スルコト激甚ヲ加ヘタルヨリ兩者ノ間常ニ反目疾視ノ傾向アリ國立銀行者ハ信託會社カ比較的輕微ナル租税ノ下ニ營業スルノ特權ヲ羨ミ且ツ預金準備金及ヒ貸金ニ關スル制限カ自家ノ行動ヲ束縛スルニ當リ信託會社カ銀行同様ノ業務ヲ營ミナカラ何等ノ制限ヲ受ケサルハ不當ナリトテ種々ノ議論ヲ爲スモノ多カリシカ最近此ノ兩者ノ間ニハ追々感情ノ融和ヲ來シタルニ似タリ其一理由ハ兩者ノ重役ヲ兼ヌルモノ漸ク多キヲ來セルニアリ今ヤ大國立銀行ノ重役ニシテ信託會社ニ關係ヲ有セサルモノ殆ント之レナキニ至レリ現ニ、

「ク」銀行頭取デラフヒールド氏ハ、「コロニア」ル信託會社ノ副頭取タリ又同行副頭取ウヒギン氏同ソーン氏共ニ他ノ信託會社ノ重役タリ

#### 五、各種保險會社

生命、海上、火災其他各種ノ保險會社カ國中零碎ノ資金ヲ吸收シ之ヲ實業界各種ノ方面ニ放散シテ一國ノ生産及商業ヲ助クルノ機關タルハ云フ迄モナキコトナルカ米國ニ於ケル保險會社ノ發達亦豫想外ニ出ツルモノアリ各種保險會社ニ關スル統計ヲ得ルコト能ハサレトモ單ニ生命保險會社ニ就テ曰ハンニ最近十箇年間ニ總資産額七億七千萬弗ヨリ一躍シテ十七億四千萬弗ニ膨脹セリ而シテ其放資ノ方法ヲ見ルニ左ノ如シ

- 一 不動產 所有 一五八、一一九、〇〇〇<sub>米</sub>
- 一 不動產 抵當 貸金 五〇一、四九八、〇〇〇
- 一 政 府 公 債 七、一九〇、〇〇〇
- 一 株 券 債 券 七九四、六三一、〇〇〇
- 一 擔 保 附 貸 金 六四、四八八、〇〇〇



一會員中貸金	八八、五〇〇、〇〇〇
一現金	一二、五五七、〇〇〇
合計	一、七四〇、〇〇〇、〇〇〇

是亦強大ナル一ノ金融機關タルヲ失ハサルナリ

### 六、私人銀行及株式仲買

以上列記セル各種ノ金融機關ハ皆夫々中央政府又ハ州政府ノ下ニ監督ヲ受ケ國法又ハ州法ノ支配ヲ受ケテ營業スルモノナレトモ獨リ私人銀行及株式仲買ニ至リテハ何等條例ノ束縛ヲ受クルコトナク隨意ニ雜多ノ業務ヲ營ムモノニシテ全ク其趣ヲ他ノ金融機關ト異ニスルモノアリ而シテ國立、州立銀行、信託會社等ハ毎年其營業ノ成績ヲ主管廳ニ報告スルノ義務アルヲ以テ就テ其大勢ヲ取調ルノ道備ハレリト雖モ私人銀行ニ至リテハ小人數ノ合本ニナリ又ハ富豪家單獨ノ出資ニ係ルモノニシテ營業上ノ狀態萬事秘密ノ裡ニ葬ラレ居ルヲ以テ門外漢ニ對シテハ一モ其内幕ヲ覗フヘキ方法アラサルナリ然レトモ是等私人銀行ハ預金ヲ預リ貸金ヲナシ外國爲替ヲ取組ム等一般ノ銀行業務ヲ營ムハ云フ迄モナク尙多ク

ノ場合ニ於テハ株式ノ仲買ヲ兼業シ得意ニ對シテハ精密ナル各種統計ヲ示シテ何レノ株式ハ今日カ買時ナリトカ又ハ其前途面白カラサルニ就キ之ヲ賣却シテ他ノ株ニ乘換ユル方得策ナルヘシトカ種々ノ忠言ヲ與ヘ顧客ヲシテ放資ノ方法ニ關シ頼ル處アラシムルカ如キ又ハ鐵道、水道、市街鐵道、鑛山探掘其他アラユル起業ノ企劃アルニ際シ其發起人ノ相談ヲ承ケ「シンヂゲイト」ヲ組成シテ株金ヲ引受ケ或ハ一旦自己ニ於テ多分ノ株金ヲ引受ケ更ニ時機ヲ見テ之ヲ得意ニ賣却スル等如何ナル形ニモセヨ苟モ利益アリト認ムル事業ニハ直チニ指ヲ染ムルニ躊躇セサルナリ私人銀行ハ其營業ノ方法ニ關シ法律上ノ制裁ヲ受クルコトナク全ク當局者ノ腕次第働次第如何ナル事業ニモ與ルコトヲ得ルカ故ニ若シ世間ノ信用ヲ博シテ方針宜シキヲ得レハ普通銀行ノ企及シ得サル巨利ヲ獲得スル事ヲ得ルナリ現ニ有名ナル「モルガン、コムパニー」ノ如キハ其一ニシテ單ニ「ジエー、ビー、モルガント」云ヘル名ハ世間ノ信用ヲ招クコト磁石ノ鐵ヲ吸フニ等シキヲ以テ其成功實ニ驚クヘキモノアリ合衆國內ニアル約二十萬哩ノ鐵道中五萬五千哩即チ日本ニ於ケル官私鐵道ノ總延長四千哩ニ對シ十一倍以上ノ鐵道ハ現ニ其支配スル所



ニ係ルト云フ加之且倫敦ニ於ケル市街地下鐵道ノ如キ大西洋航海トラストノ如キ實ニ驚クヘキ大規模ノ事業カ是等ノ金融機關ヲ通シテ運行セラレツ、アルナリ小役ハ「ボストン」ニ於テ「リー、ビツギンス」商會ト云ヘル私人銀行ヲ訪ヒ其出資者ナルストロウ、ビーボデー等諸氏ニ面會シ種々會話ヲ爲スコトヲ得タルカ同商會ニテハ鐵道事業トノ關係深クシテ現ニ太平洋岸ナル「ボートランド」及「シャトル」間ノ電氣鐵道ノ如キハ全ク同商會ノ手ニヨリテ起業セラレタルモノナリ而シテ鐵道ニ關スル統計ヲ整理スル一係アリテコ、ニハ當國ニ於ケル二十餘萬哩ノ鐵道ニ關スル設計營業ノ方法、配當利率等細大漏ラサス蒐集シアリ何時ニテモ之ヲ參照スルコトヲ得又鐵道建築技師會社ト深密ナル關係アリテ之ト往來頗ル頻繁ナリ聞ク處ニヨレハ私人銀行ノ内ニモ幾多ノ種類アリテ或ハ株式賣買ヲ專務トスルモノアリ或ハ鐵道事業ニ關係深切ナルモノアリ或ハ重キヲ外國爲替ニ置クモノアリ最近「ペンシルベニヤ」鐵道會社カ三千五百萬弗ノ社債ヲ募集セシトキモ是等私人銀行間ニ組織セラレタル「シンヂケート」ニ依リテ應募セラレタリ小役ハ日本ニ於テ此種ノ機關ノ發達セルモノアラサルヲ以テ特ニ其組織及ヒ業務ノ大體

ニ就キテ取調ヲ爲サンコトヲ欲シ「パーク」銀行ノ紹介ヲ以テ有名ナル英國ノ私人銀行「ブラウン」商會及「ジエー、ビー、モルガン」商會及「ヴァミリヤ」商會ニ行キ商會主又ハ支配人ニ面會シ一二週間事務見習ヲ許サレンコトヲ懇請シタレトモ業務ノ本質凡テ秘密ヲ要スルモノナリトテ悉ク拒絶セラレタリ思フニ尙三四箇月ノ餘裕アラハ何トカシテ其内幕ヲ覗フヘキ便宜ヲ得タランモ知ル可カラスト雖モ今ヤ其時間ナキヲ以テ遺憾ナカラ之ヲ斷念スルニ至レリ

## 七、國立銀行

千八百六十四年ノ制定ニ係ル國立銀行條例ノ支配ノ下ニ業務ヲ營ムモノニシテ其營業範圍ハ主トシテ商業界ニアリ昨年九月十五日ノ取調ヘニ依レハ全國ノ行數四千六百一行資本金積立金合シテ十億三千萬弗預金總額四十五億弗ヲ有ス

### (一) 營業ニ關スル主ナル制裁及特權

國立銀行ノ營業ニ關スル制裁ノ最モ重ナルモノハ

- 一、預金ニ對スル準備金ノ制限
- 二、放資ノ方法ニ關スル制限



ノ二ナリ即チ預金ニ對シテハ市ニアル銀行ハ二割五分其以外ハ一割五分ノ準備  
金ヲ置カサル可カラス而シテ放資ノ方法ニ關シテハ

- 一、營業用以外ニ不動産ヲ所有スルコトヲ得ス
- 二、不動産擔保ノ貸金ヲナスコトヲ得ス

三、資本金ノ十分ノ一以上ヲ一人又ハ一會社ニ貸付クルコトヲ得ス  
而シテ其特權ナルモノヲ舉クレハ

- 一、國公債ヲ擔保トシテ紙幣ヲ發行スルコト
- 二、國公債ヲ擔保トシテ政府預金ヲ預ルコト
- 三、準備市ニアル國立銀行ハ地方ニアル國立、州立銀行及信託會社ノ法定準備  
金ノ一部ヲ預カルコト

(二)「パーク」銀行ノ貸借對照表ト我國ニ於ケル普通銀行ノ貸借  
對照表トノ比較

今左ニ「パーク」銀行ノ貸借對照表ヲ掲ク  
千九百三年一月十五日「パーク」銀行資產負債對照表

負 債		資 産	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
一 資本金勘定	六、五七二、四九〇、四四	一 貸出金	四四、四一二、一三三、三六
一 發行紙幣	一、九九八、〇〇〇、〇〇	一 公債所有高	三、三一五、三七五、〇〇
一 銀行預金	四〇、五四九、五九一、三四	一 株券債券所有高	一九九、五七四、〇〇
一 個人預金	三五、四三二、〇七九、四八	一 營業用地所建物	一、五七八、六〇七、九八
一 政府預金	三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇		
總計	八七、五五二、一六一、二六		



一 經 費	六、七六五、四七
一 取立手形勘定	五、一一〇、七二五、九五
一 發行紙幣準備預金	一〇〇、〇〇〇、〇〇
一 交換所手形現金手形及利札	一一、八〇九、二四八、八八
一 現 在 金	二一、〇一九、七三二、六二
總 計	八七、五五二、一六一、二六

以上ノ貸借對照表ヲ我國ニ於ケル普通銀行ノ夫レト相比較シテ最モ著シキ相違ノ點ヲ左ニ列記シ順次説明スル所アルヘシ

- 負債ノ部ニ於テハ
- 第一、預金ノ巨額ナルコト
  - 第二、同業者(銀行)ノ預金多キコト
- 資産ノ部ニ於テハ
- 第一、公債株券及債券ニ關スルコト
  - 第二、取立勘定及送金爲替ニ關スルコト

- 第三、諸貸出金并ニ取次貸ニ關スルコト
- 第四、交換所持出手形、現金手形、及利札多キコト
- 第五、預金準備ノコト
- 第六、損益勘定ノコト
- 第七、銀行株賣買直段及利廻ノ割合

第一、預金ノ巨額ナルコト

預金ハ資本金、積立金及未配當利益ト共ニ銀行流動資本ヲ形クルコト云フ迄モナキコトナレトモ特ニ米國ニ於テハ一般銀行業務ノ大小ヲ論スル唯一ノ標準ハ常ニ預金總高ナリト云フ可シ而シテ日本ニ於テハ銀行資本金勘定及預金ノ外ニ日本銀行ニ對スル再割引又ハ借入金ヲ以テ流動資金ノ一部分ヲ形クリ金融ノ大勢ニヨリ此項目ニ於テ常ニ伸縮ノ手心ヲ爲スコトヲ得ルナリ當國ニ於テモ地方小銀行ハ割引手形ヲ紐育ノ大銀行ニ持參シ之ヲ再割シ又ハ有價證券ヲ擔保トシテ借入金ヲナスコトアレトモ紐育ニ於ケル大銀行例之ハ「シチーパーク」ノ如キニ至テハ手形ノ再割引ヲ請フ可キ先柄モナシ縱シ又之アリトスルモ恐クハ其面目ニ



カケテ再割ヲ爲スコトアラサル可シ故ニ資本金積立金及未配當利益ヲ除キ他ハ悉ク預金ニ俟タサル可カラス而シテ米國々立銀行預金ナルモノハ一ニ當座勘定貸方殘高ヲ云フモノニシテ此ノ以外ニハ何等ノ預金アルコトナシ(政府預金アレトモ是ハ同額ノ政府公債ヲ擔保トセサル可カラス)預金ハ無利息ヲ以テ原則トシタレトモ近年各種金融機關ノ競争日ニ激甚ヲ加ヘ來リタル結果追々預金ニ利息ヲ附スルノ傾向ヲ顯ハシ來リ現今「パーク」銀行等ニテハ地方銀行預金ノ大部分ト市內得意先預金ノ小部分トニ對シテ利息ヲ附シツ、アリ(預金利息ニ付キテハ別ニ記述スル所アル可シ)然レトモ其利息ハ殆ント一定ノ利率ヲ保ツモノニシテ我日本ニ於ケルカ如ク金融界ノ狀態ニヨリ常ニ昂低上下スルコトナシ

米國々立銀行ノ預金ハ悉ク商業資金ノ集合シタルモノニシテ我日本ノ銀行ニ於ケル預金ノ如ク貯蓄的ノ性質ヲ帶ヒタルモノヲ含蓄セサルヲ以テ其利率ノ高低ハ之ニヨリテ其總額ヲ増減スル迄ニ勢力ヲ有セサルナリ左レハ當國々立銀行ハ市場ニ於ケル資金ノ需要減退シタリトテ俄カニ預金ノ利率ヲ減シテ預金貸金利率ノ鞘ヲ保ツコト能ハサルカ如ク又資金ノ需要ヲ増シタリトテ利率ヲ高メテ預

金ヲ吸收スルコト能ハサルナリ故ニ銀行カ資金ヲ得ルノ點ニ於テハ

一、借入金ヲ爲スコト能ハス

二、銀行ノ適宜ニ預金ヲ増減スルコト能ハス

約言スレハ資金ノ上ニ就キテハ我日本ニ於ケル銀行ノ如ク金融ノ狀態ニ從ヒ伸縮自在ナルヲ得サルナリ

而シテ「パーク」銀行カ資本金勘定六百六十萬弗ニ對シテ十一倍餘ニ相當スル巨額ノ預金ヲ有スルニ至テハ實ニ盛ナリト評スルノ外ナシ而カモ米國預金ニツキテハ稍我國ト事情ヲ異ニスルモノアルヲ忘ル可カラス請フ之ヲ説カン

例之ハ東京ニ於テ資金ノ需要増加セル場合ニ同盟銀行ニ於ケル預金貸金ノ趨勢ヲ觀レハ

一、貸金總額増加シ

二、預金總額減退シ

三、手許有金減少ス

ルヲ常態トス即チ顧客ハ自己ノ預金ヲ引出シ尙足ラサル場合ニ銀行ニツキテ借



入金ヲ爲スナリ故ニ銀行ハ預金ノ引出ト新規ノ貸金トニヨリテ手許現金ヲ減セサルヲ得サルナリ之ニ反シ金融緩慢トナリ資金ノ需要減退スルトキハ

一、貸金減少シ

二、預金増加シ

三、現在金増加ス

何トナレハ餘裕ヲ生シタル顧客ハ先ツ銀行ノ借金ヲ返済シ尙剩餘アルトキハ預金トシテ預ケ入ル、ヲ以テ銀行ノ手許現金ハ勢増加セサルヲ得サルナリ以上ハ日本ニ於ケル現今ノ状態ナリ

然ルニ當國ニ於ケル金融界ノ状態並ニ商業銀行カ有スル預金ノ性質大ニ日本ト異ルモノアリ從テ金融ノ繁閑ニヨリ銀行貸金預金ノ上ニ生スル顯象亦頗ル其趣ヲ異ニセリ

抑モ當國商業銀行カ顧客ニ對シテ割引貸出ヲナシ無手数料ノ取立ヲ爲シ爲替ヲ取組ム等種々ノ便宜ヲ與フル唯一ノ標準ハ其顧客カ有スル當座預金ノ平常殘高ニアルコト今更云フ迄モナキコトナリ米國商業銀行カ其顧客ニ與フル信用ノ程

度ハ大概平均預金殘高ノ四倍乃至五倍ヲ常トス故ニ一萬弗ノ融通ヲ得ント欲スレハ平素少クトモ二千五百弗ノ殘高ヲ存シ置カサル可ラス故ニ今二千五百弗ノ預金殘高ヲ有スル銀行ノ顧客カ商用ノ爲メ一萬弗ヲ要スルトスレハ日本ニ於ケルカ如ク先ツ二千五百弗ノ預金ヲ引出シ而シテ殘リ七千五百弗ヲ借入ル、ニアラスシテ別ニ一萬弗ヲ借入レ直ニ之ヲ預金ニ振替エ而シテ必要ニ應シテ小切手ヲ振出スナリ而シテ二千五百弗ノ當座預金ハ何時迄モ手ヲ付ケスシテ其儘ニ殘シ置カンコトヲ計ルナリ是他日銀行ニ對シテ融通ヲ請フ時ニ必要ナレハナリ銀行貸付係カ顧客ヨリ割引貸付ノ申込ヲ受ケタル時ハ其要領ヲ貸付割引申込帳ニ記入シ且ツ前五箇月間ノ當座預金平均殘高ヲ記載シテ之ヲ割引委員ニ提出スルナリ割引委員ハ此平均殘高ヲ重ナル標準トシテ諾否ヲ決スルナリ故ニ當國ノ商人ハ實際差當リ用途ノ定マレル資金ノミヲ銀行ヨリ借入ル、ニアラスシテ當座預金ニ殘高ヲ殘シ置カンカ爲メニ目下不用ノ資金ヲモ借入ル、コト、ナルナリ日本ニテハ貸金ノ得意ト預金ノ得意ト全ク別種ナルヲ常トス平素多額ノ預金ヲ殘シ置カサルモ多クノ有價證券ヲ所有シ時々銀行ニ驅ツケテ借入金ヲ爲シ期



日ニ至リテ遲滯ナク返金スルモノ是銀行ニ取リテハ大切ノ好得意ナリ又嘗テ銀行ニ對シテ融通ヲ求ムルコトナク常ニ多額ノ預ケ金ヲ爲シ居ルモノ即チ小口當座預金主ノ如キモ亦銀行ニ取リテハ大切ノ好得意ナリ尙一例ヲ舉クレハ當座貸越得意先ノ如キハ常ニ借方殘高ヲ有シ之ニ對シテ擔保品ヲ差入レ年四度ニ利息ヲ仕拂フモノ銀行ニ取リテハ好得意タルナリ當國ニテ所謂得意先トハ常ニ預金殘高ヲ有スルモノ、謂ニシテ假令銀行ニ對シ巨額ノ借金アリトモ夫ハ夫トシテ別ニ之ト同時ニ預金ノ殘高ヲ有スルモノニアラサレハ之ヲ得意先トハ稱セサルナリ小役日本ニアル頃米國銀行ハ當座殘高ヲ以テ得意先ノ信用ヲ判斷スル唯一ノ標準トスル由ヲ聞キ竊カニ疑團ヲ氷解セサルモノアリシナリ何トナレハ假令預金ヲ有セサルニモセヨ常ニ銀行ヨリ借入金ヲナスモノハ銀行ノ好得意先タルヲ失ハス而カモ其預金殘高ニヨリテ其信用ヲ判斷セントスレハ甚シキ誤謬ニ陥ラスンハアル可カラスト然ルニ當國ニ來リ實地ヲ見ルニ及ヒ漸ク疑團ノ氷解セルヲ覺ユ當國ニテハ商人モ銀行モ共ニ當座殘高ニ重キヲ置クカ故ニ前述ノ如ク差當リ用途ナキ資金迄モ借入レテ預金殘高ヲ成ベク多額ニ保タンコトヲ力ムル

ナリ是當國銀行ガ巨額ノ預金ヲ吸收シ得ル所以ナリ而シテ金融界ノ繁閑ニ伴ヒ預金貸金ノ消長其趨勢ヲ一ニシ貸金増加スレハ預金モ亦從テ膨脹スルヲ常態ナリトス他ノ理由ハ總テ貸金ヲ當座勘定ニ振替フルコトナリ是ハ日本ニテモ追々實行セラレ殊ニ或銀行ニテハ貸金ヲ現金ニテ渡サス必ス一旦當座ニ振替シメ小切手ヲ以テ引出サシムルコトニ努メ居レトモ其ハ實際形式ニ止マリ單ニ手數ヲ増スノミニテ其結果ハ毫モ現金ニテ拂渡スト異ラサルコトアリ此ノ規則ヲ厲行スルノ結果得意先ハ已ムヲ得ス一時貸金又ハ割引ヲ預金ニ振込ムト雖モ銀行ノ門口ヲ出ルト共ニ同額ノ小切手ヲ振出シテ取付ケ又ハ他銀行ニ振込ムカ故ニ銀行ニ取リテハ傳票ヲ用ヒ帳簿ヲ汚シ手數ヲ掛ケタル報酬トシテ僅カニ預金貸金利息ノ鞘一日分丈ケヲ得ルニ止マルコト往々ニシテ之レアリ然ルニ當米國ニテハ流石ニ信用ノ發達著大ナルモノアリ小切手ノ流通滑カニシテ裏書サヘアレハ夫レカラ夫レヘト手ヲ換ヘテ轉リ渡リ行クコト恰モ紙幣ニ異ナラス故ニ一旦振出シタル小切手ハ即日若シクハ一兩日內ニ取付ケラル、コト稀ナリ尙此ニ特ニ注意スヘキ點ハ小切手呈示期間ノ制限ナキコトナリ其利害ニツキテハ俄カニ之



ヲ論斷スルコト能ハサレトモ兎ニ角法律上ニ呈示期間ノ制限ナキコトハ小切手ノ流通範圍ヲ廣クスルコト勿論ニシテ一地方ヨリ他地方ニ迄轉々流通スル様實ニ驚ク可キモノアリ紐育第四國立銀行副頭取カノン氏ハ其著書『交換所』中ニ地方小切手ノ流通スル實例ヲ示セリ日本杯ニハ決シテアリ得可カラサルコトナルヲ以テ煩ヲ厭ハス左ニ之ヲ示サン

一 小切手金額四十三弗五十六仙

一 振出地及宛先銀行所在地

紐育州「サグハーバー市」ビオニー銀行宛 1 13

一 轉々シタル箇所

紐育州「ホボケン」第二國立銀行 2

紐育市「ハーヴェー」フヒスク銀行 3

「ポストン」市「グロー」國立銀行 4

紐育州「オルバニー」市「エキステンデ」銀行 6

紐育州「トナリ」市「第一國立銀行」 5

- 紐育州「ポート」ジェワアソン「第一國立銀行」 7
- 紐育州「フア」ロツク「アウエー」銀行 8
- 紐育市「チエース」國立銀行 9
- 紐育州「リヴ」アーヘット「市」リヴ銀行 10
- 「ブル」リク「リン」市「クヒンスカウ」ン「テ」銀行 11
- 「サグ」ハー「ポー」市「ビオニー」銀行 12

(圖略)

右ハ手形ガ取立銀行ノ不注意ニヨリ順路ヲハツシテ諸所ヲサマヨヒタルコトヲ示セル一例ニシテ其振出ノ日付及最後取付ノ日付ヲ示サ、ルヲ以テ果シテ何日間轉々セルカヲ知ルコト能ハサルヲ憾トスレトモ兎ニ角當國小切手カ呈示期間ノ制限ナクシテ一地方ヨリ他地方ヘ轉々流通スル有様ヲ見ルニ足ル可シ

如上ノ理由アルカ故ニ當國商業銀行ノ預金ナルモノハ必スシモ現金ヲ以テ預ケ入レタル預金ノミニアラスシテ貸金ヨリ振替リタルモノ語ヲ換ヘテ云ヘハ帳簿上ノ預金ナルモノ極メテ多額ナルナリ而シテ其原因ヲ攻究スレハ畢竟信用ノ發



達ニ歸セサル可カラサルナリ

前報告ニモ云ヘル如ク米國ニ於ケル商取引ノ九割五分ハ信用證券ノ作用ニヨリテ決濟セラレ僅カニ殘餘ノ五歩内外カ現金ヲ要スルニ過キス是東西大ニ事情ヲ異ニスル點ニシテ我日本モ早晚カ、ル程度ニ發達スルノ時アル可キヲ希望シテ止マサルナリ

第二、同業者預金ノ巨額ナルコト

我國ニ於テハ日本銀行ヲ除キ一般ノ商業銀行ニシテ同業者即チ銀行業者ノ預金ヲ有スルコト極メテ稀ニシテ殆ント云フニ足ラサルナリ而シテ稀ニ之レアルモ其ハ種々ノ事情ノ爲メニ餘儀ナク預カルモノニシテ被預銀行カ進テ之ヲ吸收セシコトヲ希望スルニアラサルナリ何トナレハ同業者ハ營業締切ノ數分前ニ金庫現在金ヲ取集メテ銀行ニ持參シテ預ケ入レ翌朝ニ至レハ直接之ヲ取付ツクルカ又ハ交換所ニ小切手ヲ廻ハシテ取付クルガ故ニ被預銀行ハ少シモ其預金ヲ頼トシ之ヲ利用スルコト能ハスシテ徒ラニ手數ヲ要シ其上動モスレハ日歩ヲ掠メラル、コトアリ故ニ同業者ノ預金ハ多クノ場合ニ被預銀行ニ取リテハ骨折損ノ勞

儲ニ終ルコトアリ是レ日本ニ於ケル大銀行ニ同業者ノ預ケ金少ナキ所以ナルヘシ

總テ當國ノ有様ヲ見ルニ甚タシク事情ヲ異ニスルモノアリ前顯ノ如ク「パーク」銀行ニ於テハ預金總額七千五百萬弗ノ内四千萬弗即チ五割六分以上ハ同業者ノ預金ナリ而シテ去ル千八百九十七年以後ノ同行ニ於ケル普通及同業者預金ノ趨勢ヲ見ルニ同業者ノ預金進歩ノ度ハ普通預金ニ比シテ一層著シキモノナリ

千八百九十七年 十二月一日	千八百九十八年	千八百九十九年	千九百年	千九百〇一年	千九百〇二年
個 人	二四、七九九	三六、八四一	三〇、〇八〇	三三、四二七	三〇、二一五
同業者	二〇、三二九	二五、八〇三	二〇、三二六	二七、七〇三	四〇、九五九
以上ノ統計ニヨリテ見レハ千八百九十七年ヨリ千九百一年ニ至ル迄ハ常ニ個人預金ノ方同業者預金ニ超過シ居レトモ千九百一年十二月ニ至リ個人預金三千三百萬弗ニ對シ同業者預金ハ四千萬弗ニ上レリ昨年十二月ニハ個人預金三千萬弗ニ對シ同業者預金三千九百萬弗トナレリ想フニ之レ必スシモ「パーク」銀行ノミニ限ラレタル顯象ニアラサルナリ合衆國大藏省通貨局ノ報告ニヨルニ千九百一年					



九月末ハ現在當國々立銀行四千二百二十一行ノ預金ヲ個人及同業者ニ區別スレハ左ノ如シ

一 國立銀行ヨリノ預金	六三八、三六一
一 州立及普通銀行同	二九三、二七五
一 信託會社及貯蓄銀行同	二二〇、三八一
合 計	一、二八五、二八三
一個 人 預 金	二、九三七、七五三
總 計	四、一三三、〇三六

總計四十一億二千三百萬弗ノ總預金中二割八分以上ハ同業者ノ預ケ入レニカ、ルモノナリ而シテ地方銀行ハ多額ノ個人預金ヲ有シ預金準備積立市ノ銀行ハ稍多額ノ同業者預金ヲ有シ大準備積立市(紐育、シカゴ、セントルイス)ノ銀行ハ一層多額ノ同業者預金ヲ有スルヲ原則トス

今何故ニ斯ク多額ノ同業者預ケ金ヲ有スルカニ付キ少ク説明ヲ試ムヘシ

當國々立銀行殊ニ大都市ノ銀行ニ同業者預金多キ理由ヲ列擧スレハ左ノ如シ

イ、中央銀行ナキコト

ロ、國立州立銀行、信託會社、預金準備ニ關スル法律

ハ、預金利率

ニ、爲替ノ仕拂基金

ホ、預金殘高ニヨリ銀行力與フル便利ノ度ヲ異ニスルコト

イ、中央銀行ナキコト

當國ハ其建國ノ由來ニ於テ其憲法ノ組織ニ於テ英、獨、佛、日等諸國ト全然趣ヲ異ニスルモノアリ四十有餘ノ州各別々立法行政機關ヲ有シ之ニヨリテ百般ノ施設ヲ實行スルカ故ニ各州ノ聯絡他國ニ於ケルカ如ク密接ナラス大體ニ於テハ中央政府ノ統治ノ下ニアルコト勿論ナレトモ尙且ツ各州ノ自治ニ委カサレタルコト極メテ多シ從テ英、獨、佛、日諸國ノ如ク一ノ中央銀行ヲ設ケ之ヲシテ全國金融ノ樞機ヲ司ラシムルコト蓋シ國體ノ許サ、ルモノアルナリ而シテ中央銀行ノ設ケナキ結果ハ勢ヒ紐育、シカゴ)ノ如キ金融ノ中心ニアル大銀行ヲシテ中央銀行ノ職務ヲモ兼子シムルノ已ムヲ得サルニ至レリ例之日本ニテハ日本銀行ハ全國金利ノ



標準ニシテ市場ニ資金充溢スレハ日本銀行ノ庫中ニ流入シテ兌換券ヲ支縮シ又資金ノ需要増加スレハ各銀行ノ貸金ヲ増加シ各銀行ハ日本銀行ニ就キテ資金ヲ借入ル、ヲ以テ兌換券ハ自ラ膨脹セサルヘカラス譬ヘハ日本銀行ハ溜池ノ如シ雨降レハ其水増加シ旱ナレハ其水乾ル而シテ當國ニテハ此ノ中央銀行ノ職務ハ如何ナル機關ニヨリテ執行セラル、カト云フニ大都市ニ於ケル幾多ノ大銀行即チ之カ任ニ當リ市場ノ繁閑ニヨリテ繰繰急宜シキヲ得サルヘカラス故ニ當國大都市ノ大銀行カ常ニ多額ノ同業者預金ヲ庫中ニ包藏スルハ猶日本ニ於テ日本銀行カ地方並ニ東京ニ於ケル各銀行ノ預ケ金ヲ有スルト其理由ヲ一ニスルナリ唯其異ナル所ハ日本銀行ハ總テ無利息ニシテ當國々立銀行預金ハ有利息ナルコトナリ是レ日本ニテハ日本銀行此ノ特權ヲ獨占スレトモ當國ニテハ幾多ノ大銀行アリ互ニ香餌ヲ懸ケテ地方銀行業者ノ預金ヲ招キツ、アルカ故ナリ

ロ、國立、州立銀行及信託會社預金準備ニ關スル法律

此ノ問題ニ就キテハ前回派遣員ノ報告其詳細ヲ盡セリ今便宜ノ爲メニ左ニ之ヲ引照シテ説明ニ代ユヘシ

米國々立銀行ハ各其預金ニ對スル法定準備積立金ノ割合ニヨリ大別シテ三トナス

種類	地名	法定準備金割合	準備金中他銀行ニ預ケ入レ得ル割合
一、中央準備市銀行	紐約、シカゴ、セントルイス	二割五分	全部自行ニ有スルコトヲ要ス
二、準備市銀行	「オルバニー」外二十市	同	半額ヲ中央準備市銀行ニ預入ル、コトヲ得
三、地方銀行 其他		一割五分	五分ノ三ヲ準備市銀行ニ預入ル、コトヲ得

地方銀行ハ預金ニ對シ一割五分乃至二割五分ノ準備金ヲ有セサルヘカラス若シ是等ノ銀行ニシテ法定ノ割合ヲ保タサルトキハ大藏省通貨局長ハ直チニ其割合ヲ増加スルコトヲ命スヘシ而シテ該命令到達後三十日ヲ經テ尙増加セサルトキハ通貨局長ハ大藏卿ノ承諾ヲ得テ其營業ノ停止ヲ命スルコトヲ得ルノ規定ナリ而シテ地方銀行ハ其準備金ヲ自行ノ庫中ニ包藏シ置キテハ何等ノ利益ヲモ生セサルヲ以テ必ス地方銀行ハ準備積立市銀行ニ準備積立市銀行ハ中央準備積立市銀行ニ法律ノ許ス最多額ヲ預ケ入レテ幾分ノ利子ヲ得ンコトヲ計ルナリ而シテ法定ノ準備金ノ一部ヲ他銀行ニ預ケ入レントスルトキハ先ツ通貨局長ニ對シ何市



何銀行ヲ以テ自行預金準備金預入レ銀行ト定メシト申請シ其許可ヲ得サル可カラサルナリ元來預金ニ對スル準備金ノ制度ヲ制定セル主旨ハ公衆ノ預金ヲ保護スルニアルコト勿論ナルヲ以テ其全部ヲ各行ノ庫中ニ藏シ置キ一朝事アルニ及ヒ一呼直チニ之ニ應セシムルコト必要ナル可キニ特ニ其便利ヲ計リ他行ニ預ケ入ル、コトヲ許スモノナルカ故ニ一々大藏省ノ承認ヲ受ケサル可カラストセルハ蓋シ當ヲ得タル處置ナルヘシ

ハ、預金利率

「パーク」銀行ニ於ケル昨年十二月末ノ箇人及ヒ銀行預金利率ヲ對比スルニ左ノ如シ

預金額	内利息付	利率	總額ニ對スル利付預金ノ割合	總額ニ對スル利率
個人	三三、六五七	八、〇一五	二五	五二七
銀行	三五、八三一	三、〇一五	八五	一、七二三
合計	六八、四八八	三、八一〇	五五	一、一五三

總預金六千八百萬弗ノ五割五分ハ利付ニシテ四割五分ハ無利息ナリ而シテ個人

預金三千二百萬弗ノ内利付ハ僅カニ二割五分ニ過キサレモ銀行預金ハ其全額ノ八割五分ニ對シテ利息ヲ仕拂ヒツ、アルナリ

備考 右表ハ元帳方次席ニ於テ調製シ時々重役ノ參考ニ資スル秘密ノ書類ニシテ行員ト雖モ之ヲ見ルコトヲ許サス小役ハ幸ニシテ元帳方次席ノ默許ヲ得テ寫シ取リタルナリ

以上ノ數字ノ示スカ如ク市内預金總額ニ對シテハ僅カニ平均五厘二毛餘ノ利息ヲ仕拂フニ過キサレトモ銀行預金ニ對シテハ平均一分七厘餘ヲ仕拂ヒツ、アルナリ以テ紐育市國立銀行カ同業者ノ預金ニ對スル態度ヲ知ルコトヲ得ヘシ

ニ、爲替仕拂基金

地方銀行カ紐育市銀行ニ預ケ金ヲ有スルハ一ハ前陳ノ如ク預金準備金ヲ有利ニ保タンカ爲メナレトモ一ハ爲替仕拂ノ基金ヲ金融ノ中心ナル紐育市ニ置カンカ爲メナリ故ニ單ニ預金ト稱スレトモ其一半ハ日本ニ於ケル銀行間爲替勘定ノ預リト同質ノモノナリ當國ニテハ日本ニ於ケルカ如ク爲替仕向ケ又ハ被仕向勘定ナルモノヲ有セス勿論紐育市銀行カ取立手形ヲ地方取引先銀行ニ送付シ其ノ取



立テタル金額ヲ一時取立テ銀行ニテ預リタル場合ニハ之レヲ「コレクシヨン」アツカウント即チ取立勘定ト稱スルコトアレトモ地方銀行カ紐育市銀行ト取引ヲ開クニハ普通ノ市内ノ商家ト一樣ニ若干ノ預金ヲ爲シ常ニ預ケ殘高ヲ有セサルヘカラス否ナ實際ニ於テ殘高ヲ保チツ、アルナリ而シテ紐育銀行カ是等地方銀行ヲ遇スルノ方法及其記帳ノ方法亦毫モ市内得意先ト異ナル所ナキナリ故ニ地方銀行カ紐育市ニ送金スルトキハ取引銀行宛ノ小切手ヲ振出シ來ルコト勿論ニシテ又紐育市銀行カ地方銀行ニ送金セントスルトキハ其金額ヲ直チニ同行ノ當座勘定ニ繰入レ其貸方ニ記帳シ而シテ同行宛小切手ヲ振出スナリ而シテ日本ニ於ケル爲替ノ契約ノ如ク貸越極度ヲ若干ト定メ置キ其範圍ニ於テ送金手形ヲ振出スコトヲ得ルノ仕組ニアラサルヲ以テ地方銀行ハ常ニ油斷ナク中央市場ナル紐育ノ取引銀行ニ預金ヲ存セサルヘカラス否ラサレハ得意先ヨリ送金ノ依頼ヲ受ケタルトキ紐育ニ仕拂基金ナキ爲メ送金スルコトヲ得サルノ結果トナレハナリ時トシテハ地方銀行ノ都合ニヨリ一時預金以外ニ引出スコトヲ承諾スルコトアリ「パーク」銀行ニテハ本年一月十五日現在ニテ

一 國立銀行貸越 五〇、五七八  
 一 州立私立銀行等 五一、五七五  
 合 計 五六六、一五三

合計五十六萬六千弗餘ノ對地方銀行貸越アリ是ハ一時ノ便宜ニヨリ取引先ノ請求ニヨリ貸越ヲナシタルモノニシテ素ヨリ常態ヲ以テ目ス可カラス故ニ都合ツキ次第入金セシムルコト勿論ナリ而シテ此貸越額ハ銀行ニ對スル總預金一分餘ニ相當スル小額ニ過キササルナリ  
 紐育ニ對スル當國各地爲替打歩ノ有様ヲ見ルニ左ノ如シ

一「シカゴ」	増歩	一五
一「シンシナツテ」	同	一五
一「セントルイス」	同	四〇
一「サンフランシスコ」	同	一〇
一「バルチモア」	ナシ	
一「ルイズヅヒル」	ナシ	



「ニューオレアンズ」	割引	一〇〇 <small>仙</small>	一二八
「サヴァナ」	増歩	一六	
「ミルウオーキ」	同	二五	
「トレド」	同	四〇	
「カンサス」	同	一五	
「パツファル」	ナシ		
「ポストン」	ナシ		

備考 本月十七日南方「フロリダ」「ニューオレアンズ」ヲ除キ他ハ多クハ増歩ナリ換言スレハ紐育渡ノ手形ハ全國ニ於テ十仙乃至四十仙高ニ賣却スルコトヲ得ルナリ故ニ地方銀行カ成ヘク紐育ニ資金ヲ預ケ入レント計ルハ當然ノ事ト云フヘシ

ホ、預金殘高ニヨリ銀行カ與フル便利ノ度ヲ異ニス

上來屢々説明シタルカ如ク預金平均殘高ノ高低ハ銀行カ得意先ニ對シ便宜ヲ與フル唯一ノ標準ナルヲ以テ平素一弗ニテモ多クノ殘高ヲ有シ居レハ何時カ必要

ニ應シ銀行ニ對シテ便宜ヲ請求スルニ當リ極メテ有利ナリ余ハ平素何萬弗ノ殘高ヲ有シ居ルカ故ニカクカクノ手形ヲ割引セヨトカ不得已一時何萬弗ノ過振ヲ許セトカアラユル便宜ヲ請求スルニ都合宜シキナリ是ヲ以テ地方銀行ハ紐育渡手形類ハ申スニ及ハス地方手形ニテモ凡テ之ヲ預金トシテ紐育銀行ニ振込ミ平素一文ニテモ多額ノ預金ヲ保タント計ルナリ而シテ預金ノ利息ハ精々二歩カ二歩五厘ヲ過キササルヲ以テ其高低ハ左程ニ預ケ主ニ痛痒ヲ感セシムルコトナシ夫レヨリモ種々ノ方面ニ於テ中央市場銀行ヲ利用スル方利益ナルヲ以テ努メテ多額ノ預金ヲ殘シ置カレントスルハ素ヨリ其所ナリト云フヘシ日本ニ於ケル爲替取引銀行カ少シニテモ預ケ勘定トナルドキハ先金利ヲ打算シテ殊更ニ手形ヲ振出シ之ヲ引上ケテ他ニ廻サントスルニ比スレハ其差管ニ霄壤ノミニアラサルナリ以上ハ紐育市銀行ニ地方銀行預金多キ第四ノ理由ナリ

資産ノ部ニ於テハ

第一、公債株券類ヲ有スルコト少キコト

當國々立銀行條例ニ國立銀行カ公債株券ヲ所有シ又ハ賣買スルコトヲ許シタル



規定ナシ而シテ營業種目ノ中ニ之ヲ省キタルノ主意ハ即チ之ヲ許サ、ルニアルナルヘシト雖モ而カモ又絶體ニ之ヲ禁シタルノ條文アラサルナリ殊ニ政府發行公債ニ至テハ公然之ヲ所有スルコトヲ得ルコト勿論ナリ何トナレハ紙幣發行及政府預金ノ擔保トシテ國立銀行ハ政府ニ公債ヲ預ケ入レサル可カラサレハナリ現ニパーク銀行カ所有スル公債三百三十萬弗ノ内二百萬弗ハ紙幣發行準備殘餘ハ政府預金ノ擔保トシテ大藏省ニ預ケ入レタルモノナリ此以外ニハ僅カニ二十萬弗ノ債券株券ヲ有スルニ過キス翻テ日本ノ諸銀行ヲ見ルニ何レモ多少ニ拘ラス有價證券ヲ有セサルハナク其原因ハ種々アルヘク中ニハ事情已ムヲ得サルニ出テタルモノモアルヘケレトモ兎ニ角金融機關トシテ殊ニ純粹ナル商業銀行トシテ斯クノ如ク有價證券ニ資金ヲ固定セシメ居ルコト實ニ變態ナリト評スルノ外ナシ數年前日本ニ於テ國立銀行ノ存在セル頃其條例ノ明文ニヨリテ有價證券ヲ所有スルコトヲ禁セルニモ拘ハラズ全國ノ國立銀行カ法網ヲク、リ貸付金ノ形式ニヨリテ巨額ノ有價證券ヲ所有シ居タルハ普ク人ノ知ル所ナリ然レトモ當國々立銀行ニテハ實際前記ノ如ク政府預金擔保及發行紙幣擔保ノ爲メ政府發行

公債ヲ公然所有シ居ルノ外極メテ僅少ノ有價證券ヲ所有シ居ルニ過キサレナリ而シテ日本ニ在リテハ銀行カ有價證券ヲ所有スルハ或程度迄自衛ノ爲メト云フコトヲ得ヘシ何トナレハ一朝金融ノ必迫ニ際シテ預金ハ減少シ貸金ノ請求重リ來ル時ハ此ノ有價證券ヲ日本銀行ニ持參シ之ヲ擔保トシテ資金ノ融通ヲ請フコトヲ得ヘシ又金融緩漫トナリテ貸金ハ回收セラレ預金ハ増加スルトキニ當タリ有利ナル放資ノ途ヲ見出シ難キ場合ニ有價證券ヲ買入ル、ハ強ヒテ低利ノ貸金ヲ獎勵スルニ勝ルコトアリ故ニ日本ニテハ有價證券ヲ所持スルコト資金操縦ノ一方便タルヲ免カレサルナリ但シ右ハ何レニ行キテモ擔保トシテ差支ナキ第一流ノ有價證券ヲ指スモノニテ必要ノ場合ニ擔保トナラサル第二流、第三流ノ株券ニ至リテハコ、ニ論スルヲ要セサルナリ當國ニ於テハ金融必迫ノ際國立銀行カ就テ救助ヲ請フヘキ中央銀行アラサルヲ以テ平素有價證券ヲ所有シ居リテモ之ヲ市場ニ放賣スルニアラサルヨリハ由テ以テ資金ヲ得ルノ途ナシ而シテ金融必迫ノ際ニ株式ノ價格急轉直下シテ有利ニ賣却シ得サルハ當然ナルヲ以テカ、ル場合ニ備ヘンカ爲メ當時有價證券ヲ所有スルハ當國々立銀行ノ敢テセサル所ナ



リ而シテ平常ノ場合ニ於テモ預金準備トシテ巨額ノ現在金ヲ庫中ニ包藏スルカ故ニ有價證券ニ放資スルコト能ハサルナリ此點ニ就テハ現在金ノ項ニ於テ更ニ述フル處アル可シ

## 第二、取立勘定及送金爲替ニ關スル事

### イ、取立勘定ノ事

「パーク」銀行ハ全國ヲ通シテ百六十餘ノ取引先銀行ニ對シ取立勘定ナルモノヲ開キ居ルナリ是等ハ何レモ「パーク」銀行ニ當座勘定ヲ開キ居ル銀行ナルガ「パーク」ハ是等銀行ニ「コレクシヨン、アツカウント」ナルモノヲ開キ居ルナリ而シテ受取係又ハ手形係等ニテ得意先ヨリ入金トシテ地方手形ヲ受取リタル時ハ之レヲ現金手形(Cash check)ト稱シ現金同様其日ヨリ得意先元帳ノ貸方ニ記入シ現金手形係ニ於テ地方別ニ仕譯明細表ヲ添ヘ取立ノ爲メ地方銀行ヘ送付スルナリ而シテ其日ヨリ預主當座勘定ノ貸方ニ立ツルカ故ニ送付先ナル銀行ニ對シテハ其ノ借方ニ立テサル可カラス而シテ其借方ニ立ツルニハ地方銀行ガ「パーク」ニ有スル普通勘定ニ記入セスシテ別ニ取立勘定ナルモノヲ設ケ以テ之ヲ整理スルナリ而シテ地方

銀行ハ取立手形ヲ受取リ夫々之ヲ取立テタル上「パーク」銀行當座勘定ノ入金トナシ或ハ一週間ニ一回或ハ十日間ニ一回ツ、「パーク」銀行若クハ其他ノ紐育銀行渡小切手ヲ以テ送金シ來ルナリ而シテ「パーク」銀行カ地方銀行ニ預金ヲ有スルハ此取立勘定ノミニシテ若シ「パーク」銀行カ此預金ニ對シ小切手ヲ振出スコトヲ得タランニハ紐育ヨリ地方ヘ送金ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ之ヲ利用スルコトヲ得ルナル可シト雖モ此ノ取立勘定ニ關シテハ相互間ニ契約アリテ一切「パーク」銀行ハ小切手ヲ振出スコトヲ得ス地方銀行ヨリ送金スルヲ待タサル可カラサルナリ而シテ「パーク」銀行ノ有スル此種ノ預金ハ平生四五百萬弗ノ間ニアリ一方ニ於テハ即日預金トシテ受ケ入レ他方ニ於テハ一週間又ハ十日間待タサレハ入金トナルコト能ハス「パーク」銀行ハ其間ノ利子ヲ失ハサル可カラス加之且爲替ノ出合ニテ紐育ニ送金ヲ希望セサル地方銀行ハ此種ノ取立ニ對シテ手数料ヲ徵スルコトアリ紐育銀行ハカ、ル損失ト手數トヲ忍ヒテ地方手形ヲ取扱フ所以ノモノハ直接之レニ由リテ利益ヲ得ンカ爲メニアラスシテ一ニ得意先ニ對シ出來得ヘキ丈ケノ便利ヲ與ヘントスルニアルコト言フ須キサルナリ



ロ、送金爲替ノ事

送金爲替ノ種類ヲ其性質ニヨリテ區別スレハ商事、非商事ノ二ト爲スコトヲ得ヘシ而シテ當國各種金融機關ノ中全ク商取引ノミヲ取扱フモノアリ普通ノ送金ノミヲ取扱フモノアリ

- 一 非商事信託會社 郵便局 通運會社
- 一 商事銀行 信託會社

銀行及信託會社ハ時トシテ非商事ノ爲替機關トナルコトアレトモ其内國立銀行即チ商業銀行ニ至リテハ全ク商事ニ關スル爲替機關トナルノミニシテ日本ニ於ケル銀行ノ如ク學生ノ學資金若クハ細民ノ零碎ナル送金迄モ之ヲ取扱フカ如キコトナシ語ヲ換ヘテ云ヘハ商業銀行ニ爲替ヲ依頼シ又ハ之ニヨリテ爲替ヲ取組ムモノハ世間公衆ニアラスシテ其銀行ニ取引ヲ有スル得意先若クハ行員ノ昵懇ナル人々等ニ限ラレタリ故ニ銀行カ送金ヲ仕拂フニモ將タ之ヲ取組ムニモ必ス先ツ裏書ノ眞僞受取人若クハ依頼人ノ正當ナルコトヲ確カメ得タル後ナラテハ取扱ヲ爲サ、ルナリ

當國ニ於ケル送金ハ凡テ小切手ノ作用ニヨリテ行ハル、モノナルコト前回派遣員ノ報告ニモ將又本報告ニモ屢々之ヲ述ヘタリ今送金爲替ヲ(ア)地方ヨリ紐育若シクハ其他ノ大都市へ及(イ)大都市ヨリ地方へノ二ニ區別シテ其運用ノ方法ヲ概説スヘシ

(ア) 地方ヨリ都市へ送金スル方法

ニ左ノ三種アリ

- 一、紐育又ハ大都市ノ銀行ニ豫テ取引ヲ有シ其預金ニ對シテ小切手ヲ振出スコト

二、紐育又ハ他ノ大都市ノ銀行ニ取引アル地方銀行ヨリ都市渡リノ小切手ヲ

買ヒ入レ送金スルコト

- 三、自己ノ取引アル地方銀行宛ノ小切手ヲ以テ送金スルコト

以上ノ内第一第二ハ普通ノ方法ニシテ茲ニ説明ヲ要セサレトモ第三ノ方法ニ至リテハ日本ニ其類ヲ見サル方法ナルヲ以テ少ク述フル所アルヘシ

紐育市内ノ銀行ニ取引ヲ有セサル地方銀行ハ殆ントアラサルヘシ中ニハ紐育市



中ニ三四ノ取引銀行ヲ有スルモノアリ而シテ是等地方銀行ハ豫メ紐育取引銀行ト文書ノ往復ヲ以テ何々商店若クハ何々會社カ自行宛ニテ振出シタル小切手カ紐育交換所ヲ經テ廻付サレタルトキハ自行預金ノ内ヨリ仕拂ヲ爲サレタシトテ其振出人ノ筆蹟ヲ紐育銀行ニ送付シ置クナリ「パーク」銀行ニテハ此種ノ小切手ヲ (Receipt)ト稱ス其意味ハ他ノ「パーク」銀行宛ノ小切手ト異リ一旦仕拂ヒタル上ハ即日明細表ヲ添ヘテ宛名銀行ニ返送セサル可カラスト云フニアリ此ノ返却小切手ノ形式ニモ種々アリ振出人甲カ其取引銀行乙宛ノ小切手ヲ先ツ其銀行ニ持參シ銀行ヲシテ紐育市丙銀行ニ於テ仕拂ハルヘシト記入セシムルモノアリ之ハ日本ニ行「ハル」、送金手形代用仕拂保證小切手ト其仕組ヲ同フス其記載ノ文言ハ

"Payable, if desired,  
at the  
National Park Bank,  
New York City."

ト朱印ヲ捺スコトアリ同時ニ手形面ニ "Not over ten thousand dollars."ト極度ヲ記載スルヲ常トス又振出人甲ノ振出シタル小切手ノ宛先カニ又ハ三銀行ナルコトアリ例之ハ小切手ノ右ノ下方ニ(通常宛名)ハ右ノ下方ニ記ス)

"To National Park Bank,  
New York City,  
or Metropolitan National Bank,  
Chicago, Ill.,  
or Farmers & Merchants Bank,  
Atica, Ind."

紐育「パーク」銀行又ハ「シカゴ」メトロポリタン銀行又ハ「アチカ、フアーマース」銀行ト云フカ如ク三銀行ニ宛テタルナリ而シテ振出人甲ハ此三行中單ニ「アチカ」ノ銀行ニ取引ヲ有スルノミニテ「シカゴ」ニモ紐育ニモ取引ヲ有セサルナリ而シテ「アチカ」銀行ハ紐育「パーク」「シカゴ」「メトロポリタン」ノ兩銀行ニ預ケ金ヲ有ス「アチカ」銀行



ト「パーク」銀行若シクハ「メトロポリタン」銀行トノ間ニ約束アリテ振出人甲ノ小切手カ紐育又ハ「シカゴ」ニ廻リ行カハ金額何弗迄ハ「アチカ」銀行ノ預金中ヨリ引落スコトヲ得ルナリ而シテ紐育又ハ「シカゴ」銀行ハ即日仕拂濟小切手ヲ宛名銀行ナル「アチカ」銀行ニ送り其預金ヨリ仕拂ヒタルコトヲ報告スルナリ斯ク同一ノ小切手カ三箇ノ宛名銀行ヲ有シ何レノ銀行カ仕拂義務アルヤ小切手面ニテハ更ニ分明ナラス單ニ甲乙丙三銀行ノ内會々甲カ呈示ヲ受ケタリト云フノ外甲銀行ハ自己ニ仕拂ヲ依頼セラレタルモノナルコトヲ知ルノ道ナシ嚴格ナル法律上ノ解釋ニテハ甚タ不完全ナルモノ、如ク見ユレトモ當國ニテハ何人モ之ヲ恠ムモノナク日常此ノ方法ニテ送金ヲ取組ミ且ツ仕拂ヒ居ルナリ尤モ小切手ハ大方記名ナルヲ以テ萬一間違アリタルトキハ連續セル裏書ニヨリテ之ヲ正スコトヲ得ルノ道ハ備ハレリ

#### (b) 都市ヨリ地方ヘノ送金

先キニ商業銀行カ取組ム送金爲替ハ皆取引先ノ爲メニスルモノニシテ普通世間ノ依頼ヲ受ケテ取組ムモノナシト云ヘリ然レトモ是ハ其大體ヲ云ヒタルモノニシテ實際ハ當時當座勘定ヲ有セサル人ノ爲メニモ間々送金ヲ取組ムコトナキニアラス都市ヨリ地方ヘノ送金ヲ分チテ(一)當座勘定得意先(二)得意先以外ノ二トナスコトヲ得ヘシ

第一、當座勘定ヲ紐育銀行ニ有スル人即チ紐育銀行ニ對シテ小切手ヲ振出ス權能アル人ハ地方ヘノ送金ニ銀行ヲ煩スコトナシ自己振出紐育渡小切手ハ恰モ紙幣ノ如ク當國何レノ地方ニモ何等ノ差間ナク流通スルナリ而シテ送金ヲ受取ル地方ノ人モ素ヨリ取引銀行ヲ其地方ニ有スル人ナルヲ以テ自己ノ裏書ヲ以テ銀行ニ預ケ入ルレハ銀行ハ喜テ現金同様之ヲ受取ルナリ若シ日本ニ於ケルカ如ク商人カ他地方ニ送金ヲ取組マントスルトキ一々銀行ニ至リ小切手ヲ振出シ之ニ保證ヲ受クルカ又ハ銀行發行ノ爲替手形ヲ買フコト、ナラハ銀行モ商人モ非常ノ煩累ト時間トヲ徒費セサル可カラズ紐育商人若クハ銀行ハ蓋シ其煩ニ耐ヘサルヘシ

第二、紐育銀行ニ對シ小切手ヲ振出スコト能ハサル人々カ紐育銀行ニヨリテ地方ヘ送金スル方法ハ左ノ三アリ



(一) 預金手形 (Certificate of Deposit)

(二) 入金通知書 (Letter of Advice)

(三) 送金勘定 (Remittance account)

(一) 預金手形、之ハ日本ニ於ケルト同様ナリ唯異ナルトコロハ其流通範圍ノ廣狹ニアリ日本ノ預金手形ハ大概同一地方ニテ流通スルノミナルカ米國ノハ送金手形同様國中何レノ處ニモ轉々通用ス殊ニ地方ニテハ紐育銀行發行ノ預金手形ハ多少ノ打歩ヲツケテ買入ル、位ナリ從テ日本ノ預金手形ノ如ク發行後數日ナラスシテ戻リ來ルコト少ナク概シテ流通ノ期間長シ故ニ銀行ニ取リテハ大ニ利益アリ

(二) 入金通知書、甲カ紐育ニ居リテ在シカゴノ乙ニ送金セントスルトキハ「パーク銀行」ニ至リ其旨ヲ語りシカゴニ於ケル取引銀行ノ當座勘定ニ入金スルナリ「パーク銀行」ハ甲ニ對シシカゴ乙殿使用ノ爲メ同地何々銀行ニ入金セラレタル旨ノ受取書ヲ交付ス若シシカゴノ乙カ同地第一銀行ノ取引先ナルトキハ其必要ナケレトモ若シ乙カ同銀行ニ取引ナキ場合ニハ甲ハ「パーク銀行」發行ノ受取書ヲ乙ニ

郵送シ乙ハ之ヲ以テシカゴ第一銀行ヨリ金圓ヲ受取ルコトヲ得ルナリ(前回派遣員報告百九十七頁ニ送金取組人又ハ受取人カ當座勘定ヲ有スルトキノ外此ノ入金通知書ヲ利用シ得サルカ如クニ記載セルハ誤謬ナリ)

(三) 送金勘定、例之ハ平素銀行ニ取引ヲ有シ居ラサレトモ頭取其他役員昵懇ノ人ナリトカ又ハ地方ノ人ニテ時々商用アリテ紐育ニ來リ銀行ト何等カノ取引アル人トカ何レニシテモ其素性ノ分カリ居ル人カ急ニ地方ニ送金セント欲スレトモ直チニ銀行ニ來リ預金手形又ハ入金通知書ヲ買入ル事能ハサル場合ニハ先ツ手近ナル小切手ニ金額ヲ記入シ紐育銀行宛ニシテ之ヲ送金手形ニ代用シ夫々郵送スルナリ(當國商人ハ必ス小切手帳ヲ懷中ニ入レ置クナリ)而ル後紐育銀行ニ來リ今日是々ノ事情ニテ金何千弗ノ貴行宛小切手ヲ振出シタリ數日ノ後取付ケニ來ル可キヲ以テ其時ハ此金ヲ以テ仕拂ヒクレヨトテ預ケ入ル、ナリ銀行ハ之ヲ送金勘定ト稱シ仕拂保證小切手勘定ノ内ニ預リ置クナリ(小切手ノ仕拂ヲ爲セハ直チニ預金ヨリ引出シ同勘定ニ記入シ置クナリ)而シテ數日後取付ケラル、時ハ仕拂ヲ爲シ仕拂保證小切手勘定ヨリ差引クコト勿論ナリ



第三、諸貸出金並ニ取次貸ニ關スルコト

イ、諸貸出金ニ關スルコト

「パーク」銀行貸出金(二十六年一月十五日)現在ヲ細別スレハ左ノ如シ

- 一 割引手形 二〇、七五二、六六〇
- イ、得意先へ 二〇、〇六六、六六〇
- ロ、買入手形 六八六、〇〇〇
- 一 擔保附定期貸 一一、八八七、〇〇〇
- イ、得意先へ 七六六、六六〇
- ロ、得意以外へ 四、二二〇、四〇〇
- 一 擔保附當座貸 八三三、七二九、八
- イ、得意先へ 三、七九七、二九八
- ロ、得意以外へ 四、五四〇、〇〇〇
- 一 無擔保當座貸 八二一、四六三
- イ、得意先へ

一 當座勘定貸越

イ、國立銀行へ

六四一、〇六四

五〇、五七八

ロ、州立、私立銀行、信託會社へ

五一五、五七五

七四、九一一

ハ、個人得意先へ

一九七三、三〇九

總計

四五〇、五三一、九四

貸金高ハ金融界ノ狀況ニ由リ一昂一低定マリナキヲ以テ前顯ノ數字ハ「パーク」銀行ノ常態ヲ示スモノト斷定スルコト能ハサルハ勿論ナレトモ兎ニ角貸金總額ハ四千萬弗以上五千萬弗ノ間ヲ上下スルモノト見テ大差ナカルヘシ今各種貸金ノ形式及其伸縮ノ狀態ニ就キテ少シク説明ヲ試ムヘシ

(a) 貸金ノ大部分ハ當座勘定得意先ニ對スルモノナルコト  
 當國商業銀行ニ於ケル預金主ハ即チ同時ニ銀行ニ對スル借主ナルコトハ前ニ述ヘタルカ如シ而シテ今前顯ノ數字ニヨリ「パーク」銀行貸出總額ヲ當座勘定得意先ト得意以外トニ區別スレハ左ノ如シ



當座勘定得意先	
割引手形	二〇七〇七〇〇
擔保附定期貸	七六六六六〇〇
擔保附當座貸	三七九七二九八
無擔保當座貸	八二一四六三
當座勘定貸越	六四一〇六四
外國爲替	一九七三三〇九
合計	三五五八六七三四
得意以外	
買入手形	六八六〇〇〇
擔保附定期貸	四二二〇四〇〇
擔保附當座貸	四、五四〇、〇〇〇
合計	九、四四八、四〇〇

當座勘定得意先ニ對スル貸金ト得意以外ニ對スル貸金トヲ比較スレハ其割合七割八分ト二割二分トニ相當ス小役ハ日本ニ於ケル商業銀行ノ貸金ヲ解剖シ當座勘定得意先及其以外ニ區別シタルコトナキヲ以テ正確ナル數字ヲ得ルコト能ハサレトモ想フニ日本ノ銀行ニ於ケル貸金ノ得意先トハ常ニ銀行ニ對シ資金ヲ仰クモノニシテ銀行ノ預金主ニアラス又預金ノ得意先トハ小口定期等ノ預金ヲ銀行ニ預ケ入レ常ニ銀行ニ對シテ債權者ノ位置ニ立ツモノナリ而シテ貸金預金別種ノ顧客ニ屬スルノ結果銀行ノ役員ハ直接貸金ノ得意先ニハ金融ノ依頼アル毎ニ面接スル機會多ケレトモ預金ノ得意先ハ自ラ店頭ニ預金ヲ持參スルコト少ナク多クノ場合ニ於テ使用人ヲシテ用ヲ辨セシムルカ故ニ銀行ニテハ預金主ヲ遇スルコト悠々タル行路ノ人ノ如シ而シテ若シ行規ヲ以テ貸金ハ可成一旦預金ニ振替エシムレハ自ラ貸金ノ得意先ヲシテ餘儀ナク當座勘定ヲ開カシムヘシト雖ツハ多ク形式ニ過キス矢張銀行ニ對シテ時々融通ヲ請フ種類ノ得意ハ平素巨額ノ預金ヲ銀行ニ殘シ置クモノニアラサルナリ日本ニテハ貸金ヲ爲ス爲メニ預金勘定ヲ開カシメ當國ニテハ預金殘高アルカ爲メニ貸金ノ請求ニ應スルナリ是東



西大ニ趣ヲ異ニスル所ナリ

(b) 當座勘定得意先以外ニ對スル貸金

當國商業銀行ニ於ケル當座勘定得意先以外ニ對スル貸金ノ性質ハ如何ナルモノナリヤト云フニ之ヲ分チテ二種ト爲スコトヲ得ヘシ

一、手形仲買人ヨリ買入ル、手形

二、株式仲買人ニ對スル貸金

是ナリ手形仲買人及株式仲買人ハ平素一銀行ニ當座勘定ヲ開キ居ラサルモノ多シ勿論中ニハ當座取引ヲ有スルモノナキニアラサレトモ是等ニ對シテハ其當座取引ノ有無ニ拘ラスシテ銀行ハ時々手形ヲ買入レ又ハ擔保附貸金ヲナスナリ而シテ手形仲買人ヨリハ約束又ハ爲替手形ヲ買入レ株式仲買人ヨリハ公債株券擔保附貸付ヲ爲ス買入手形ニツキテハ前回派遣員ノ報告ニ記載シアルカ如ク仲買人ハ單ニ德義上ノ責任ヲ負フノミニテ一々手形ニ裏書セサルヲ常トス而シテ擔保ノ附帶セサルモノ、ミナルヲ以テ銀行ハ殊ニ慎重ノ態度ヲ採リ信用取調係ヲシテ審カニ其手形ノ成立ヲ取調ヘシメ且ツ振出人引受人及裏書人等ノ資産信用

ノ程度ニ注意スルコト周密ナリ株式仲買人ニ對スル貸金ハ特別ノ事情アルモノヲ除キ一般ニ擔保附ニシテ無擔保ノモノ殆ト絶無ナリト云フモ可ナリ而シテ其擔保品ハ云フ迄モナク市場ニ於テ何時ニテモ隨意ニ右カラ左ヘ賣却シ得ルモノニ限ラレタリ

日本ニテハ金融市場少シク色メキ渡リ資金ノ需要増進シ貸金ノ利率昂騰スル場合ニ當リテハ金融機關タル銀行ハ一齊ニ貸出ヲ澁ルヲ常トス小役日本ニ在ルノ日竊カニ惟ヘラクスクノ如キハ實ニ金融機關タル銀行ノ採ルヘキ方針ニアラサルヘシ泰西先進諸國ノ銀行カスル場合ニ處スルノ方法果シテ如何ト今當國ニ來リ彼我ノ事情ヲ對照シ其平素ノ仕組ヲ考察スルニ當リ大ニ感スル所ナクンハアラサルナリ

當國商業銀行貸金ヲ當座勘定得意先ニ對スル貸金及其以外ニ對スル貸金ノ二種ニ區別シタルハ單ニ債務者ノ階級ニヨリタル分類ニ非スシテ又實ニ其伸縮消長ノ等差ヲ示シタルモノト云フ可シ便宜ノ爲メニ當座勘定得意先ニ對スルモノヲ第一種其以外ニ對スルモノヲ第二種ト爲スヘシ第一種ノ貸金ハ銀行ノ都合ニヨ



リ漫リニ伸縮消長自在ナル事能ハス素ヨリ其貸出高ハ金融市場ノ大勢ニヨリ昂低アルヲ免レサレトモソハ第二種ノ貸金ノ操縦ニヨリ尙防キ能ハサル場合ニ於テ始メテ生スヘキ影響ニシテ平常ノ場合ニ於テハ容易ニ急激ナル變化ヲ其貸金總額ノ上ニ顯ハサ、ルナリ現ニ去年秋ノ如キ近年稀ナル金融界ノ擾亂ニ際シテモ紐育各商業銀行カ有スル第一種貸金ノ上ニハ著シキ影響ヲ生セサリシナリ貸出金ノ固定ヲ防カンカ爲メニ銀行カ其得意先商業ノ性質ニ鑑ミ一年一二回ツツ回收ヲ爲シ其彈力ヲ試ミ伸縮力ヲ料ルハ必要ノ事ニシテ當國商業銀行ノ實行シツ、アルコトナレトモ得意先ノ多キ其職業ノ千差萬別ナル其放資ノ途多種多様ナル一方ニ收縮スレハ他方ニ伸張シ一方ニ回收スレハ他方ニ放資スルヲ以テ其間自ラ平準ヲ保チ激甚ナル消長ヲ貸金總額ノ上ニ示スニ至ラサルナリ而シテ斯種ノ回收ハ銀行ノ金繰上ヨリ玉石混淆一切同視シテ急激ニ之ヲ爲スト異ナリ得意先ハ豫メ之カ用意ヲ爲スコトヲ得ヘク銀行ハ又難キヲ得意先ニ強ヒテ其感情ヲ害フノ憾ナシ而シテ各得意先ニ對シテハ「ライン」(極度)ト稱シテ貸出最高額ヲ定メ之ヲ信用取調係ニ於テ保存スルヲ以テ此極度ヲ超過スル貸金ノ請求ヲ受ケ

タルトキ若シクハ全ク新規ノ貸出ヲ依頼セラレタルトキ、銀行ノ都合上之ニ應セサルヲ得策トスル場合ニハ素ヨリ之ヲ謝絶スルニ何ノ故障モナケレトモ既ニ業ニ一旦貸出シタル貸金ノ期日ニ至リ得意先カ若干ノ内金ヲ入レ殘額ノ繼續ヲ請フニ當リ單ニ銀行ノ都合アシキヲ理由トシ之ヲ峻拒シテ顧ミサルカ如キハ當國商業銀行ノ敢テセサル所又之レヲ敢テスル銀行アラハ其銀行ハ必スヤ多クノ好得意ヲ失フノ不幸ヲ受ケサルヘカラサルナリ

當國銀行如何ニ資金ニ豐當ナリト雖モ其金庫ハ無盡藏ナルニアラス而シテ市場ニ於ケル資金ノ需給亦常ニ一樣ナラス左レハ金融ノ繁閑ハ自ラ銀行ノ資金ノ上ニ影響ナカル可カラス然ルニ前述ノ如ク銀行ハ得意先ニ對スル貸金ヲ隨意ニ伸縮スルコト能ハス否得意先ノ爲メニ緩急ノ度合ヲ恣マニセサランカ爲メニハ何等カノ手段ヲ取ラサルヘカラス其方法果シテ如何曰ク銀行ハ第二種貸金ヲ伸縮シテ市場ノ需給ト自行ノ金融トノ調和ヲ保ツナリ第二種貸金中買入手形トハ曩ニモ述ヘタルカ如ク手形仲買ヨリ時々買入ル、モノナリ仲買人ハ市中ノ商家其他ヨリ買入レ更ニ之ヲ銀行ニ賣渡スナリ而シテ銀行ハ何時ニテモ必要ニ應シテ



之ヲ市場ニ賣出スコトヲ得ヘク又實際地方ニ於ケル小銀行ナトニテハ常ニ之ヲ實行シツ、アルナリ流石ニ「パーク」ノ如キ「シチー」ノ如キ「コムマース」ノ如キ紐育市第一流ノ銀行ニテハ容易ニ之ヲ賣出スカ如キ事ヲ爲サ、レトモ兎ニ角所謂買入手形ナルモノハ期日毎ニ必ス入金セラルヘキ性質ノモノナルヲ以テ常ニ其期日ニ依リ毎月分ノ金額ヲ帳簿ニ登記シ置キ業務執行委員ノ參考ニ供スルナリ而シテ手形關係人ヨリ買入レタルモノニアラサルヲ以テ期日ニ至リ繼續ヲ請求セラレ、ノ虞アラサルナリ

株式仲買人ニ對スル貸金ヲ其形式ニヨリテ區別スレハ

一、擔保附割引

二、擔保附當座貸

ノニアリ割引貸ハ期日アルコト勿論ナレトモ當座貸ハ何時ニテモ回收スルコトヲ得ルナリ而シテ同シク當座貸ト稱スルモノ一般ノ得意先ニ對スルモノハ得意先ニ隨時返金ノ權利アレトモ銀行ハ自己ノ都合上容易ニ之ヲ回收スルコトナシ「パーク」銀行副支配人曰ク余ノ記憶スル所ニテハ借主ノ信用ニ關シ疑問ノ生セサル

限リハ當銀行金融上ノ都合ヨリシテ普通ノ得意先ニ對シ當座貸ノ回收ヲ請求セシコトアラサルナリト之ニ反シ株式仲買人ニ對スル當座貸ハ常ニ伸縮自在ニシテ市場資金ノ需要漸ク増加シ來リ銀行ノ庫中現在金ノ準備稍々手薄トナラントスレハ先ツ第一ニ株式仲買ニ對スル當座貸ヲ回收スルヲ常トス故ニ此種ノ當座貸ヲ名ケテ「ストリクト、コール」又ハ「ストリート、コール」「ワオール、ストリート」ニ對スル貸金ノ意ナリト稱シ一般ノ當座貸ヨリ區別シテ金融操縦ノ便ニ供ス今「パーク」銀行ニ於ケル昨年中貸金總額「ストリクト、コール」及得意先當座貸金額ヲ掲ケテ其消長ヲ示サン

月	日	ストリクト、コール	得意先外當座貸	定期貸	合計
一千九百二年	一月十五日	一一、五六一	四、八一〇 <small>株</small>	二七、九五二 <small>株</small>	四五、三七四 <small>株</small>
同	三十一日	一一、六六〇	四、一七九	三〇、四八七	四六、三七六
二月	月十四日	一一、〇四〇	三、八二一	三三、四六七	四八、三七八
三月	月三日	一一、四二五	四、二一一	三三、九六五	五二、六七四
同	十五日	一一、三七四 <small>株</small>	三、九七二	三四、〇〇八	五三、四二七 <small>株</small>



四月 二日	一〇,二四九	三,三二九	三四,七七九	五〇,四〇七
同 十五日	一三,二九一	三,八五五	三三,七四〇	五二,六八六
五月 一日	一〇,八〇九	三,七二三	三三,三三三	五〇,九三五
同 十五日	一〇,一一〇	二,八四六	三三,〇九五	四九,一〇一
六月 二日	九,二三〇	二,三七〇 <small>原係</small>	三二,一一〇	四六,七六〇
同 十六日	一〇,一九〇	二,八六〇	三二,〇九八	四八,一九八
七月 一日	一〇,六七〇	二,九二七	三二,二三九	四八,八九六
同 十五日	一一,〇四〇	二,八九九	三三,四五一	五〇,四四〇
八月 一日	一〇,九九〇	三,〇四八	三二,九六〇	五一,二七六
同 十五日	一〇,二二五	三,一一七	三五,九七〇	五二,三七二
九月 二日	八,七一〇	二,六八七	三八,一五七	五二,六〇四
同 十五日	五,五〇五	三,四九二	三九,四七 <small>原係</small>	五一,四九四
十月 一日	三,八三七	四,一四三	三八,二二七	四九,二五七
同 十五日	二,三二五 <small>原係</small>	四,〇五〇	三七,九六一	四七,三八六

一五二

十一月 三日	二,七三五	四,二五二	三六,〇六〇	四六,〇九七
同 十四日	四,七三五	四,七四四	三五,一〇六	四七,六三五
十二月 一日	三,七四〇	三,九四一	三五,六六三	四六,三九四
同 十五日	四,九六五	三,六五五	三五,四五二	四七,二二一

備考 「ストリクト、コール」得意先當座貸及定期貸ノ合計額カ別表ノ合計ト符合セサルハ此外ニ政府公債ヲ含メルカ故ナリ其額ハ三月三日迄ハ五萬弗爾來五月一日迄ニ漸次増加シ其後ハ三百五萬弗ニ居据ハレリ

別表ニ依テ見ルニ總貸金ハ最高五千三百萬弗、最低四千五百萬弗ノ間ヲ、定期貸ハ最高三千九百萬弗、最低二千八百萬弗ノ間ヲ、得意先當座貸ハ最高四百八十萬弗、最低二百三十萬弗ノ間ヲ、彷徨セリ而シテ定期貸ノ年首二千八百萬弗ニ達セシハ稍々常態ニアラサルノ感アレトモ之レヲ除キテハ大方三千萬弗ヨリ三千五百萬弗ノ間ヲ保テリ殊ニ九月ニ至リ資金ノ需要高マリシカハ「ストリクト、コール」ノ急落ニ引換ヘ漸次其額ヲ増シテ三千九百萬弗ニ上リタリ以テ其消長ノ有様ヲ見ルニ足ル



「ストリクト、コール」ハ最低二百三十萬弗ト最高千三百三十萬弗トノ間ニアリテ一起一伏其變化ノ著シキヲ見ル而シテ九月下旬ニ至リ得意先當座貸并ニ定期貸カ膨脹セルニ引換エ急激ノ減少ヲ來タシ金融ノ最モ繁忙ナル季節ニ於テ一年中ノ最低額ニ達シ十一月ニ入り再ヒ漸次昂騰セリ

之ヲ要スルニ銀行ハ貸出資金ヲ以テ先ツ當座勘定得意先ノ需要ニ應シ餘裕アルトキハ即チ手形仲買人ヨリ手形ヲ買入レ又ハ有價證券ヲ擔保トシテ株式仲買人ニ貸付クルナリ而シテ之ト反對ニ貸金ヲ回收セント欲スレハ

第一、「ストリクト、コール」ヲ回收シ

第二、期日毎ニ買入手形ヲ回收シ

第三、期日毎ニ株式仲買擔保定期貸ヲ回收シ

以上ノ手段ヲ盡シテ尙且ツ自行ノ金融ヲ緩和スルコトヲ得サル場合ニ於テ始メテ

第四、得意先「コール、ローン」ヲ回收シ

最後ニ於テ

第五、得意先ヘノ定期貸金ヲ回收スルナリ

之ヲ「パーク」銀行ノ例ニ徵スルニ貸出總額約四千五百萬弗ノ内九百五十萬弗即チ二割二分ハ第二種ニ屬スルモノニシテ之ヲ回收シタル後ニアラサレハ第一種ニ及ホサ、ルヲ以テ原則ト爲ス故ニ第一種貸金三千五百萬弗ハ伸縮自在ナル第二種貸金九百五十萬弗ノ牆壁ヲ以テ防衛セラル、ナリ金融市場ノ波瀾洶湧ヲ極ムルトモ此牆壁ヲ破ルニアラサレハ直チニ一般貸金ニ影響ヲ及ホスコトナキヲ以テ債主ハ安シテ之ヲ使用スルコトヲ得ルナリ

(c) 單名手形割引

單名手形トハ「シングル、チーム、ペーパー」ヲ譯シタルナリ其性質ハ名稱ノ示スカ如ク振出人ヨリ直接ニ銀行ニ宛テタル單名ノ約束手形ニシテ即チ裏書人又ハ引受人ヲ有セサルモノヲ云フ數年前ニアリテハ此種ノ手形ハ多クハ擔保附ニアラサレハ取扱ハス而シテ若シ無擔保ニテ割引ヲ爲ス場合ニハ大概裏書人ヲ設ケシメ銀行ハ裏書人ヨリ讓受クルヲ例トセシカ輓近此種ノ手形追々其額ヲ増加シ來レリ現ニ「パーク」銀行ニテ所有スル單名手形ハ其額千二百萬弗ニ上ル無擔保定期貸



金割引及貸付總額二千二百萬弗ニ對シ五割以上ハ單名手形ナリト云フヘシ何故ニ近來此種手形ノ増加ヲ來タセシカト云フニ其理由ニニアリ曰ク(一)商取引ノ變遷及(二)資本合同ノ機運是ナリ

(一)商取引ノ變遷 昔日尙商取引ニ關スル信用發達今日ノ如クナラサリシ時ニハ地方ヨリ紐育ヘ物品仕入レニ來ル商人カ皆仕入品ニ對シ現金ヲ以テ仕拂ヲ爲シ又ハ期日ヲ定メタル約束手形ヲ發行スルヲ例トセリ此約束手形ヲ受取リタル紐育ノ商人ハ之ニ裏書ヲ爲シ常ニ取引アル銀行ニ就キテ割引ヲ請ヒタルナリ此種ノ手形ヲ商業手形ト稱シ性質上第一等ニ屬スルモノトセリ然ルニ商取引ニ關スル信用益發達シ來リタルヨリ今日ニテハ地方商人カ紐育製造所又ハ卸賣商人ヨリ商品ヲ仕入レテモ之ニ對シテ現金又ハ約束手形ヲ以テ仕拂フ事ナク貸借ノ關係ハ其決濟セラル、迄紐育製造所又ハ卸賣商人ノ帳簿ニ記載セラル、ノミナリ換言スレハ從來手形又ハ現金ヲ以テ商品ノ取引ヲ行ヒタルニ今日ニテハ所謂掛賣ナルモノ一般ニ行ハル、ナリ之ニ於テカ從來ノ商業手形ナル何百何十何弗何十仙ト云フカ如キ端數ノツキタル手形ハ極メテ小ナル商家ノ取引以外ニハ全ク

其跡ヲ絶ツニ至リシナリ地方銀行ヨリ紐育銀行ニ再割引ヲ請フ手形若シクハ地方銀行再割引ノ擔保ニ提供スル手形ノ中ニハ(後ニ詳述)小額ニシテ且ツ端數ヲ附シタル手形ヲ見ルコト間々アレトモ是以外ニハ殆ト稀ナリト云フ可シ

(二)資本合同ノ機運 十九世紀末ニ於ケル實業界ノ大勢ハ資本ノ合同ニアルコト今更云フ迄モナシ特ニ此無限ノ富源ヲ擁シ敢爲ナル八千萬ノ民衆ヲ有スル合衆國ニ於ケル資本合同ノ勢タルヤ滔々トシテ潮ノ朝スルカ如ク月毎ニ年毎ニ資本ヲ併セ事業ヲ合シ最少ノ努力ト費用トヲ以テ最良ノ結果ト最多ノ利益トヲ獲得センカ爲メニハアラユル困難障礙ヲモ辭セサルノ概アリ而シテ資本合同ノ事ハ先ツ製造工業ニ始マリ海陸運輸、金融其他凡百ノ商業機關モ亦其勢ニ馴致誘導セラレ今ヤ日トシテ當國ノ新聞ニ(Consolidation)合同又ハ(Merger)合併ノ文字ヲ見サルコトナシ斯クノ如キ大勢ナルヲ以テ銀行ニ於ケル貸出金モ自然大額トナリ小額ノモノヲ取扱フコト稀ナルニ至レリ而シテ信用ノ程度ヨリ論スルモ數百萬弗ノ大會社、大商店ハ僅少ナル資本金ヲ以テスル個人的商店ニ比シ更ニ確實ナルコト云フ迄モナク且ツ之カ資産ノ實質貸借ノ内容ヲ取調フルニモ一層ノ便利アリ從



テ銀行カ放資ヲナスニアタリ是等大組織ノ得意ニ貸出スハ信用薄弱ナル小規模ノ個人的商店ニ對スルヨリモ安全ナリ而シテ數十萬弗若シクハ數百萬弗ノ資本ヲ有スル大會社、大商店ニ貸出スニ當リテハ必スシモ殊更ニ形式ノ爲メニ裏書人ヲ作ラシムルノ要ナキヲ以テ單ニ振出人ヨリ銀行ニ宛テタル手形ヲ取り之ヲ割引スルナリ尤モ中ニハ法人ヲシテ振出サシメ其重役ヲシテ一個人ノ資格ヲ以テ裏書セシムルモノナキニアラサレトモ前記千二百萬弗ノ單名手形トハ全クカ、ル手續ヲ踏マサルモノナリ故ニ大商業銀行ニ於ケル割引手形ノ大部分ハ五千弗、一萬弗、五萬弗ト云フカ如キ巨額ナル且ツ端數ナキ金額ノモノナリカ、ル手形ハ或一商業取引ヲ代表スルモノニアラサレトモ而カモ其資金ハ商取引ノ運用ニ資スルモノナルヲ以テ之ヲ商業手形ト云フニ於テ誤リナシ夫ノ商業手形トハ必スシモ或ル一商取引ヲ代表スル手形ニ限ラレタルモノ、如ク信セシ時代ハ既ニ前世紀ト共ニ過去ニ葬レタルモノト云フヘシ

(a) 手形擔保ノ割引手形

手形ハ一種ノ有價證券ニシテ所謂經濟學上ノ交換價格ヲ有スルモノナルヲ以テ

之ヲ擔保トシテ割引若シクハ貸付ヲ爲スコト惟ムニ足ラサル事ナレトモ日本ニテハ此種ノ擔保附割引又ハ貸付ヲ爲スコト絶無ニアラサレハ稀有ナリト云フヘシ

地方ノ銀行カ一旦割引シ又ハ買入レタル手形ヲ一括シテ之ヲ紐育銀行ニ持參シ之ヲ擔保トシ別ニ紐育銀行宛借用證文又ハ約束手形ヲ差入レテ資金ヲ融通スル事アリ又卸賣商人製造所等カ其製造品又ハ商品ヲ小賣商人ニ賣却シ長期ノ手形ニテ代金ヲ受取りタル場合ニ之ヲ擔保トシテ銀行ニ差シ入レ借金スルコトアリ例之ハ專賣特許ヲ得タル曹達水器械ノ卸商人カ之ヲ國內各地ノ藥種商ニ賣渡シ其代金ヲ二十箇月又ハ三十箇月位ノ長期ノ手形ニテ受取り其手形六七百枚ヲ一束ニシ銀行ニ持參シ之ヲ擔保トシ別ニ銀行宛ノ手形ヲ以テ割引ヲ請ヒタルヲ見タリ要スルニ此手形擔保ノ貸金ハ再割引ト同質ノモノニシテ其形式ヲ異ニスルニ過キサレナリ其利益トスル點ハ

第一、枚數多クシテ一々手形ニ裏書スルノ煩ナル場合

第二、最初割引シタル銀行カ再割引ノ事實ヲ振出人又ハ依頼人ニ知ラシムル



## コトヲ欲セサル場合

ニアリカ、ル手形ヲ擔保ニ取ルニ當リ銀行ハ信用取調係ニ於テ其振出人裏書人等ノ資産信用ニツキテ周密ナル取調ヲナスコト無擔保手形割引ノ場合ニ異ラス而シテ擔保手形ニハ白地裏書ヲナサシメ置クナリ

擔保手形ノ仕拂期日ハ主タル債務ノ仕拂期日ニ比シ長期ナルヲ普通トスレトモ時トシテハ主タル債務ノ期日前ニ滿期トナルモノナキニアラスカ、ル手形ハ期日ニ至リ仕拂人ニ呈示シテ仕拂ヲ受ケ之ヲ貸金ノ内入ト爲スカ又ハ再割引依頼者ニ返却シテ代リ手形ヲ受取ルカ何レカ便宜ノ方法ヲ取ルナリ又主タル債務カ期日ニ至リ債務者ノ破産其他ノ事故ニヨリ仕拂ハレサルトキハ如何ニシテ此擔保手形ヲ處分スルカト云フニ若シ期日ニ近ケレハ夫レ迄保存シ期日ニ至リ直接之ヲ振出人ニ呈示シテ仕拂ヲ受クヘク又期日ノ遠キモノハ手形仲買人又ハ其他ニ賣却スルトモ隨時臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘシ

擔保價格 擔保手形ノ貸出價格ハ賣買價格ノ最低激シキ株券類ト異ナリ期日ニ至レハ全額ノ仕拂ヲ受クヘキモノナルヲ以テ手形額面ニ對シ僅少ノ差ヲ以テ擔

保價格トス時ニハ手形額面迄貸出スコトナキニアラス

## (e) 債權證書

銀行カ貸金ヲ爲スニ當リ得意先ヨリ徵求スル債權證書ヲ分チテ爲替手形約束手形或ハ貸金證書ト爲スコト日本ニ於ケルト異ラス然レトモ其慣用スル名稱ニ至リテハ甚タ不明確ニシテ爲替手形即チ振出人ト仕拂人ト異リタル手形ヲ總稱シテ「トラフト」ト云ヒ其他ノ債權證書ハ約束手形ニテモ銀行ニテ調製シタル證書ニテモ之ヲ總稱シテ單ニ「ノート」ト云フ是ヲ以テ明白ナル法律上ノ名稱ニヨリ債權證書ノ性質ヲ區別スルニ慣レタルモノニ對シテハ彼是錯綜シテ了解ニ苦シムコトアリ而シテ借用證書ハ總テ擔保附貸金ノ場合ニ用ユルモノニシテ其様式ハ前回派遣員報告書中ノ雛形ト異ルコトナシ而シテ其文面ニ記セルカ如ク此借用證書ハ本邦ニ於ケル借用證書ト擔保品差入證トヲ兼子タルモノニシテ他ニ差入證ナルモノナシ

擔保品附帶ノ約束手形ヲ割引シタル場合ニモ別ニ擔保品差入證ヲ取ルコトナク割引依頼人ヲシテ約束手形ノ表面餘白ニ鉛筆又ハ「ペン」ヲ以テ擔保品名稱ノ略字



ヲ記入セシメ若シクハ當該係員カ紙片ニ其名稱種類數量等ヲ記載シ留針ニテ之ヲ手形ニ留メ置クニ過キササルナリ蓋シ讓渡裏書ヲ爲シ又ハ賣買委任狀ノ附帶セル有價證券ヲ銀行ニ入レタルハ債務ノ擔保トセルコト事實上明白ナレハ其上差入證ヲ取ル必要ナシト云フニアリ

(f) 貸金取扱ノ無雜作ナルコト

ニ至ツテハ日本ノ銀行者ヲシテ果然タラシムルモノアリ小役カ「パーク」銀行ノ割引手形ヲ彼是検査シタル内ニ「コロムピヤ」國立銀行發行ニ係ル預金證書二枚各金額二萬五千弗ノモノアリ其由來ヲ主任者ニ訊子シニ紐育州「イリー」郡會計ノ發行ニ係ル手形其他雜多ノ手形合計金七萬弗ヲ擔保トシ「コロムピヤ」銀行ニ對シ割引シタルナリト答フ何故ニ正式ノ手形ヲ取ラスシテ預金證書ヲ取リタルヤト云フニ同行ニテハ借用金ノ科目ニ記帳スルヲ欲セス預金ノ形ト爲シ置カンコトヲ希望スルカ故ニ其請ヲ容レ預金證書ヲ取リタリ即チ得意先ノ便宜ヲ計リタルニ過キスト云フ期限及利子ハ如何ニスルカト云ヘハ當行「パーク」都合ニヨリ割引委員ノ決議ニテ期間ヲ一箇月利率ヲ年六分トシテ承諾シタレハ其趣ヲ先方へ通知

シ置キタリ要スルニ期間モナク利率ノ定モナク擔保品ノ有無ヲモ明記セサル預金證書ヲ唯一ノ債權證書トシテ貸付ヲ爲シタリ是等ハ日本ノ銀行者ノ想像ニモ及ハサル所ナリ

尙一例ヲ舉クレハ或地方銀行ヨリ二萬弗ノ手形ヲ送附シテ割引ヲ請ヒタルニ割引委員ハ一萬弗丈ヲ割引スルコトヲ承諾シタリ而シテ一旦送リ越シタル手形ハ其儘取り置キ割引係ニテ紙片ニ一萬弗ト記シ之ヲ留針ニテ留メ置キ先方へハ二萬弗ノ御請求ナレトモ都合ニヨリ一萬弗割引シタレハ其貸金ハ割引料ヲ差引キ貴行ノ當座勘定ニ入金シタリト通知スルノミナリ尤モ先方ヨリ更ニ一萬弗ノ手形ヲ送付スルトキハ舊手形ヲ返還スル事勿論ナレトモ先方モ亦「パーク」銀行ヲ信用スルカ故ニ二萬弗ノ手形ヲ其儘預ケ置クナリ千八百九十八年西班牙戰爭ノ結果政府ノ歳入ヲ増加センカ爲メニ戰時收入印紙稅ヲ課シタルコトアリ當時各銀行ニテハ株式仲買ニ對スル擔保附當座貸ノ證文ニ金額相當ノ收入印紙ヲ貼用スルヲ免カレンカ爲メニ金額ヲ記載セサル證文ヲ作り仲買ヲシテ豫メ銀行ニ差シ入レシムルコト、セリ而シテ仲買カ實際有價證券ヲ持參シテ借入ヲ爲ス時ニ當



リテハ別ニ手形ヲ持參スルコトモナク小切手ヲ振出スコトモナク單ニ擔保品ヲ入レタル袋ノ表面ニ借入レ金額ト擔保品トヲ記載スルノミナリ之ニ對シ貸付係ハ貸出ノ傳票ヲ製シ仲買ニ渡セハ仲買ハ書信係ニツキ此傳票ト引換ニ支配人小切手ヲ請取り立去ルナリ何ヲ以テ銀行ト仲買トノ債權關係ヲ明示スヘキ證據トナスヤト云フニ前記ノ擔保品入ノ袋ト契約書トノ外何等ノ證書アラサルナリ而シテ其契約書ニハ金高ノ記載モナク利率ノ約定モナク單ニ債務者仕拂ヲ爲サ、ルトキハ擔保品ヲ以テ處分シ得ル旨ヲ規定セルニ止マル而シテ擔保品入袋モ法律上證書タル効力ナキコト勿論ナリ金額ニ付キテ後日間違アラハ如何ニスルカト問ヘハ先方ハ信用ス可キ先柄ナリ證書有無如何ニ關セス况ンヤ傳票小切手原符及帳簿ノ貸借ヲ明示スルモノアルヲヤト答フ以上ノ如キ實例ハ之ヲ枚舉スルニ違アラス之ヲ要スルニ形式ニ關シテハ殆ント無頓着ナリ雙方ノ意志カ誤解セラル、コトナクハ債權證書ノ如キハアルモ可ナリナキモ可ナリ銀行カ帳簿ヲ有シ之ヲ正確ニ記帳シ得意先カ惡意ナク眞實ニ取引ヲ爲シ居ラハ夫レニテ充分ナリ又惡意ヲ懷キ銀行ヲ欺騙セントスルカ如キ得意先ハ始メヨリ之ヲ避ケテ金融

若クハ其他便宜ヲ供スルコトナシ其得意ノ良否ヲ判斷スルハ銀行者ノ最重責任ニシテ明瞭ナル頭腦ト敏捷ナル手腕ヲ要スル所ナリト云フ

#### (g) 貸金利率

米國ニハ中央銀行ナキヲ以テ日本ノ如ク市中金利ノ標準ヲ中央銀行ノ貸金率ニ取ルコト能ハサルナリ而シテ「ボストン」ニテハ手形交換所ニ於テ組合銀行頭取若クハ支配人相會シ金利ノ標準ヲ定メ紐育ニテハ株式取引所ニ於テ「モニー、ブローカー」ナルモノアリ毎日立會ヲナシ以テ其日ノ金利ヲ定ムト云フ尤モ市中ノ金利必スシモ之ヲ標準トスルニアラサレトモ各銀行ハ此ノ金利ヲ聞キテ之ヲ一種ノ參考トナスモノ、如シ而シテ一般ニ貸金率ヲ支配スル要素ヲ舉クレハ(一)法律ノ制限(二)經濟上需給ノ原則是レナリ

(一)法律ノ制限 貸金利率ニ關スル制限ハ各州ノ自治ニ委子ラレタリ故ニ法定利率ヲ有スルアリ又有セサルアリ西部諸州ニハ全ク放任主義ヲ取り敢テ何等ノ干渉ヲモ加ヘサルモノ多ク東部諸州ニテハ大概今尙此制限法ヲ習用ス而シテ法定ノ最高利率モ亦各州ニ依リテ異レトモ東部ニ於テハ大凡六分ヲ以テ最高トス紐



育州然リ「マサチユーセツト」州亦然リ

國立銀行條例細則ハ其五千九十七條ニ規定シテ曰ク國立銀行ハ其所在地ノ法律カ貸金利率ヲ制限スル場合ニハ之ニ遵フヘク若シ又制限ナキ場合ニハ年七歩ヨリ多カラサル利率ヲ以テ割引貸付ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ規定セリ故ニ「カリホルニヤ、コンチクチカツト」州ノ如キ利率ノ制限ナキ州ニ存在スル國立銀行ニテモ此ノ條例ノ明文ニヨリ年七歩以上ノ利息ヲ徵スルコト能ハサルナリ而シテ茲ニ一ノ除外例アリ即チ金額五千弗以上ニシテ倉庫預リ證券、貨物船積證書、預金證書、債券株券等ノ如キ擔保ノ附帶セル銀行ノ貸金ニ對シテハ當事者間ニ書面ノ契約アル場合ニ限り如何ナル利率ヲモ課スルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ抑モ一般利息制限法ノ主旨ハ所謂高利貸ノ輩カ細民ノ困窮ニ迫リテ暴利ヲ貪ランコトヲ防クニアルヲ以テ商工業者カ擔保品ヲ提供シテ銀行ヨリ借入金ヲナスカ如キ場合ニ適用ス可キニアラサルナリ故ニ金額ヲ五千弗以上トシ且ツ擔保品附ノ貸金ニシテ銀行カ貸主タル場合ノ利率ニ關シテハ此法律ヲ以テ一切當事者間自由意思ニ放任セリ

利息制限法ニツキテハ當國ニテモ種々ノ議論アリ殊ニ株式市場ニ關係アル向ニ於テハ其徒法タルニ過キササルヲ論スルモノ極メテ多シヘンリー、クリュー氏ハ其著書「ウオール、ストリート」ニ於テ極力之ヲ攻撃セリ近頃日本ニ於テモ利息制限法ノ無用有害ヲ説クモノ漸ク多キヲ來セリ今其存在ノ可否ハ姑ク措キ日本ノ制限法ノ如ク貸金ノ種類如何ニ拘ラス一樣ノ制限ヲ加フルハ蓋シ策ノ得タルモノニアラサルヘシ此ノ點ニ就キテハ前記ノ如ク除外例ノ場合ヲ設クルコト必要ナル可シ

(二)經濟上需給ノ原則 商品輸出輸入ノ關係、農產物輸送ノ時機、方法、國庫現在金、各種金融機關現在金等種々ノ事情ニヨリテ市場ノ金利ヲ昂低スルコト所謂經濟上ノ原理ニヨルモノト云フヘシ是等ノ問題ニツキテ深ク攻究センニハ種々有益ニシテ且ツ面白キ點アルヘシト雖モ本報告ニ之ヲ記載スヘキ必要モナク又充分ニ之ヲ研鑽スヘキ違アラサルヲ以テ茲ニハ唯要ヲ摘ミテ概説ニ止メ置ク可シ  
必要ナル統計ヲ得ルコト能ハサルヲ以テ一年間金融ノ繁閑カ金利ノ上ニ反映スル顯象ヲ精密ニ且ツ數字的ニ知ルコト能ハサルヲ憾ミトスレトモ兎ニ角中央部



ヨリ西部諸州ニカケテ農産物ノ收穫時機ニ至レハ之カ爲メニ資金ヲ要スルコト極メテ多ク從テ東部ノ金融市場ヨリ西部中央部南部等ニ資金ノ吸收セラル、コト毎年ノ顯象ナリ又此ノ時機ニ當リ農家ニ於テ牛馬羊豚等ノ家畜ヲ養ヒ來春ヲ待チテ賣ルモノ多シ之カ爲メニモ巨額ノ資産ヲ要スト云フ故ニ毎年秋ノ頃ニハ一般ニ金利ノ昂騰ヲ來タシ來二三月ニ至リ低落ヲ來スコト普通ノ顯象ナリト云フ可シ

今左ニ「パーク」銀行カ各種總貸出金ニ對シ收納シタル平均利率ヲ示サン

月	千九百年	千九百〇一年	千九百〇二年	平均
一月	〇	四六三	四七二	四六七
二月	〇	三七一	四一九	三九五
三月	〇	三五九	四二四	三九一
四月	〇	四〇五	四四八	四二七
五月	〇	四三九	四五九	四四九
六月	〇	四〇二	四二一	四一一

月	千九百〇一年	千九百〇二年	平均
七月	四二〇	四二〇	四二〇
八月	四〇一	四二二	四一一
九月	四二五	四六七	四四六
十月	四三六	四八〇	四五八
十一月	四三七	四九四	四六〇
十二月	四三五	五一五	四七四

以上ハ僅カニ一銀行ニ於ケル二箇年餘ノ金利ヲ示セルモノナルヲ以テ之ヲ以テ直チニ紐育市ノ貸出利率ノ趨勢ヲ知ルコト能ハサレトモ毎年二三月頃ニハ金利稍々緩ニシテ九月頃ヨリ漸々引締リ十二月ニ至リ其頂上ニ達スルノ有様ヲ見ルニ足ル可シ

貸金ノ種類ニヨリ金利ノ昂低

貸金ヲ大別シテ當座ト定期トニ區別スレハ定期ノ利率ハ金融ノ状態ニ伴ヒ自ラ昂低スルコト勿論ナレトモ常ニ甚タシキ波瀾ヲ受クル事ナシ之ニ反シ當座貸ハ債務債權兩者ノ都合ニヨリ何時ニテモ貸借關係ヲ歇ムルコトヲ得ヘキ極メテ自



由ノ仕組ナルト其性質上株式及外國金融市場ニ關係ヲ有スル事頗ル密接ナルト  
 ヲ以テ一時ノ見込ニヨリ又ハ市場ノ風聲鶴唳ニ左右セラレ一起一伏ノ波瀾極メ  
 テ多ク株式市場沈衰ノ場合ニハ年利一步乃至一步五厘位ニ低落スルコトアレト  
 モ之ニ反シ世界ノ何レノ部分カニ外交上ノ問題起ルカ若クハ戰雲閃メキ渡ルコ  
 トアレハ俄然トシテ一割五歩乃至二割五歩以上ニ突飛スルコトアリ其屈伸ノ急  
 激ナル殆ント端睨ス可カラサルモノアリ左ニ最近大藏省通貨局長ノ報告ヲ抄譯  
 シテ兩種貸金利率ヲ對照スヘシ

千九百二年	當座		商業	
	最高	最低	最高	最低
一月	四五五 <sub>歩</sub>	三三五 <sub>厘</sub>	五一五 <sub>歩</sub>	四四〇 <sub>厘</sub>
二月	二五〇	三一一	四五〇	四〇〇
三月	四三八	三七五	四九四	四三一
四月	四八八	三二五	五〇六	四三八
五月	六一〇	四三五	五〇五	四四五

月	最高	最低	最高	最低
六月	三五〇	二六八	四九四	四三一
七月	四〇〇	二八八	五〇〇	四五〇
八月	四五〇	三〇〇	四九〇	四四五
九月	一五二五	四三八	五七五	五三八
十月	八六〇	四四〇	六〇〇	五九〇

商業手形トハ必スシモ無擔保ノモノ、ミノ謂ニアラスシテ商取引ヨリ生スル手  
 形ヲ云フモノナルカ故ニ普通商業銀行貸出金中當座貸以外ノモノト見テ可ナリ  
 而シテ此種ノ貸金利率ハ略ホ金融市場ノ定規ニ遵フテ昂低シタル跡アレトモ當  
 座貸利息ニ至テハ二月ニハ最低二歩一厘三毛ニ下リ九月ニハ一躍シテ一割五歩  
 以上ニ昂騰セリ而シテ當座貸金ノ利息此ノ如ク突飛ナル亂高下ヲナスコトアリ  
 ト雖モ確實ナル商業銀行ノ多クハ此波瀾ニ乘シテ巨利ヲ博セントスルモノナク  
 現ニ「パーク」銀行ノ如キハ市場金利ノ高低ニ拘ハラス法定利息即チ六歩以上ヲ請  
 求シタルコトナシト云ヘリ

左ニ貸金ニ關シ種々ノ統計ヲ掲ケ以テ參考ニ資ス



全國國立銀行貸金及營業費用割合表

資本金ニコレル銀行ノ階級	行數	資本金額	營業費用	平均貸出金	貸出ニ對スル經營費ノ割合	貸出金ノ利率	貸出利率ノ超過スル割合
百萬弗以上	一〇二	一六七、三〇五	一三、九九一	一、〇五一、九五七	一、三三三	五、一七	三、八四
五十萬弗以上	一四九	八二、二四二	七、二六七	三九九、五八七	一、八二	五、八二	四、〇〇
二十萬弗以上	五五一	一四〇、〇〇一	一三、五九五	六一八、一〇一	二、〇四	六、二六	四、二二
十萬弗以上	一、一九六	一三三、三三三	一三、一五九	五二〇、六四八	二、三四	六、八三	四、四九
二萬五千弗以上	一、五四一	八三、一四二	八、五二六	三〇七、二二二	二、七八	七、四〇	四、六二
二萬五千弗	二九一	七、二七五	八三八	一九、七〇一	四、二六	七、七五	三、四九

表中貸出金トハ各種貸出金ヲ總括スルモノニシテ銀行營業上ノ收益ノ大部分(日本ノ銀行ニ比スレハ營業ノ項目少ク且ツ單純ナルヲ以テ統計ニ便利ナリ)ハ貸金利息ヨリ生スルモノナルヲ以テ之ヲ標準ト爲シタルナリ「營業費用」ハ國及地方稅ヲ除クノ外一切ノ營業費用ヲ云フモノニテ營業用家屋ノ賃借料、給料、預金、仕拂利息等ヲ含蓄ス貸出高ニ對スル營業費用ノ割合ハ勢ヒ大資本ノ銀行ニ少クシテ小資本ノ銀行ニ多カラサルヲ得ス即チ百萬弗以上ノ銀行ニテハ其割合一分三厘三

毛ニ過キサレトモ二萬五千弗之ハ國立銀行法定ノ最少資本額ナリ)ニテハ四分二厘六毛ヲ費スノ割合ナリ而シテ貸金利率ニ至リテハ小資本銀行ハ大資本銀行ニ比シテ遙カニ高利ヲ獲ルヲ常トス即チ百萬弗以上ノ銀行ノ平均貸金利率ハ五分一厘七毛ナルニ二萬五千弗ノ銀行ハ七分七厘五毛ヲ得故ニ貸出金利率ヨリ營業費用ヲ差引キタルモノ即チ純益トモ云フ可キモノ、割合ニ至テハ大銀行モ小銀行モ稍々平準ヲ得三分五厘乃至四分六厘ノ間ニ居ル

米國々立銀行貸金擔保無擔保別表

貸金種類	行數	擔保	附無擔保	合計	總額ニ對スル擔保品附貸金ノ割合	
					附	無
中央準備積立市	六一	五〇一、七九五	三七六、一三八	八七七、九三三	五七	四七
「ボストン」外二十九準備積立市	二七二	四〇四、四〇五	四六一、四〇一	八六五、八〇六	四七	四七
其他全國	四、二六八	四四三、〇三八	一、〇九三、三四四	一、五三六、三八二	二九	二九
合計	四、六〇一	一、三四九、二三八	一、九三〇、八八三	三、二八〇、一二一	四一	四一

全國々立銀行貸出金ヲ擔保ノ有無ニヨリテ區別スレハ擔保附ハ四割一分餘無擔保ハ五割八分餘トナル而シテ全國ノ銀行ヲ三級ニ分テハ中央準備積立市ニ於ケ



ル擔保附貸金ノ割合ハ五割七分餘準備積立市ハ四割七分餘其他ハ二割九分トナル即チ都市ニ於ケル割合多クシテ地方ニ於ケル割合ノ比較的少キヲ見ル可シ是ニヨリテ有價證券及商品ノ如キ國立銀行カ擔保ニ取り得ヘキ質種ハ都市ニ集合シテ地方ニ少キヲ察スルニ足ル殊ニ大都市銀行ニハ株式仲買ニ對スル債券株券類擔保貸金ノ多額ナルヲ證スルモノナリ

米國々立銀行貸金當座定期別表

貸金種類	當座貸、コール、ローン		計	當座貸ノ總貸金ニ對スル割合
	銀行	定期貸		
中央準備積立市	三四二、〇四九	五三五、八八四	八七七、九三三	三九
準備積立市	三二二、一一七	五五三、六八九	八六五、八〇六	三六
其他 全國	二九〇、〇〇八	一一、二四六、三七四	一、五三六、三八二	一九
合計	九四四、一七四	二、三三五、九四七	三、二八〇、一一一	二九

全國々立銀行貸金總額ノ内當座貸ハ二割九分餘定期貸ハ七割餘ナリ而シテ當座貸ノ總額ニ對スル割合ハ都會ニ厚クシテ地方ニ薄キコト前掲擔保無擔保ノ關係ト相似タリ當座貸ハ其性質上必ス有擔保ニシテ有擔保ハ都市ニ多ク地方ニ少キ

ヲ以テ自然當座貸モ亦中央都市ニ偏重セリ

ロ、取次貸金

當國各種金融機關ノ競争倍々激クシテ汎ユル工風ヲコラシ之ヲ香餌トシテ得意先ヲ釣リヨセ以テ業務ノ擴張ヲ計ルニ汲々タルハ上來屢々説ケルカ如シ而シテ大都市ニアル國立銀行カ地方同業者ノ預金ヲ吸集センカ爲メニ百方便宜ヲ與フルニ至ツテハ誠ニ驚クヘキモノアリ此取次貸ナルモノ亦其一手段タリ

取次貸トハ當座勘定得意先ノ依頼ヲ受ケ銀行カ其預金ヲ引出シ之ヲ他ニ貸付ケテ其利子ヲ得意先ニ與フルモノニシテ其貸借ノ關係ハ銀行ノ得意先ト債務者トノ間ニ止マリ銀行ハ當初得意先ノ預金ヲ引出ストキノ外其元帳ニ何等ノ記帳ヲ爲サ、ルナリ要スルニ銀行ハ得意先ト債務者トノ中間媒介者タルニ止マリ其貸借ノ法律行爲ニハ直接ノ權義ヲ有セサルナリ

當地銀行者間ニテハ之ヲ稱シテ Outside Loan 又ハ Out of town Loan ト呼フ蓋シ自行ノ資金以外ノ貸金ト云フノ意ニシテ單ニ自行ノ貸金ヨリ區別センカ爲メニ附シタル名稱ニ過キス而カモ名實相伴ハス其名稱ニ依テ實質ヲ推料シ得サルヲ以テ



茲ニ取次貸金ト名ケタリ

銀行ハ得意先ヨリ書面又ハ口頭ヲ以テ何萬弗迄預金ノ内ヨリ引出シテ貸付ヲ爲スヘキ旨ノ依頼ヲ受クレハ直ニ平素取引アル株式仲買ニ其旨ヲ語り適當ト認ムヘキ借手アレハ先ツ傳票ヲ製シテ得意先ノ預金ヨリ必要ノ金額ヲ引出シ仲買即チ借手ヨリハ擔保品並ニ貸付主ニ宛テタル借用證書ヲ受取り普通ノ手續ニテ貸付ヲ爲シタル上金額、利率及擔保品ノ種類員數等ニツキ詳細ヲ貸付依頼主ナル得意先ニ通知ス通知ヲ受ケタル貸付主ハ債務者ノ姓名其他ノ條件ヲ査察シタル後若シ不満足ノ點アラハ其旨ヲ銀行ニ通知シ貸金ノ回收、擔保品ノ増加又ハ利率ノ引上ヲ請求スルコトヲ得ルナリ多クノ場合ニ於テハ貸付主ハ銀行ノ誠實ト判斷力トニ依頼シテ兎角ノ注文ヲ發セス銀行ノ爲スカ儘ニ委セ居レトモ中ニハ夫々ノ鐵道株ハ風評面白カラサルニ付擔保品中ヨリ抜キ去リ代リ擔保ヲ請求セラレタシトカ工業株ハ希望セサルニツキ第一流ノ鐵道株カ公債ノミニテ貸出スヘシトカ目下ノ金利ハ六分ナルニ何故ニ五分五厘ニテ貸シタルヤ尙五厘引上ヲ爲スカ否レハ回收サレタシトカ種々ノ注文ヲ發シ來ルモノナキニアラス

此種ノ貸金ノ大部分ハ仲買ニ對スル擔保附當座貸ニ限ラレタルモノニテ所謂ストリクトコールナリ勿論依頼主ノ事情ニヨリ特ニ注文ヲ發シテ定期貸ト爲スコトナキニアラサレトモ其額ハ比較的僅少ナリ而シテ此取次貸ノ取扱方法ニ關シテ甚タ不完全ナリト思ハル、ハ

第一、得意先預金引出ノ折小切手ヲ取ラサルコト

第二、得意先ト銀行トノ間ニハ其責任ノ程度ニ關シ何等ノ契約書ヲモ取替ハ

スコトナク唯銀行ハ往復文書ヲ綴リ込ミ保存スルニ過キササルコト

銀行カ得意先ヨリ取次貸ノ依頼ヲ受クルニ當タリ果シテ適當ノ借入希望者アリヤ否又金額ニツキテモ雙方ノ意志符合スルヤ否不明ナルニ付當初ヨリ得意先ノ小切手ヲ受取ル能ハサルハ勿論ナレトモ既ニ愈々借入レ希望者アリテ其預金ノ内ヨリ貸出ヲ爲シタル以上ハ其金額ニ對シ小切手ヲ取ル事適當ノ事ナルノミナラス後日萬一ノ故障生シタル場合ニ必要ナルヘシト思ハルレトモ銀行ハ更ニ此手續ヲ爲スコトナク單ニ往復文書ヲ以テ足レリト爲ス茲ニ少シク日本ト異リタル點ハ當國ニテハ毎月得意先ニ對シ仕拂濟小切手ヲ返却スルノ風習アリ銀行ニ



取リテ此方法ハ法律上安全ナリヤ否ニツキテハ條文ノ明示スルモノナケレトモ多年ノ商習慣トシテ認メラレ居ルモノ、如シ而シテ遠方ニアル得意先ヨリ小切手ヲ受取リテモ貸金ノ伸縮ハ時々起ルヘキヲ以テ一々其度毎ニ小切手ヲ取リヤリスルコト蓋シ非常ノ煩累ナルヘシ形式ニ頓着セサル當國ノ事トテ更ニ是等ノ點ニ就キ考慮ヲ費サ、ルナリ

依頼主ノ大部分ハ國內地方銀行ナレトモ中ニハ佛國巴里和蘭土「阿姆斯特ダム」等外國銀行アリカ、ル遠隔ノ地ニアル得意先ニ對シテ貸付ノ都度電信ヲ以テ詳細報道スルコトモ出來サル故普通ハ郵便ヲ以テ通知ス而シテ其郵便ノ先方ニ到着シ之ニ對スル返書ノ銀行ニ到達スル迄ハ銀行ハ其得意先ノ爲メニ爲シタル貸付ニ關シ其承認ヲ得サルナリ而シテ萬一其間ニ於テ株式市場ニ大崩落ヲ來シ擔保品價格下落シ債務者破産スルカ如キ場合ニハ其損失ハ銀行ニ歸スヘキカ將タ又貸主ノ負擔タルヘキカ是等ノ點ニ關シテハ銀行ト債權者トノ間ニ何等ノ契約アルコトナシ他日異變生シタルトキ如何ニ處分スル積ナリヤト係員ニ問ヘハ例ノ如ク何事モ信用ナリト事モナケニ答フルニ過キス小役ハ更ニ支配人ヒコツク

氏ノ意見ヲ叩キシニ氏ノ言ニ此事ニツキテハ今日迄幸ニ何等ノ故障ヲ生シタルコトモナク又實際ニ於テ貴問ノ如キ場合アルヘシトモ想像セラレス且ツ他銀行何レモ同様ノ取扱ヲ爲シ居ル故我モ同様安シテ取扱ヒツ、アリ法律上ノ疑問ニ至リテハ貴説ノ如クナルヘシ他日更ニ明確ニ此疑問ヲ解決スヘキ時機アラシモ知ルヘカラスト云ヘリ想フニ銀行ニテハ自行ノ貸金同様善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ處分シタル上ニテ生シタル損失ニ對シテハ責任ヲ負ハサル覺悟ナルヘシ免ニ角嚴格ナル法律上ノ眼ヲ以テ判斷スレハ極メテ不完全ナル方法ニシテ銀行ト債權者ト債務者トノ關係甚タ曖昧ナルヲ免カレス其間紛議ノ生スヘキ間隙多々アルカ如シト雖モ今日迄カ、ル事變ナカリシト云フ單純ナル事實ト相手ハ凡テ信用アル先柄ニテ聊カノ間違ヲ口實トシテ無理ヲ云フモノニアラスト云フ信仰トニ依リ更ニ疑念ヲ挿マサルナリ

去年十二月十日南米「ヴェネズエラ」事件ノ爲メニ前日來低氣壓ヲ示セル紐育株式取引所ハ俄然大瓦落ヲ示シ額面百弗ノ株式カ五六弗乃至十弗ノ低落ヲ來タセル際「パーク」銀行當座貸付係ハ各貸付ノ擔保價格ヲ訂正シ必要アル向ヘハ夫々書面



ヲ以テ増擔保又ハ返金ヲ請求セルコトアリ其時ノ取扱振ヲ見ルニ自行ノ貸金ニ先立チテ取次貸ノ擔保品ヲ取調ヘ夫々手順ヲ運ヒタリ翌日午前中ニハ棚上増擔保品ヲ以テ充タサレタリ

昨年十二月ニ於ケル「パーク」銀行取扱ニ係ル取次貸ハ千四百萬弗ノ巨額ニ上レリ而シテ借主ノ數七十有餘ナルヲ以テ一口二十萬弗内外ニ當ル貸付ヲ依頼セル得意先ノ數ハ之ヲ取調フルニ由ナカリシカ料ルニ數百ニ上ルナルヘシ而シテ其大部分ハ地方銀行ナレトモ中ニハ市中得意先ニテ此特殊ノ便宜ヲ受タルモノナキニアラス現ニ三井物産會社ノ如キハ其一ナリ

國立銀行検査官某氏カ昨年十月調査セシ所ニヨルニ「ウォール、ストリート」ニ於ケル貸金ノ總額約七億千萬弗ニシテ之ヲ細別スレハ

紐育手形交換所同盟銀行ヨリ貸出セルモノ

三億弗

信託會社州立銀行等ヨリセルモノ

二億弗

所謂取次貸ニヨリ紐育銀行ヲ經テ地方銀行ノ貸出セルモノ

一億千萬弗

歐洲諸國ノ出資ニ係ルモノ

一億弗

金融ノ繁閑ニヨリ取次貸カ伸縮消長スルノ有様ヲ取調ヘタランニハ中々ニ趣味アルコトナルヘシト雖之ハ各行ニツキテ取調フルニアラサレハ精確ナル數字ヲ得ルコト能ハス而シテ各行共ニ容易ニ外來人ニ自行ノ秘密ヲ洩スコトヲナサ、ルヲ以テ到底短日月ニハ目的ヲ達スルコト能ハサルナリ

歐洲諸先進國ノ資金カ此新開國ニ流入シテ天然ノ富限ヲ開發シタルハ即チ米國ノ今日アル所以ニシテ若シ外資及勞力ノ輸入ナカリシナランニハ米國ノ文明ハ僅カニ東部ニ止マリ廣漠タル西南部ノ沃野ハ今尙未開ノ裡ニ埋沒セラレ居タルナラン左レハ米國各種ノ商工運輸會社ノ社債及株券カ歐洲資本家ノ手ニ掌握セラレ其市場ノ價格ハ動モスレハ之カ爲メニ左右セラル、ヲ常トセリ而シテ輓近當國ニ於ケル外資放下ノ狀態ニ一種ノ變化ヲ來タシ其傾向ハ年ヲ追フテ益々甚シキヲ加フルカ如シ

從來歐洲資本家ハ直接ニ米國ノ事業ニ放資ヲ爲シ巨額ノ株券及債券ヲ所有セシカ近頃米國ノ富力急進スルト共ニ是等有價證券追々米國資本家ノ手ニ移ルモノ多シ而シテ歐洲資本家ハ有價證券ヲ賣却シタル資金ヲ以テ之ヲ「ウォール、ストリ



トニ貸付クルニ至レリ而シテ其貸付ノ方法ハ所謂取次貸ニヨルモノ多シ紐育銀行中歐洲資本家ニ關係アルモノハ重ニ外國銀行若クハ私人銀行ニシテ國立銀行直接外資ヲ取扱フモノ比較的稀ナリト云フヘシ此歐洲資本放下ノ上ニ來タセル變化ハ其關係スル所極メテ多クシテ之カ爲ニ紐育ノ金融市場ハ一層歐洲トノ關係ヲ密ニシ資金ノ流動疏通ニ一段ノ進歩ヲ加ヘタルコト疑ヲ容レサルナリ

一、預金ヲ減少セラル、コト

二、自行貸金ノ範圍ヲ狭少セラル、コト

三、手数料費用トヲ要スルコト

ノ三不利益アリ假リニ紐育ノ一銀行カ平均千萬弗ノ預金ヲ之レカ爲メニ失フトスレハ其計算左ノ如シ

一金二十萬弗

預金千萬弗ニ對シ年二歩ノ利息

一金四十五萬弗

同上ニ對シ貸金年四歩五厘ノ利息

差額金二十五萬弗ノ損失

即チ一箇年ニ二十五萬弗ヲ儲ケ得ヘキニ取次貸ノ爲メニ之ヲ失フコト、ナルナリ而シテ地方得意先ヨリ取次貸ヲ依頼セラル、場合ニハ地方ニ於テ金融ノ緩慢ナル時ナリ故ニ時トシテハ地方得意先ノ爲メニ特ニ自行ノ貸金ヲ回收シテ以テ其希望ニ副ハサルヘカラサルコトナキニアラス加之且之レカ爲メニ殆ント専務ノ役員ヲ置キ郵便其他ノ費用ヲ支辨シ尙且ツ辭セサルニ至テハ驚ク可キニアラスヤ銀行ニヨリテハ手数料トシテ幾分ノ利鞘ヲ取ルモノアリトノ事ナルカ「パーク銀行」ナトニテハ一切此事ナシ

斯クノ如ク自行ノ利益ヲ減殺シ費用ト手数料ヲ各マスシテ此取次貸ヲナス所以ノモノハ直接金錢上ノ利益ヲ擧ケンカ爲メニアラスシテ斯クシテ他銀行トノ競争ニ打勝チ可成多クノ得意先ヲ引ツケ多額ノ預金ヲ得ントスルニ外ナラス故ニ得意先カ預金ノ殘高ヲ保タサルニ至レハ銀行ハ決シテ此便宜ヲ與フルモノニアラサルナリ

#### 第四、交換所持出手形現金手形及利札ノ多キ事

「パーク」銀行ニ於ケル交換所持出手形現金手形及利札等ノ合計高ハ千八百八十二萬



弗ノ巨額ニ上ル是本日中ニ收入シタル紐育市組合銀行宛小切手一覽拂約束手形爲替手形並ニ債權附屬ノ利札等ニシテ組合銀行宛小切手ハ明日ノ交換所ニ提出シ其他ハ夫々現金又ハ之ニ換ハルヘキ組合銀行宛小切手ト交換シ又爲替手形ハ引受ヲ取り翌々日ノ交換所ニ提出シテ交換ヲ了ユルナリ兎ニ角直ニ現金ニ代ハル可キ手形小切手類カ千百八十萬弗ノ巨額ニ上ルハ實ニ驚クヘキ事ニシテ之ヲ以テモ當國商取引ノ大部分カ信用證券ノ受授ニヨリテ決濟セラル、ヲ見ルニ足ル可シ

昨年暮有名ナル合衆國網鐵「トラスト」カ「パーク」銀行宛ニテ一日間ニ振出シタル小切手ノ明細表ハ長サ四十間ニ亘リ小切手ノ數四千數百枚金高參百餘萬弗ニ上リタリ

商業銀行カ資金ノ操縦ニ關シ先ツ第一ニ注意スヘキ最重要ノ目標ハ交換所勘定ノ貸借何レニアルカ又其差引高ハ何程ナリヤト云フニ在リ是ヲ以テ「ポストン」ニハ交換時間ニ組合銀行頭取又ハ支配人カ交換所ニ赴キ其交換ノ結果ニヨリ互ニ餘裕ヲ貸借シ以テ金融ノ操縦ヲ便ニス又紐育ニテハ各行交換方カ交換ヲ了ス

ルト共ニ紙片ニ本日ノ貸借及差引殘高ヲ記シテ之ヲ重役ニ提出シ以テ資金放出ノ手心ヲ爲スニ便ナラシム

第五、預金準備金ノ事

預金ノ項ニ於テ述ヘタルカ如ク中央準備市ニアル國立銀行ハ其預金ニ對シテ二割五分ノ現在金ヲ庫中ニ藏シテ預金引出ノ準備ニ充テサル可カラサルナリ前掲「パーク」銀行貸借對照表ニヨレハ約七千萬弗ノ預金ニ對シ二千百萬弗ノ現金ヲ有セリ其割合三割ニ當ル本年一月二十四日現在紐育市同盟銀行ノ預金總高ハ九億二千二百萬弗ニシテ之ニ對スル法定準備金ハ二億二千八百萬弗ナルヘキニ實際同日ノ現在金ハ二億五千四百六十餘萬弗ヲ有セリ其割合二割七分九厘ニ當ル第一流ノ銀行ニ於テハ平常預金ノ三割ヲ以テ現在金ノ標準ト爲スモノ、如シ

紐	育	二割四分七厘	預金總額
シ	カ	二割一分八厘九毛	預金準備高
		二五〇六八四	
		一〇四〇五八七	